

双葉町 住民意向調査 報告書

平成30年3月

復興庁
福島県
双葉町

双葉町 住民意向調査

報告書

目次

I 調査の概要	1
1-1 調査目的	3
1-2 調査内容	3
1-3 調査設計	3
1-4 回収結果	3
1-5 報告書の見方	3
II 調査結果のまとめ	5
2-1 現在の状況	7
2-1-1 避難先自治体（問5）	7
2-1-2 現在の住居形態（問7）	7
2-1-3 職業（問2（1））	8
2-1-4 世帯人数（問6（1）・問6（2））	8
2-1-5 震災発生当時の住居形態（問4）	9
2-2 将来の意向	10
2-2-1 帰還の意向（問9）	10
2-2-2 避難指示解除後から帰還するまでの年数（問10-1-1）	11
2-2-3 帰還する場合の家族（問10-1-2）	11
2-2-4 「帰還する場合に希望する」あるいは「帰還を判断する上で必要な」支援（問10-2）	12
2-2-5 帰還した場合の住居形態〔戻りたいと考えている方〕（問10-3）	13
2-2-6 帰還した場合の住居形態〔まだ判断がつかない方〕（問10-3）	13
2-2-7 「新市街地ゾーン」「まちなか再生ゾーン」への居留意向（問10-4）	14
2-2-8 「新市街地ゾーン」「まちなか再生ゾーン」に必要な生活関連施設（問10-6-1）	14

2-2-9	「新市街地ゾーン」「まちなか再生ゾーン」に必要な生活関連サービス（問 10-6-2）	15
2-2-10	「新市街地ゾーン」「まちなか再生ゾーン」に居住しない理由（問 10-7）	16
2-2-11	戻らないと決めている理由（問 12-1）	17
2-2-12	帰還しない場合に希望する行政の支援（問 12-2）	18
2-2-13	帰還しない場合に居住を希望する（既に居住している場合を含む）自治体（問 12-3）	18
2-2-14	帰還しない場合に居住を希望する（既に居住している場合を含む）住居形態（問 12-4）	19
2-2-15	双葉町との「つながり」を保ちたいか（問 11-1）	19
2-2-16	双葉町を訪れたい頻度（問 11-2）	20
2-2-17	双葉町を訪れたいと思う取り組み・行事・イベント（問 11-3）	20
2-3	事業の再開	21
2-3-1	帰還後の双葉町での事業の再開意向（問 13）	21
2-3-2	事業の再開時の課題（問 14）	21
2-4	不動産の取り扱い	22
2-4-1	双葉町内に保有している家屋の利用意向（問 16）	22
2-4-2	双葉町内に保有している宅地の利用意向（問 17-1）	22
2-4-3	双葉町内に保有している農地の利用意向（問 17-2）	23
2-5	情報入手・コミュニケーション	24
2-5-1	双葉町からの情報入手経路（問 18）	24
2-5-2	知りたい・関心のある情報（問 19）	25
III	調査結果	27
3-1	回答者の属性	29
3-1-1	性別	29
3-1-2	年齢	29
3-1-3	現在の職業（就業形態）	30
3-1-4	現在の業種	31
3-1-5	震災発生当時の住まいの行政区	32
3-1-6	震災発生当時の住居形態	32
3-2	避難状況	33
3-2-1	現在の避難先自治体	33
3-2-2	震災発生当時の世帯構成・人数	34

3-2-3	現在の世帯構成・人数	35
3-2-4	現在の住居形態	35
3-2-5	避難期間中の生活において困っていることや改善を 求めること	36
3-3	将来の意向	38
3-3-1	双葉町への帰還意向	38
3-3-2	避難指示解除から帰還するまでの年数	40
3-3-3	双葉町へ戻る場合の家族	41
3-3-4	双葉町へ家族の一部が戻る場合の世帯構成・人数	41
3-3-5	双葉町への帰還を判断するために必要な支援・情報	42
3-3-6	双葉町へ帰還する場合の住居形態	44
3-3-7	「新市街地ゾーン」「まちなか再生ゾーン」への居住意向	45
3-3-8	「新市街地ゾーン」に居住する場合の住居形態	46
3-3-9	「新市街地ゾーン」「まちなか再生ゾーン」に必要な 生活関連施設	46
3-3-10	「新市街地ゾーン」「まちなか再生ゾーン」に必要な 生活関連サービス	47
3-3-11	「新市街地ゾーン」「まちなか再生ゾーン」に居住しない理由	47
3-3-12	双葉町との「つながり」を保ちたいか	48
3-3-13	双葉町を訪れたい頻度	49
3-3-14	双葉町を訪れてみたいと思う取り組み・行事・イベント	50
3-3-15	現時点で戻らないと決めている理由	51
3-3-16	帰還しない場合に今後の生活において必要な支援	52
3-3-17	帰還しない場合に居住を希望する自治体	52
3-3-18	帰還しない場合に居住を希望するいわき市の地区名	53
3-3-19	帰還しない場合に今後の住まいとして希望する住居形態	53
3-4	事業の再開	54
3-4-1	帰還後の双葉町での事業の再開意向	54
3-4-2	事業再開時の課題	54
3-4-3	事業を再開しない理由	55
3-5	不動産の取り扱い意向	56
3-5-1	双葉町内に保有している家屋の利用意向	56
3-5-2	双葉町内に保有している宅地の利用意向	56
3-5-3	双葉町内に保有している農地の利用意向	57

3-5-4	農地の保全を目的とする組合設立への考え	57
3-6	情報入手・コミュニケーション	58
3-6-1	双葉町からの情報の入手経路	58
3-6-2	知りたい・関心がある情報	58
3-6-3	「ICTきずな支援システム」の保有	59
3-6-4	「ICTきずな支援システム」の利用頻度	59
3-6-5	「ICTきずな支援システム」以外の情報端末機器の所有	60
3-7	意見・要望	61
3-7-1	双葉町の復興を進めていくにあたっての意見・要望	61
3-7-2	国・福島県・双葉町への意見・要望	64
IV	参考資料	79
4-1	使用調査票	81

I 調査の概要

1-1 調査目的

本調査は、双葉町住民の生活環境の整備や、帰還に向けた諸施策を適切に実施するための基礎資料とすることを目的とする。

1-2 調査内容

※4-1 使用調査票を参照のこと

1-3 調査設計

(1) 調査地域	双葉町
(2) 調査対象と標本数	世帯の代表者 3,133 世帯
(3) 調査手法	郵送にて配布・回収（自記式）
(4) 調査期間	平成 29 年 10 月 30 日（月）～平成 29 年 11 月 15 日（水）
(5) 調査主体	復興庁、福島県、双葉町
(6) 調査機関	株式会社サーベイリサーチセンター

1-4 回収結果

有効回収数 1,564 世帯（有効回収率 49.9%）

1-5 報告書の見方

- ・調査数（ $n = \text{Number of cases}$ ）とは、回答者総数あるいは分類別の回答者数のことである。
- ・回答の構成比は百分率であらわし、小数点第 2 位を四捨五入して算出している。従って、回答比率の合計が 100%にならない場合がある。
- ・回答者が 2 つ以上の回答をすることができる多肢選択式の質問においては、全ての選択肢の比率を合計すると 100%を超える場合がある。
- ・「その他」に内訳を記載している項目に関しては、個別の項目を合算して構成比を改めて算出している。従って、内訳の回答比率の合計が、グラフ記載の「その他」の回答比率と合致しない場合がある。
- ・図表および文章中で、選択肢の語句等を一部簡略化している場合がある。
- ・調査数（ n 値）が少数（概ね 30 を下回る）のものは、回答構成比の信頼性が低いため、文章中の分析では言及していない。

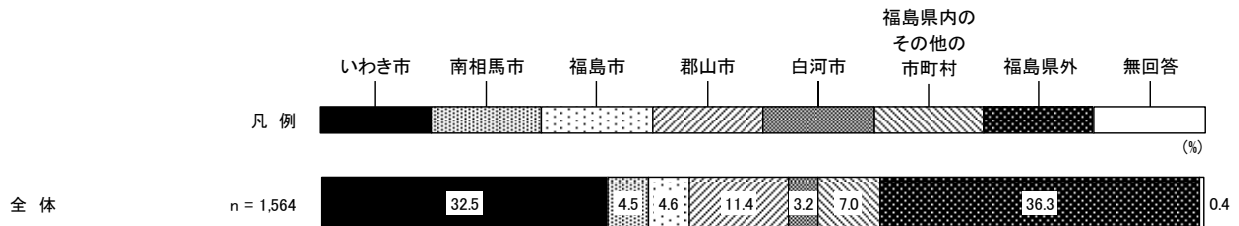
II 調査結果のまとめ

2-1 現在の状況

2-1-1 避難先自治体（問5）

現在の避難先自治体については、「福島県内」が63.2%、「福島県外」が36.3%となっている。自治体でみると、「いわき市」が32.5%と最も高く、「郡山市」が11.4%となっている。

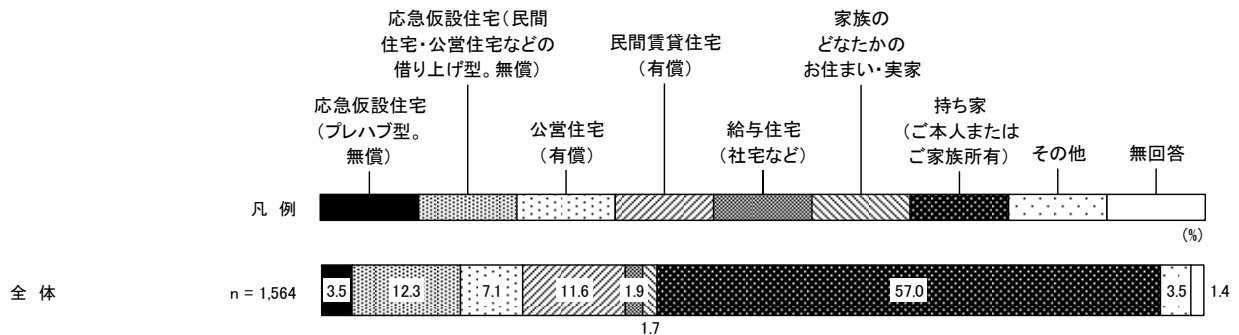
<図表2-1-1 避難先自治体>



2-1-2 現在の住居形態（問7）

現在の住居形態については、「持ち家（ご本人またはご家族所有）」が57.0%と最も高く、次いで「応急仮設住宅（民間住宅・公営住宅などの借り上げ型。無償）」が12.3%、「民間賃貸住宅（有償）」が11.6%となっている。

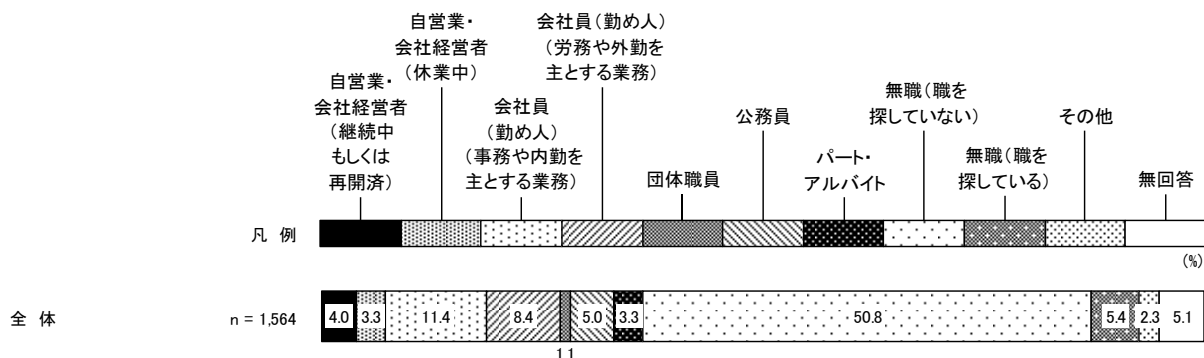
<図表2-1-2 現在の住居形態>



2-1-3 職業 (問 2 (1))

現在の職業については、「無職（職を探していない・職を探している）」以外では、「会社員（勤め人）（事務や内勤を主とする業務）」が11.4%と最も高く、次いで「会社員（勤め人）（労務や外勤を主とする業務）」が8.4%、「公務員」が5.0%となっている。

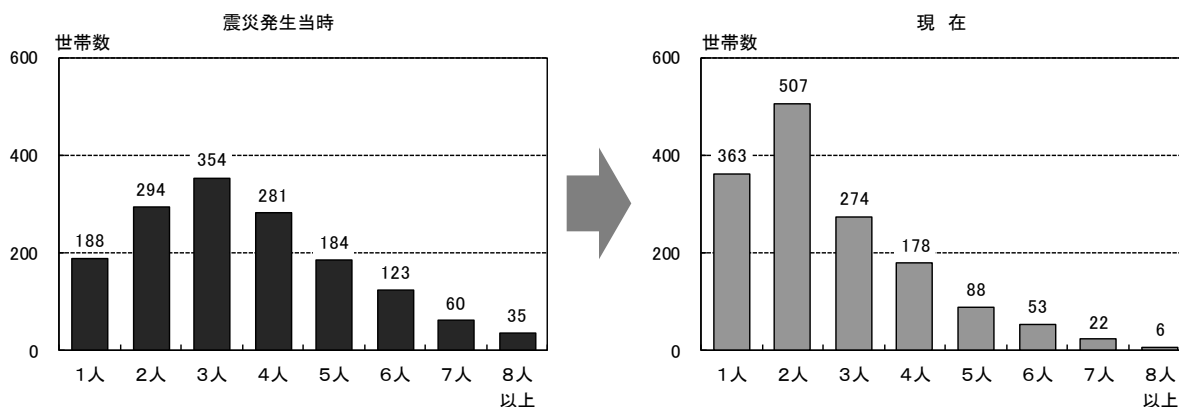
<図表2-1-3 職業>



2-1-4 世帯人数 (問 6 (1)・問 6 (2))

世帯人数については、震災発生当時は、「3人」が354世帯と最も多く、「2人」が294世帯で2番目に多かったが、現在は、「2人」が507世帯と最も多く、「1人」が363世帯で2番目に多くなっている。

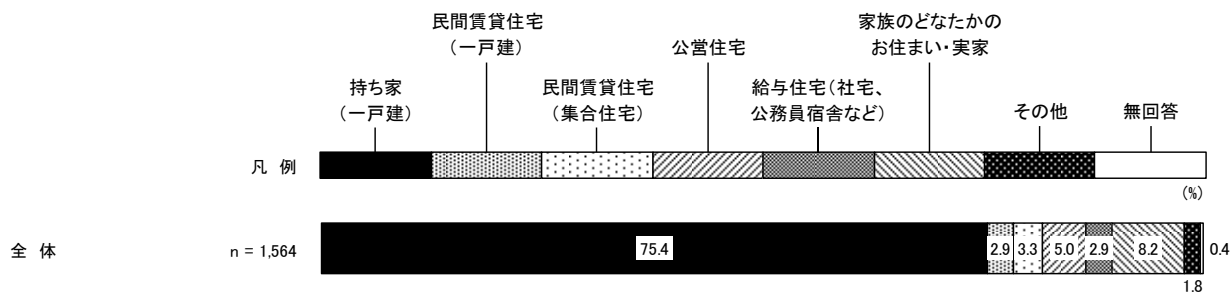
<図表2-1-4 世帯人数>



2-1-5 震災発生当時の住居形態（問4）

震災発生当時の住居形態については、「持ち家（一戸建）」が75.4%と最も高く、次いで「家族のどなたかのお住まい・実家」が8.2%、「公営住宅」が5.0%となっている。

<図表2-1-5 震災発生当時の住居形態>



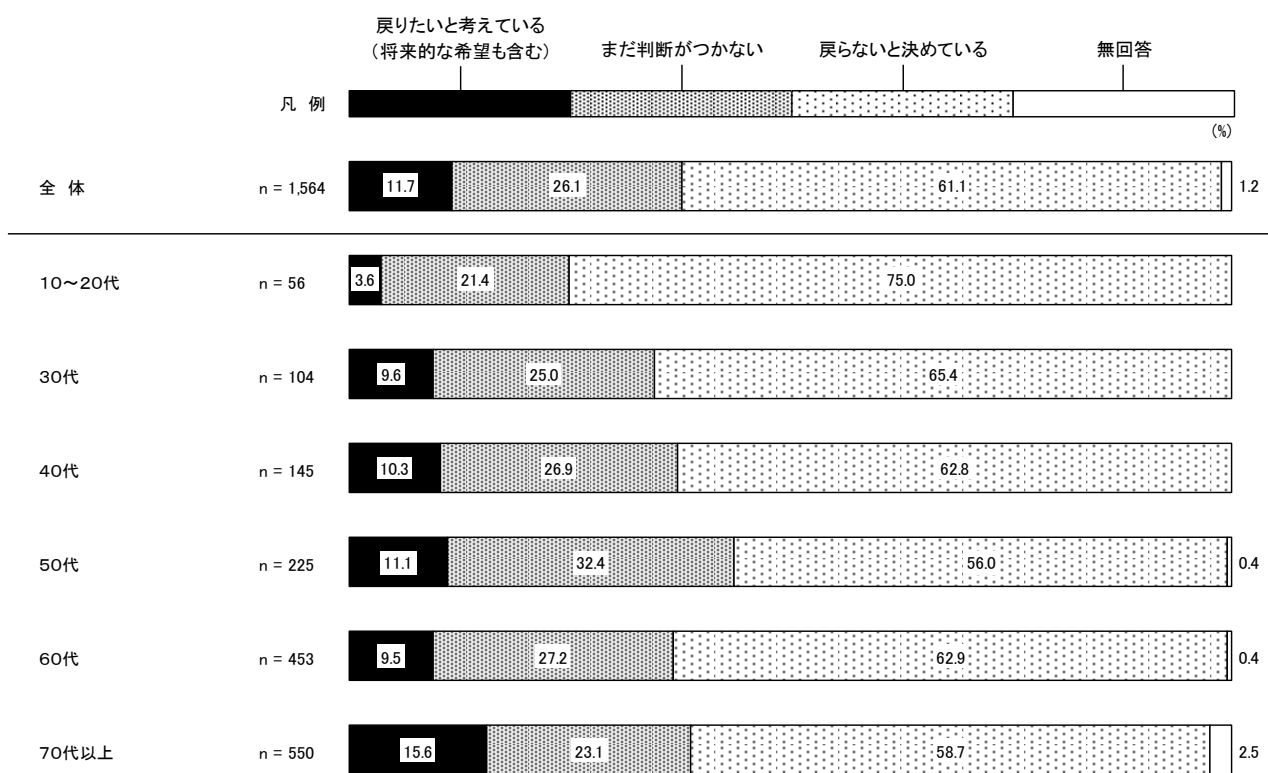
2-2 将来の意向

2-2-1 帰還の意向（問9）

双葉町への帰還の意向については、「戻らないと決めている」が61.1%と最も高く、次いで「まだ判断がつかない」が26.1%、「戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」が11.7%となっている。

回答者の年齢別にみると、「戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」は70代以上で15.6%となっている。一方、「戻らないと決めている」は10~20代で75.0%となっており、他の年齢と比べて高くなっている。

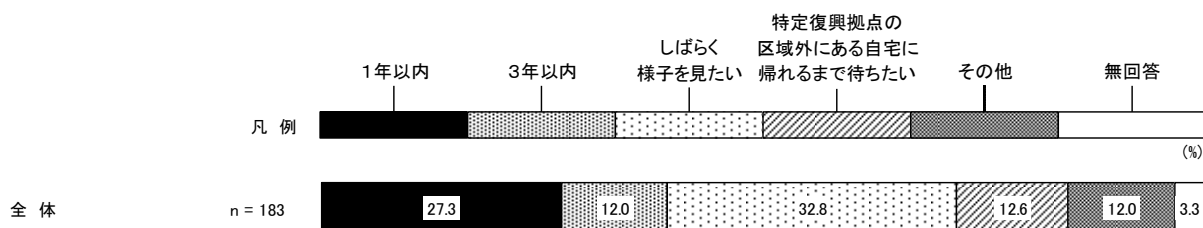
<図表2-2-1 帰還の意向（年齢別）>



2-2-2 避難指示解除後から帰還するまでの年数（問 10-1-1）

避難指示解除後から帰還するまでの年数については、「しばらく様子を見たい」が32.8%と最も高く、次いで「1年以内」が27.3%、次いで「特定復興拠点の区域外にある自宅に帰れるまで待ちたい」が12.6%となっている。

<図表2-2-2 避難指示解除後から帰還するまでの年数>

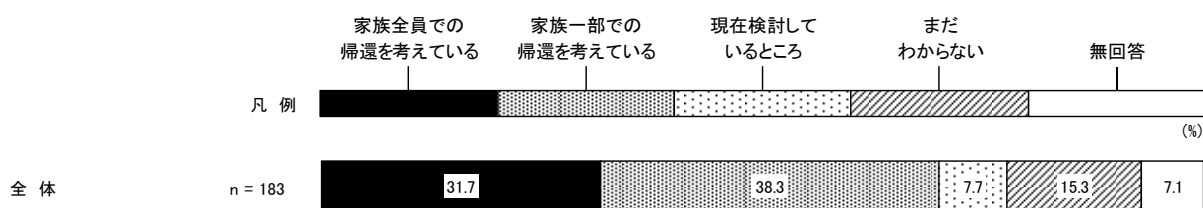


※問9で「戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」と回答した方のみ

2-2-3 帰還する場合の家族（問 10-1-2）

帰還する場合の家族については、「家族一部での帰還を考えている」が38.3%と最も高く、次いで、「家族全員での帰還を考えている」が31.7%、「現在検討しているところ」と「まだわからない」が合わせて23.0%となっている。

<図表2-2-3 帰還する場合の家族>



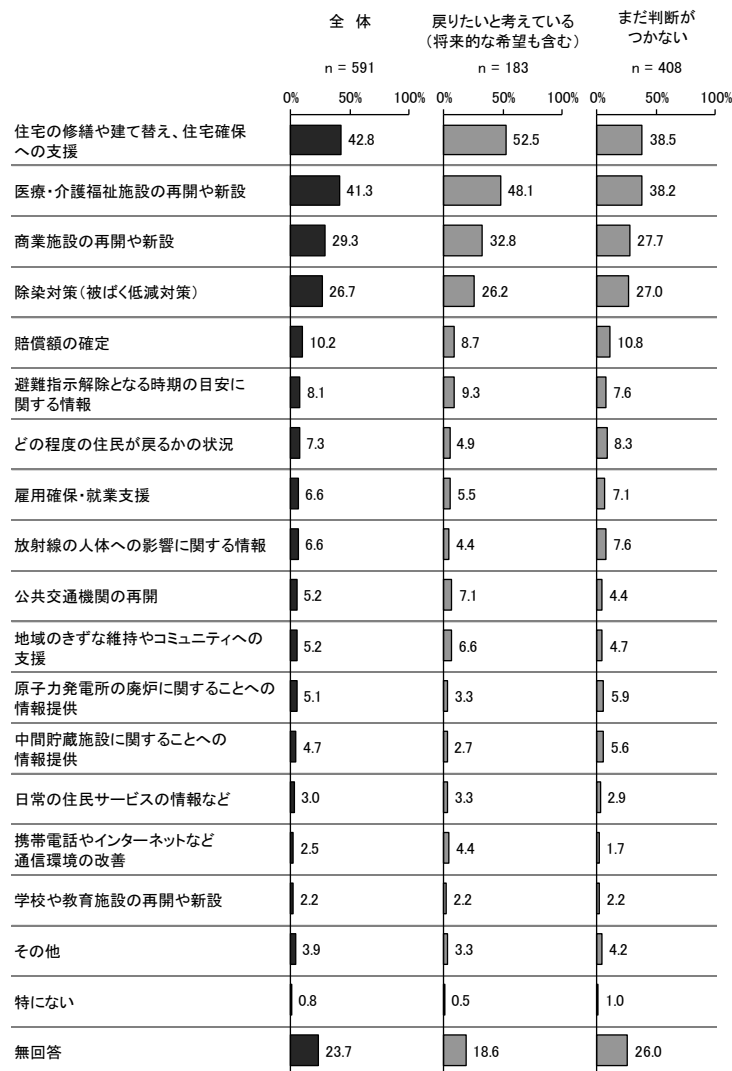
※問9で「戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」と回答した方のみ

2-2-4 「帰還する場合に希望する」あるいは「帰還を判断する上で必要な」支援（問 10-2）

「帰還する場合に希望する」あるいは「帰還を判断する上で必要な」支援については、「住宅の修繕や建て替え、住宅確保への支援」が42.8%と最も高く、次いで「医療・介護福祉施設の再開や新設」が41.3%、「商業施設の再開や新設」が29.3%となっている。

帰還意向別にみると、戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）世帯のほうが、まだ判断がつかない世帯よりも、「住宅の修繕や建て替え、住宅確保への支援」、「医療・介護福祉施設の再開や新設」、「商業施設の再開や新設」が高くなっている。

<図表2-2-4 「帰還する場合に希望する」あるいは「帰還を判断する上で必要な」支援（帰還意向別）>

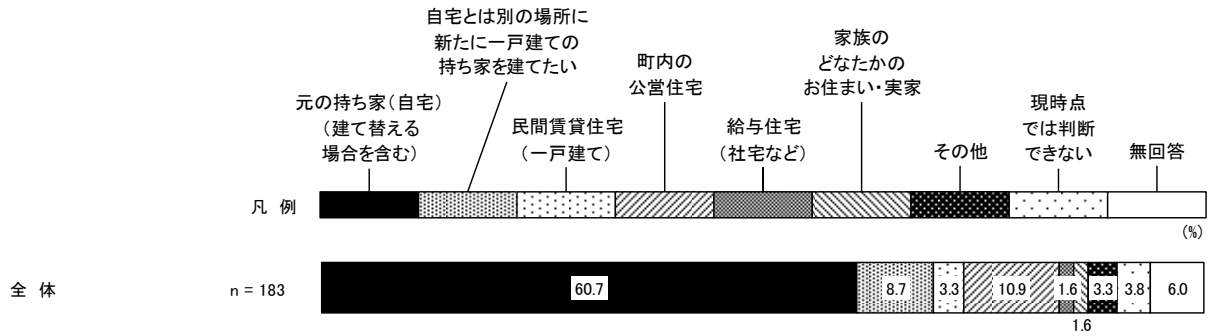


※問9で「戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」「まだ判断がつかない」と回答した方のみ
 ※回答は3つまで
 ※優先順位 1 番目から 3 番目を積算して算出

2-2-5 帰還した場合の住居形態 [戻りたいと考えている方] (問 10-3)

帰還した場合の住居形態 [戻りたいと考えている方] については、「元の持ち家 (自宅) (建て替える場合を含む)」が 60.7%と最も高く、次いで「町内の公営住宅」が 10.9%、「自宅とは別の場所に新たに一戸建ての持ち家を建てたい」が 8.7%となっている。

<図表 2-2-5 帰還した場合の住居形態 [戻りたいと考えている方] >

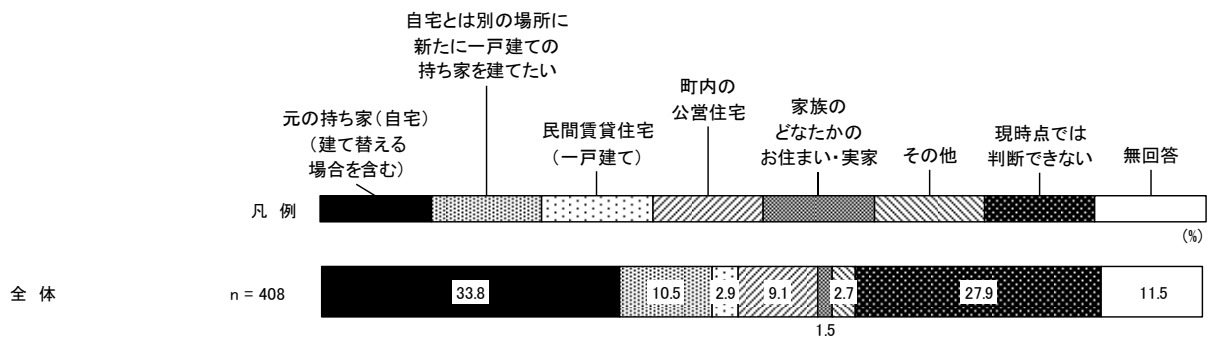


※問9で「戻りたいと考えている (将来的な希望も含む)」と回答した方のみ

2-2-6 帰還した場合の住居形態 [まだ判断がつかない方] (問 10-3)

帰還した場合の住居形態 [まだ判断がつかない方] については、「元の持ち家 (自宅) (建て替える場合を含む)」が 33.8%と最も高く、次いで「現時点では判断できない」が 27.9%、「自宅とは別の場所に新たに一戸建ての持ち家を建てたい」が 10.5%となっている。

<図表 2-2-6 帰還した場合の住居形態 [まだ判断がつかない方] >



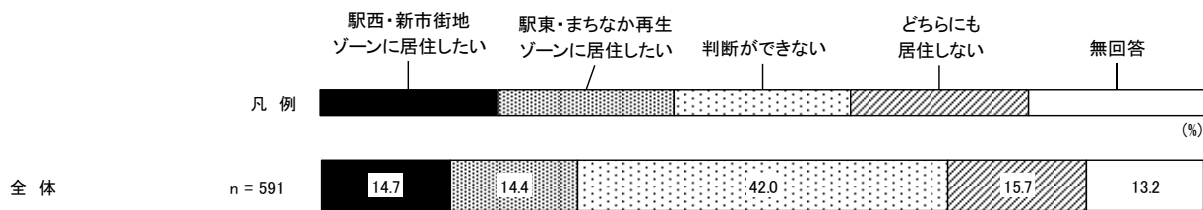
※問9で「まだ判断がつかない」と回答した方のみ

2-2-7 「新市街地ゾーン」「まちなか再生ゾーン」への居留意向（問 10-4）

JR 双葉駅の西側の区域を「新市街地ゾーン」と位置づけ、町が主導して先行的に住宅地や生活関連施設の整備を進めることとしております。また、JR 双葉駅の東側の区域については、「まちなか再生ゾーン」と位置づけ、既成市街地の再生を目指すこととしております。

「新市街地ゾーン」「まちなか再生ゾーン」への居留意向については、「駅西・新市街地ゾーンに居住したい」が 14.7%、「駅東・まちなか再生ゾーンに居住したい」が 14.4%となっている。「判断ができない」は 42.0%、「どちらにも居住しない」は 15.7%となっている。

<図表 2-2-7 「新市街地ゾーン」「まちなか再生ゾーン」への居留意向>

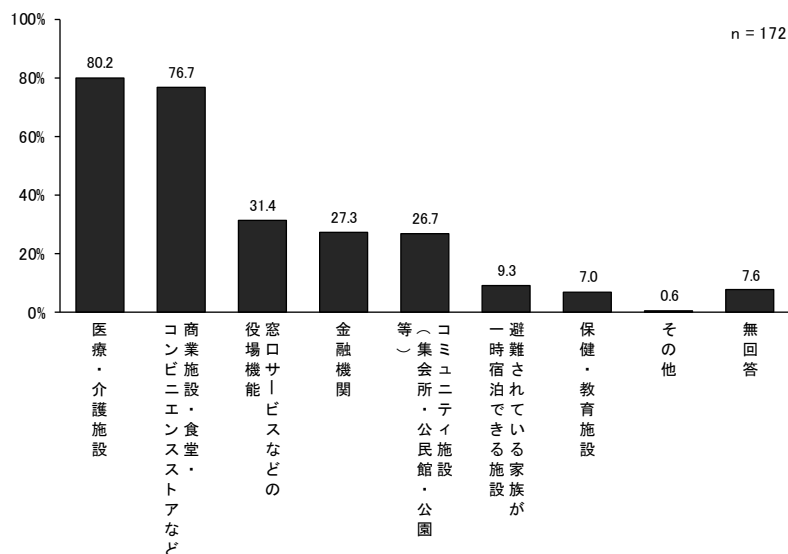


※問 9 で「戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」「まだ判断がつかない」と回答した方のみ

2-2-8 「新市街地ゾーン」「まちなか再生ゾーン」に必要な生活関連施設（問 10-6-1）

「新市街地ゾーン」「まちなか再生ゾーン」に必要な生活関連施設については、「医療・介護施設」が 80.2%と最も高く、次いで「商業施設・食堂・コンビニエンスストアなど」が 76.7%、「窓口サービスなどの役場機能」が 31.4%となっている。

<図表 2-2-8 「新市街地ゾーン」「まちなか再生ゾーン」に必要な生活関連施設>



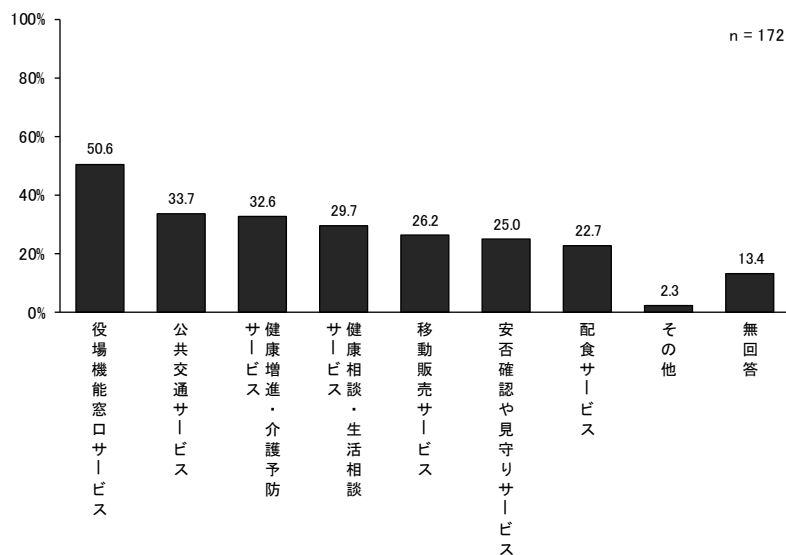
※問 10-4 で「駅西・新市街地ゾーンに居住したい」「駅東・まちなか再生ゾーンに居住したい」と回答した方のみ

※〇は 3 つまで

2-2-9 「新市街地ゾーン」「まちなか再生ゾーン」に必要な生活関連サービス
(問 10-6-2)

「新市街地ゾーン」「まちなか再生ゾーン」に必要な生活関連サービスについては、「役場機能窓口サービス」が50.6%と最も高く、次いで「公共交通サービス」が33.7%、「健康増進・介護予防サービス」が32.6%となっている。

<図表2-2-9 「新市街地ゾーン」「まちなか再生ゾーン」に必要な生活関連サービス>



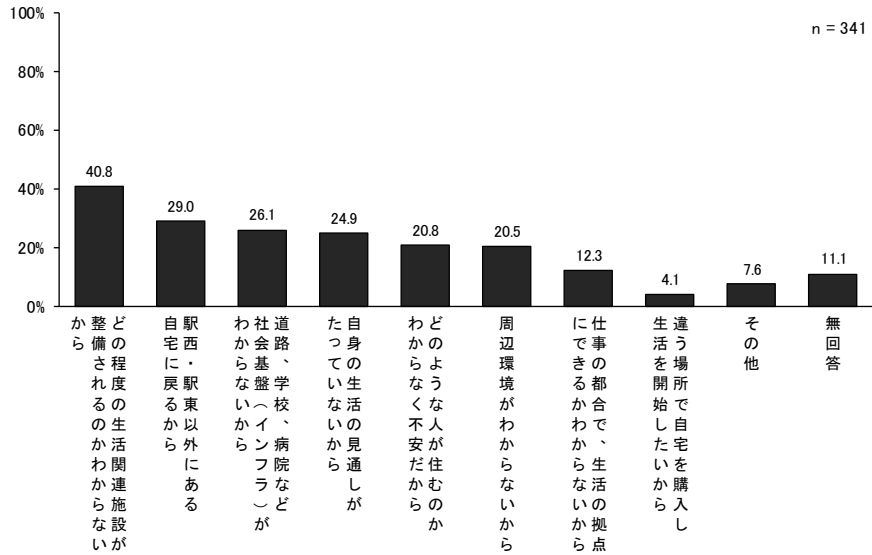
※問 10-4 で「駅西・新市街地ゾーンに居住したい」「駅東・まちなか再生ゾーンに居住したい」と回答した方のみ

※〇は3つまで

2-2-10 「新市街地ゾーン」「まちなか再生ゾーン」に居住しない理由（問 10-7）

「新市街地ゾーン」「まちなか再生ゾーン」に居住しない理由については、「どの程度の生活関連施設が整備されるのかわからないから」が40.8%と最も高く、次いで「駅西・駅東以外にある自宅に戻るから」が29.0%「道路、学校、病院など社会基盤（インフラ）がわからないから」が26.1%となっている。

<図表2-2-10 「新市街地ゾーン」「まちなか再生ゾーン」に居住しない理由>

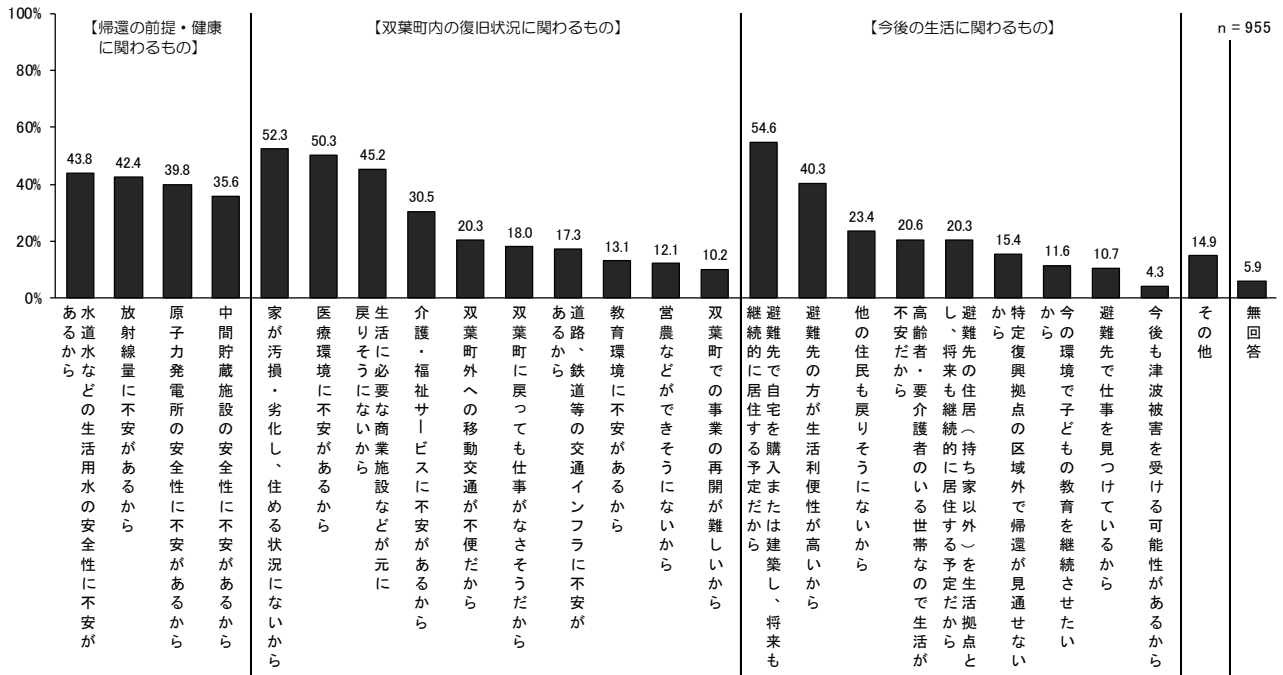


※問 10-4 で「判断ができない」「どちらにも居住しない」と回答した方のみ
 ※○はいくつでも

2-2-11 戻らないと決めている理由（問 12-1）

戻らないと決めている理由については、「避難先で自宅を購入または建築し、将来も継続的に居住する予定だから」が54.6%と最も高く、次いで「家が汚損・劣化し、住める状況にないから」が52.3%、「医療環境に不安があるから」が50.3%となっている。

<図表2-2-11 戻らないと決めている理由>

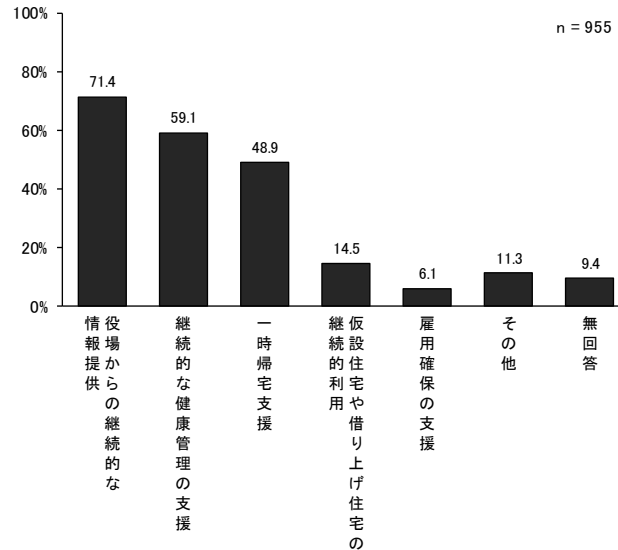


※問9で「戻らないと決めている」と回答した方のみ
 ※〇はいくつでも

2-2-12 帰還しない場合に希望する行政の支援（問 12-2）

帰還しない場合に希望する行政の支援については、「役場からの継続的な情報提供」が 71.4%と最も高く、次いで「継続的な健康管理の支援」が 59.1%、「一時帰宅支援」が 48.9%となっている。

<図表2-2-12 帰還しない場合に希望する行政の支援>

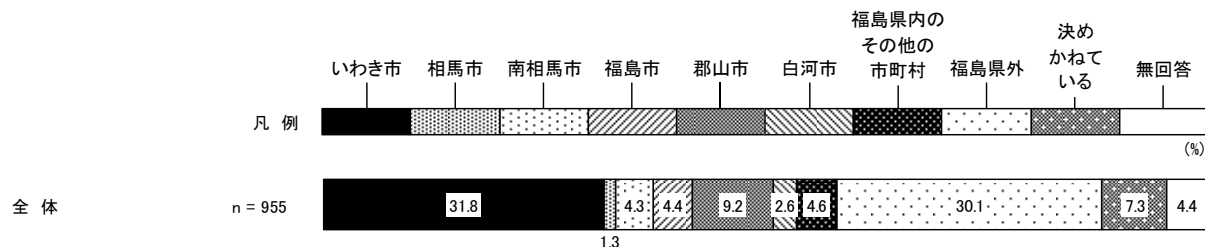


※問9で「戻らないと決めている」と回答した方のみ
 ※〇はいくつでも

2-2-13 帰還しない場合に居住を希望する（既に居住している場合を含む）自治体（問 12-3）

帰還しない場合に居住を希望する（既に居住している場合を含む）自治体については、「いわき市」が 31.8%と最も高く、次いで「福島県外」が 30.1%、「郡山市」が 9.2%となっている。

<図表2-2-13 帰還しない場合に居住を希望する（既に居住している場合を含む）自治体>

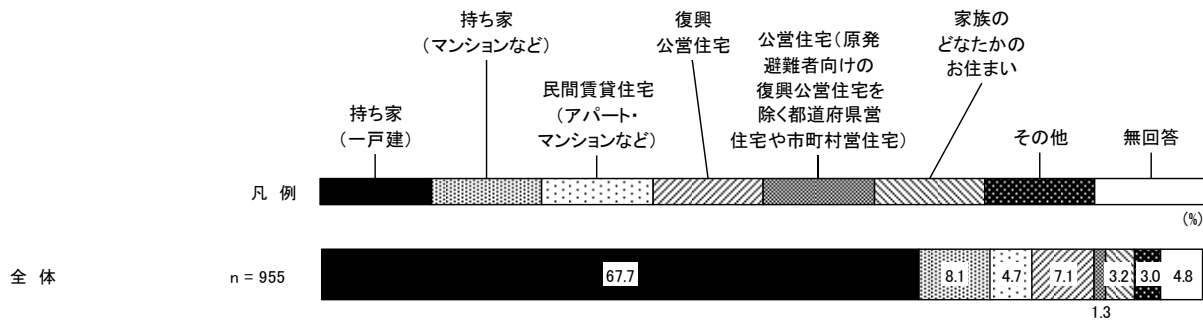


※問9で「戻らないと決めている」と回答した方のみ

2-2-14 帰還しない場合に居住を希望する（既に居住している場合を含む） 住居形態（問 12-4）

帰還しない場合に居住を希望する（既に居住している場合を含む）住居形態については、「持ち家（一戸建）」が67.7%と最も高く、「持ち家（マンションなど）」(8.1%)を合わせたく持ち家>は75.8%となっている。

<図表2-2-14 帰還しない場合に居住を希望する（既に居住している場合を含む）住居形態>

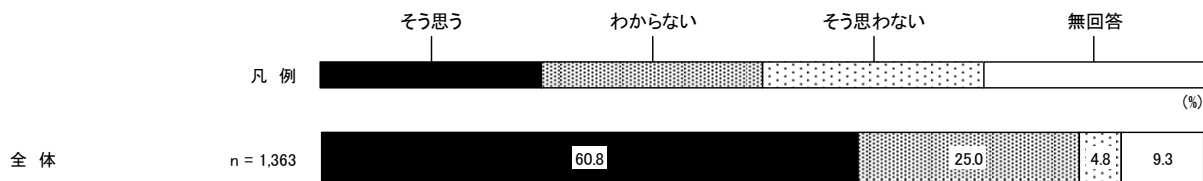


※問9で「戻らないと決めている」と回答した方のみ

2-2-15 双葉町との「つながり」を保ちたいか（問 11-1）

双葉町との「つながり」を保ちたいかについては、「そう思う」が60.8%と最も高く、次いで「わからない」が25.0%、「そう思わない」が4.8%となっている。

<図表2-2-15 双葉町との「つながり」を保ちたいか>

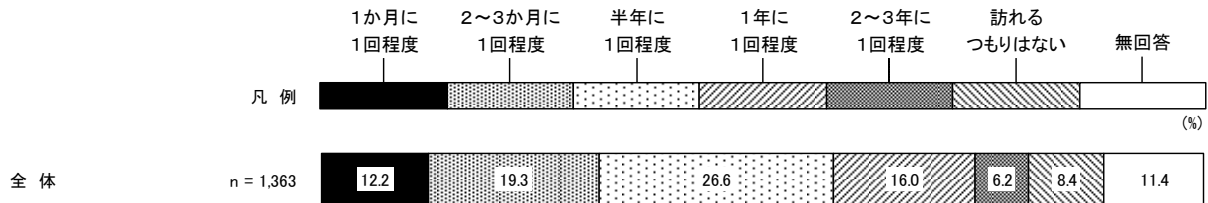


※問9で「まだ判断がつかない」「戻らないと決めている」と回答した方のみ

2-2-16 双葉町を訪れたい頻度（問 11-2）

双葉町を訪れたい頻度については、「半年に1回程度」が26.6%と最も高く、次いで「2~3か月に1回程度」が19.3%、「1年に1回程度」が16.0%、「1か月に1回程度」が12.2%で、1年に1回以上訪れたいとする回答は74.1%となっている。

<図表2-2-16 双葉町を訪れたい頻度>

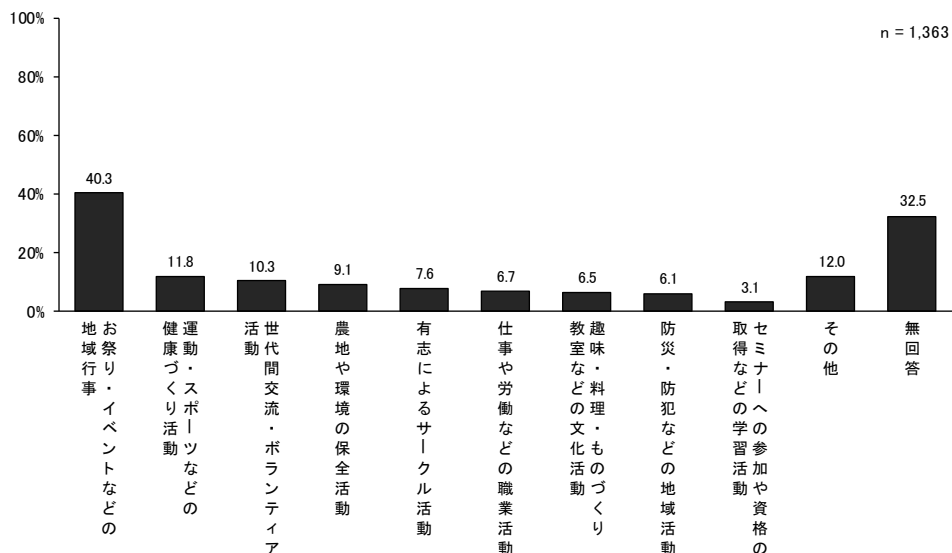


※問9で「まだ判断がつかない」「戻らないと決めている」と回答した方のみ

2-2-17 双葉町を訪れたいと思う取り組み・行事・イベント（問 11-3）

双葉町を訪れたいと思う取り組み・行事・イベントについては、「お祭り・イベントなどの地域行事」が40.3%と最も高く、次いで「運動・スポーツなどの健康づくり活動」が11.8%、「世代間交流・ボランティア活動」が10.3%となっている。

<図表2-2-17 双葉町を訪れたいと思う取り組み・行事・イベント>



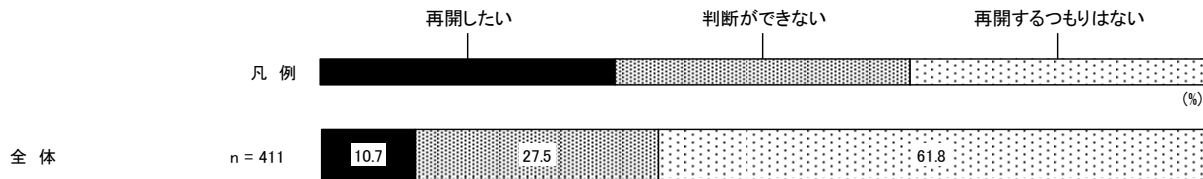
※問9で「まだ判断がつかない」「戻らないと決めている」と回答した方のみ
※〇はいくつでも

2-3 事業の再開

2-3-1 帰還後の双葉町での事業の再開意向（問 13）

帰還後の双葉町での事業の再開意向については、「再開するつもりはない」が61.8%と最も高く、次いで「判断ができない」が27.5%、「再開したい」が10.7%となっている。

<図表2-3-1 帰還後の双葉町での事業の再開意向>

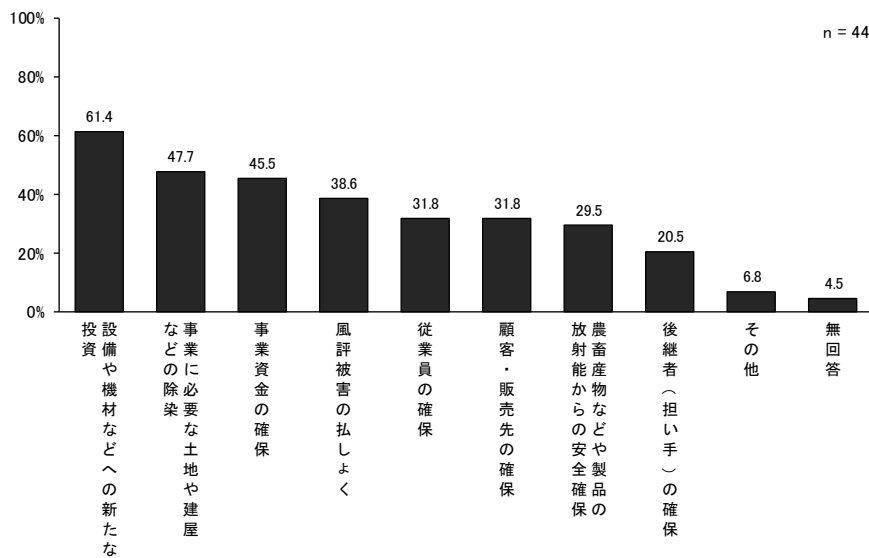


※震災発生時に双葉町で自営業を営んでいた世帯を対象とした設問に回答した方のみ

2-3-2 事業の再開時の課題（問 14）

事業の再開時の課題については、「設備や機材などへの新たな投資」が61.4%と最も高く、次いで「事業に必要な土地や建屋などの除染」が47.7%、「事業資金の確保」が45.5%となっている。

<図表2-3-2 事業の再開時の課題>



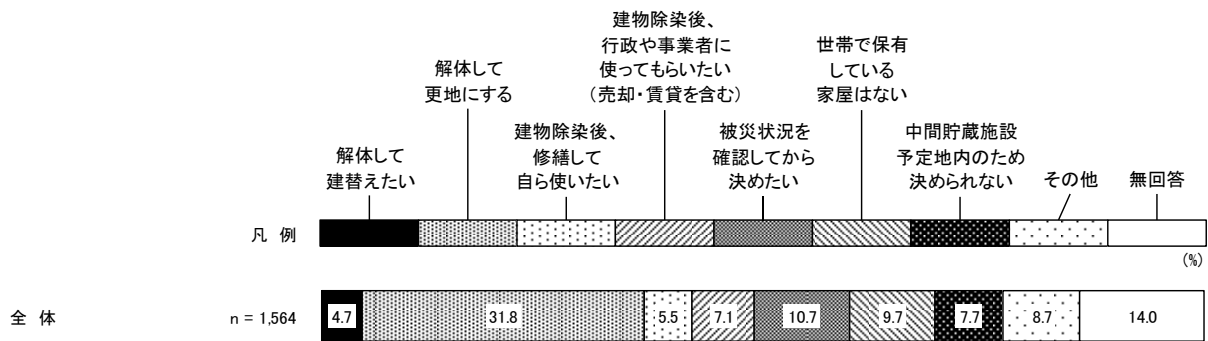
※問 13 で「再開したい」と回答した方のみ
 ※〇はいくつでも

2-4 不動産の取り扱い

2-4-1 双葉町内に保有している家屋の利用意向（問 16）

双葉町内に保有している家屋の利用意向については、「解体して更地にする」が31.8%と最も高く、次いで「被災状況を確認してから決めたい」が10.7%、「世帯で保有している家屋はない」が9.7%となっている。

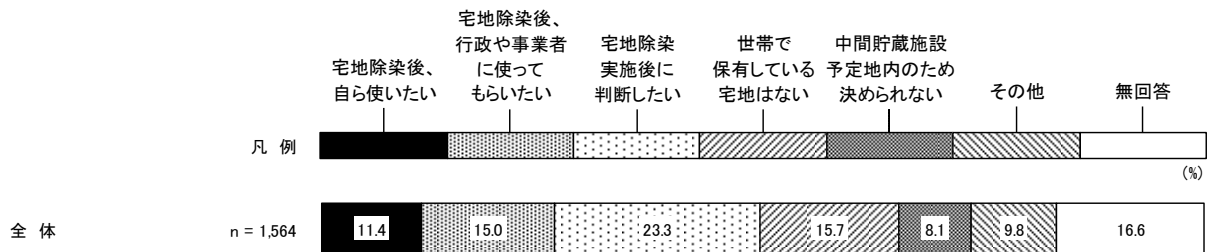
<図表2-4-1 双葉町内に保有している家屋の利用意向>



2-4-2 双葉町内に保有している宅地の利用意向（問 17-1）

双葉町内に保有している宅地の利用意向については、「宅地除染実施後に判断したい」が23.3%と最も高く、次いで「世帯で保有している宅地はない」が15.7%、「宅地除染後、行政や事業者に使ってほしい」が15.0%となっている。

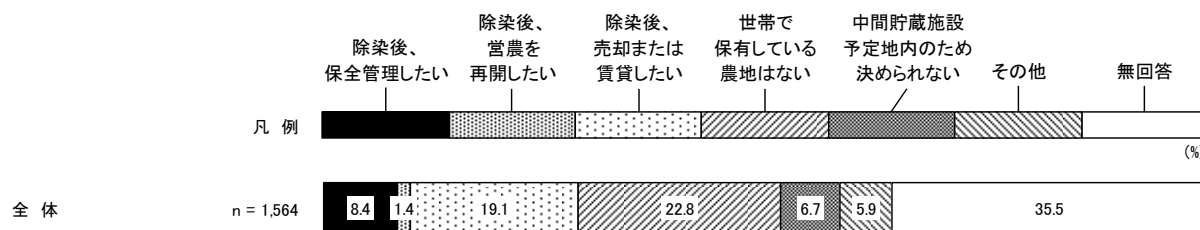
<図表2-4-2 双葉町内に保有している宅地の利用意向>



2-4-3 双葉町内に保有している農地の利用意向（問 17-2）

双葉町内に保有している農地の利用意向については、「世帯で保有している農地はない」が22.8%と最も高く、次いで「除染後、売却または賃貸したい」が19.1%、「除染後、保全管理したい」が8.4%となっている。

<図表2-4-3 双葉町内に保有している農地の利用意向>

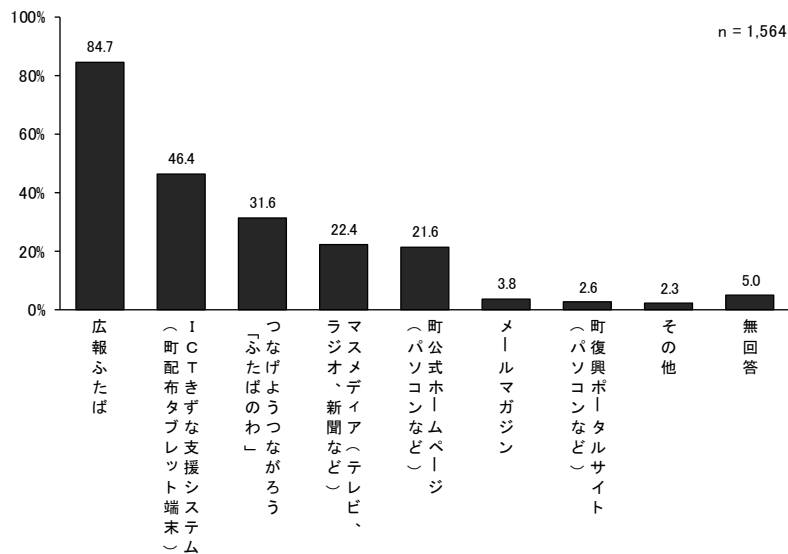


2-5 情報入手・コミュニケーション

2-5-1 双葉町からの情報入手経路（問 18）

双葉町からの情報入手経路については、「広報ふたば」が84.7%と最も高く、次いで「ICTきずな支援システム（町配布タブレット端末）」が46.4%、「つなげようつながろう「ふたばのわ」」が31.6%となっている。

<図表2-5-1 双葉町からの情報入手経路>

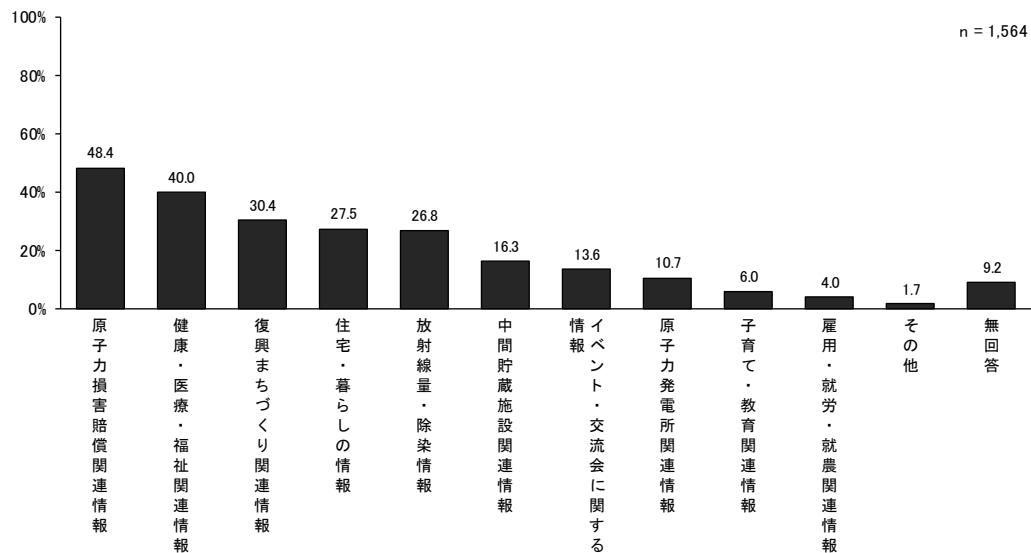


※〇は3つまで

2-5-2 知りたい・関心のある情報（問 19）

知りたい・関心のある情報については、「原子力損害賠償関連情報」が48.4%と最も高く、次いで「健康・医療・福祉関連情報」が40.0%、「復興まちづくり関連情報」が30.4%となっている。

<図表2-5-2 知りたい・関心のある情報>



※○は3つまで

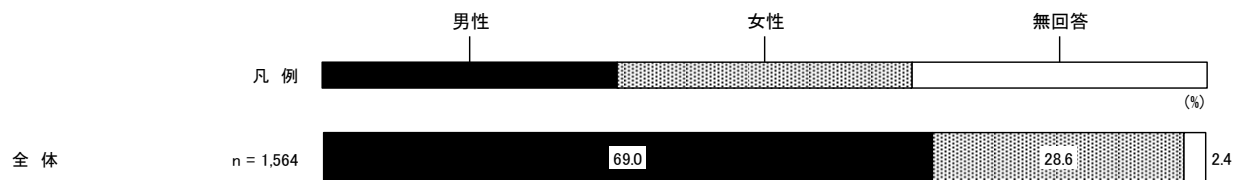
III 調査結果

3-1 回答者の属性

3-1-1 性別

問1 あなたの性別と年齢を教えてください。
 (1) 性別 (〇は1つ)

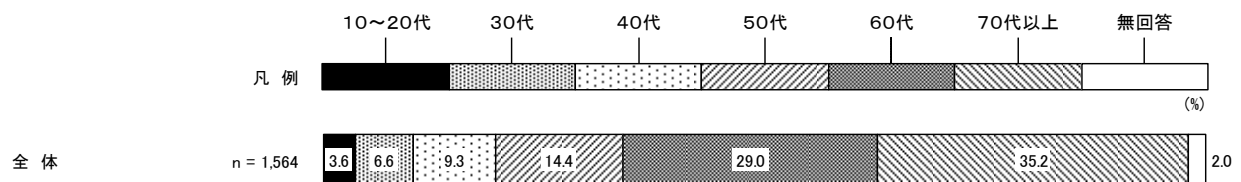
<図表3-1-1 性別>



3-1-2 年齢

問1 あなたの性別と年齢を教えてください。
 (2) 年齢 (〇は1つ)

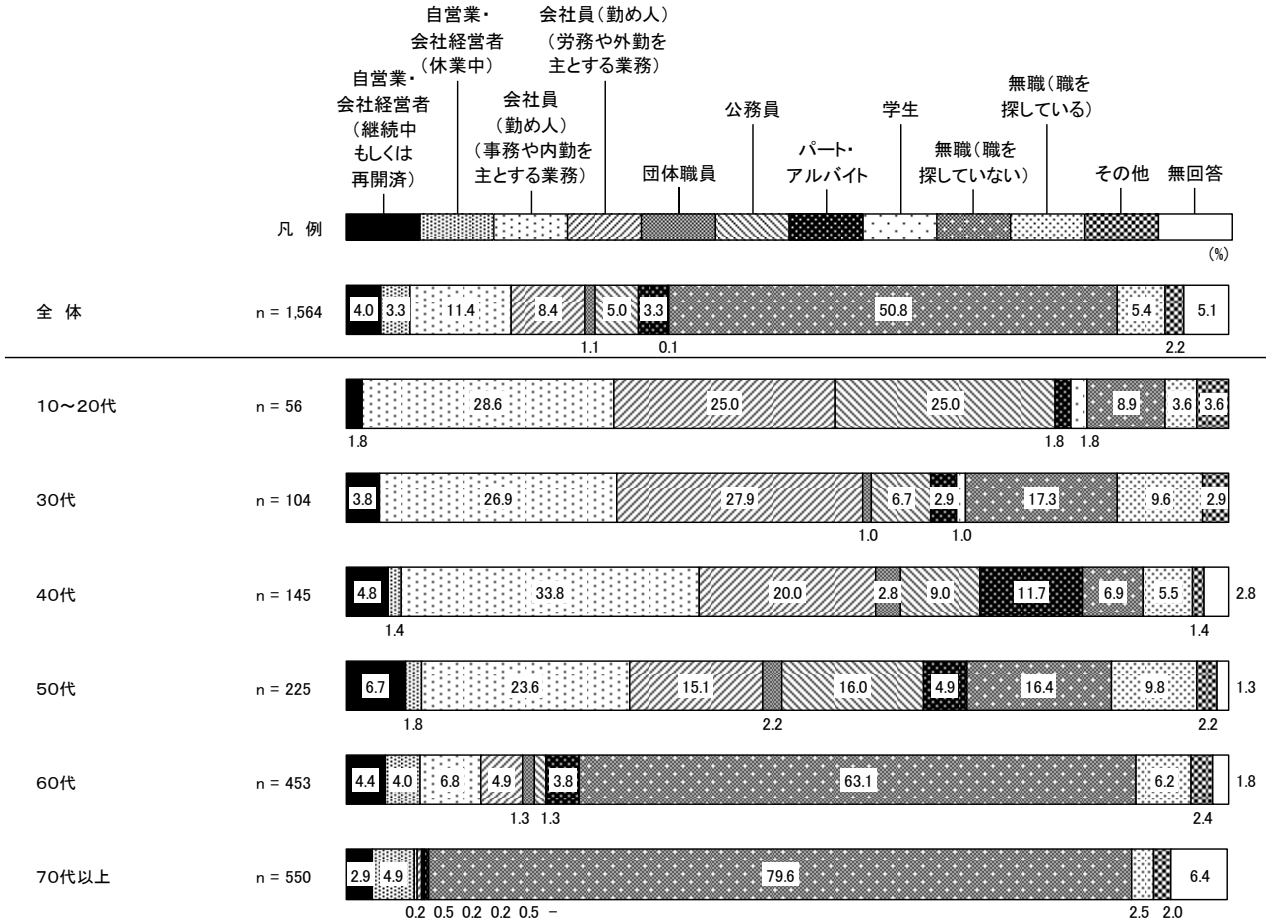
<図表3-1-2 年齢>



3-1-3 現在の職業（就業形態）

問2 現在のあなたの職業を教えてください。仕事に就いている方は、業種も教えてください。
 なお、2つ以上の職業を持っている場合は、主な収入源になっている職業を教えてください。
 (1) 職業（就業形態）(○は1つ)

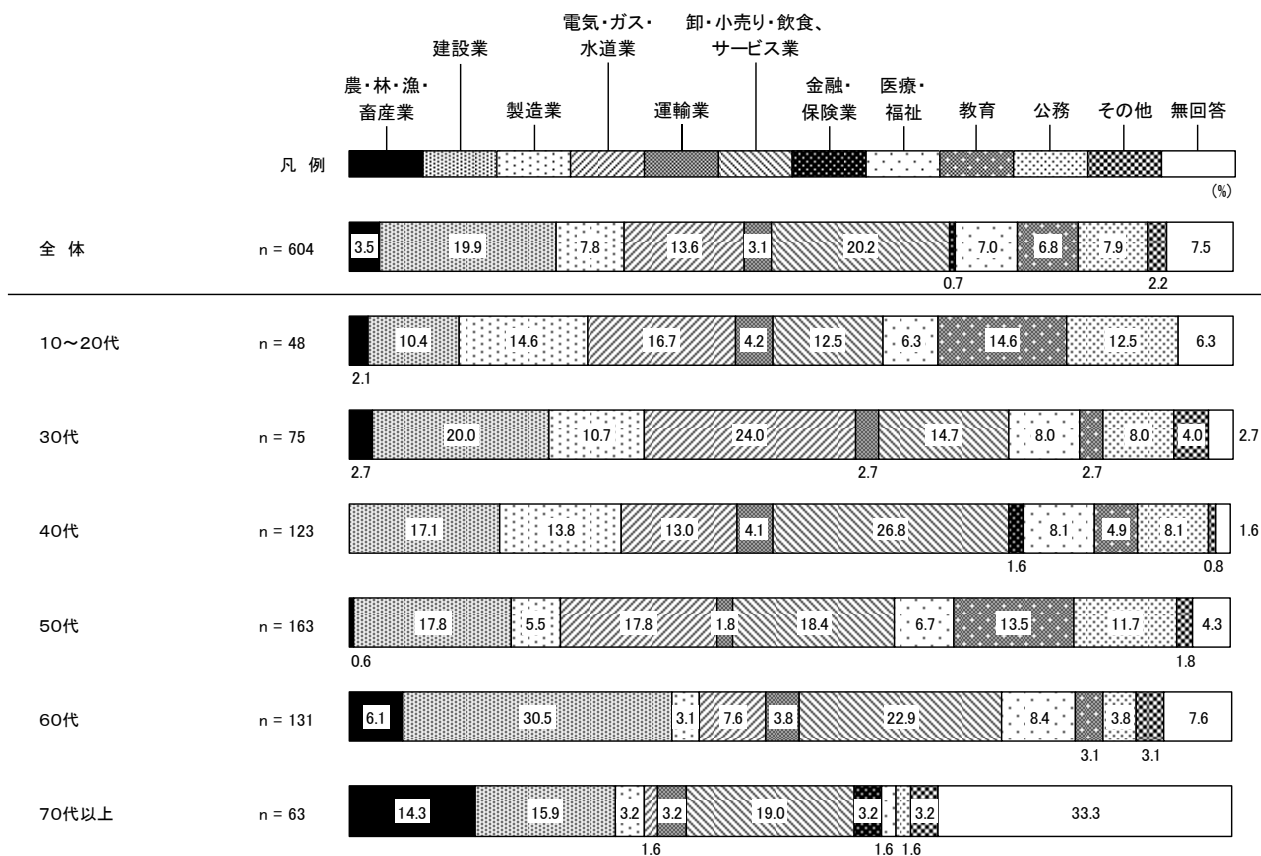
<図表3-1-3 現在の職業（就業形態）（年齢別）>



3-1-4 現在の業種

問2 現在のあなたの職業を教えてください。仕事に就いている方は、業種も教えてください。
 なお、2つ以上の職業を持っている場合は、主な収入源になっている職業を教えてください。
 【仕事に就いている方（問2（1）で「1」から「7」、「11」と回答した方）にうかがいます。】
 (2) 業種（〇は1つ）

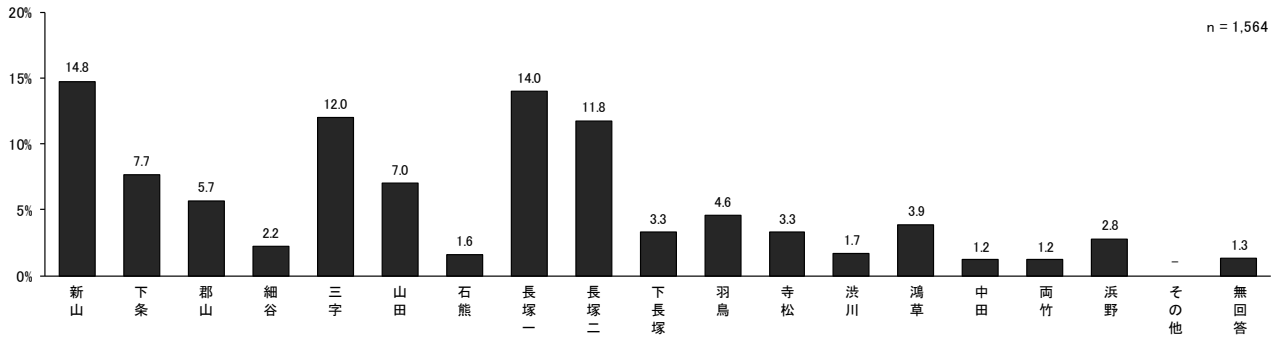
<図表3-1-4 現在の業種（年齢別）>



3-1-5 震災発生当時の住まいの行政区

問3 震災発生当時にお住まいだった行政区を教えてください。(〇は1つ)

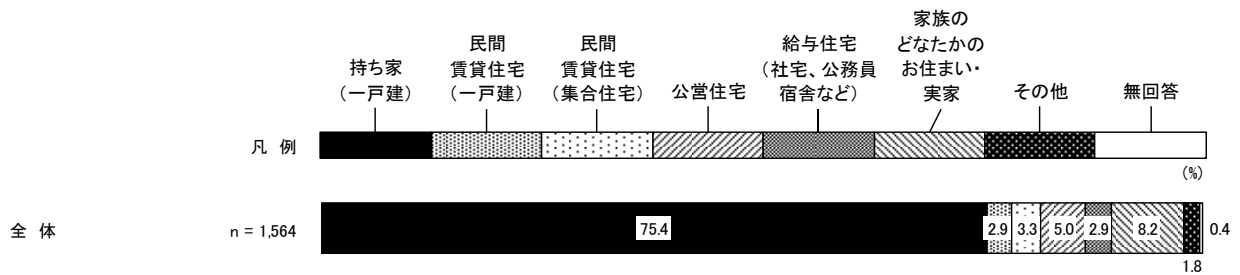
<図表3-1-5 震災発生当時の住まいの行政区>



3-1-6 震災発生当時の住居形態

問4 震災発生当時にお住まいだった住宅は、どのような形態でしたか。(〇は1つ)

<図表3-1-6 震災発生当時の住居形態>



〔その他の内訳〕

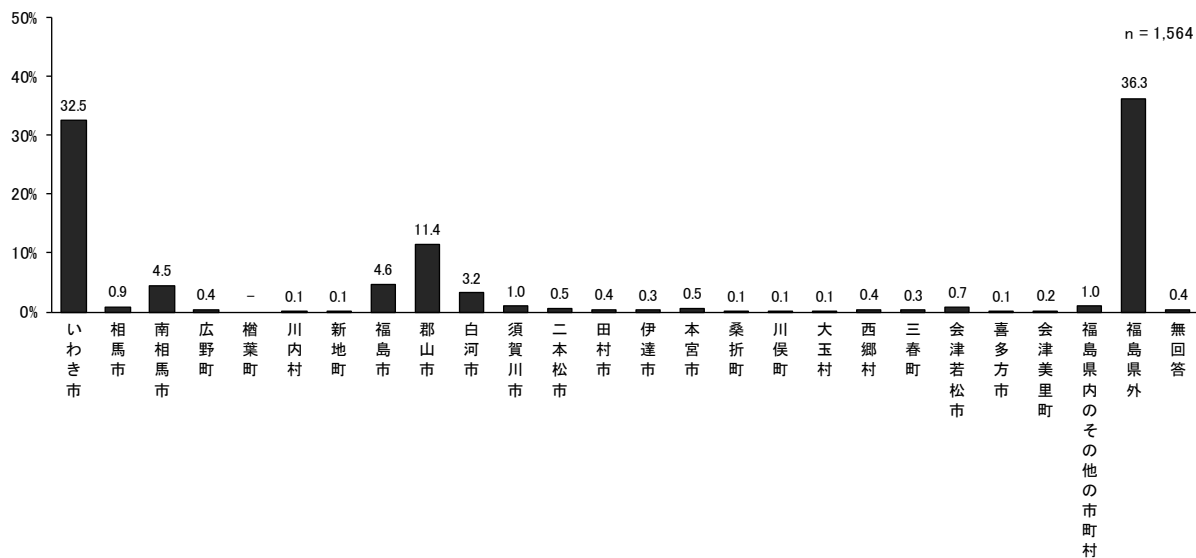
持ち家(集合住宅)	0.2%
親戚・知人宅	0.7%
その他	0.9%

3-2 避難状況

3-2-1 現在の避難先自治体

問5 あなたが現在避難されている自治体を教えてください。(〇は1つ)

<図表3-2-1 現在の避難先自治体>

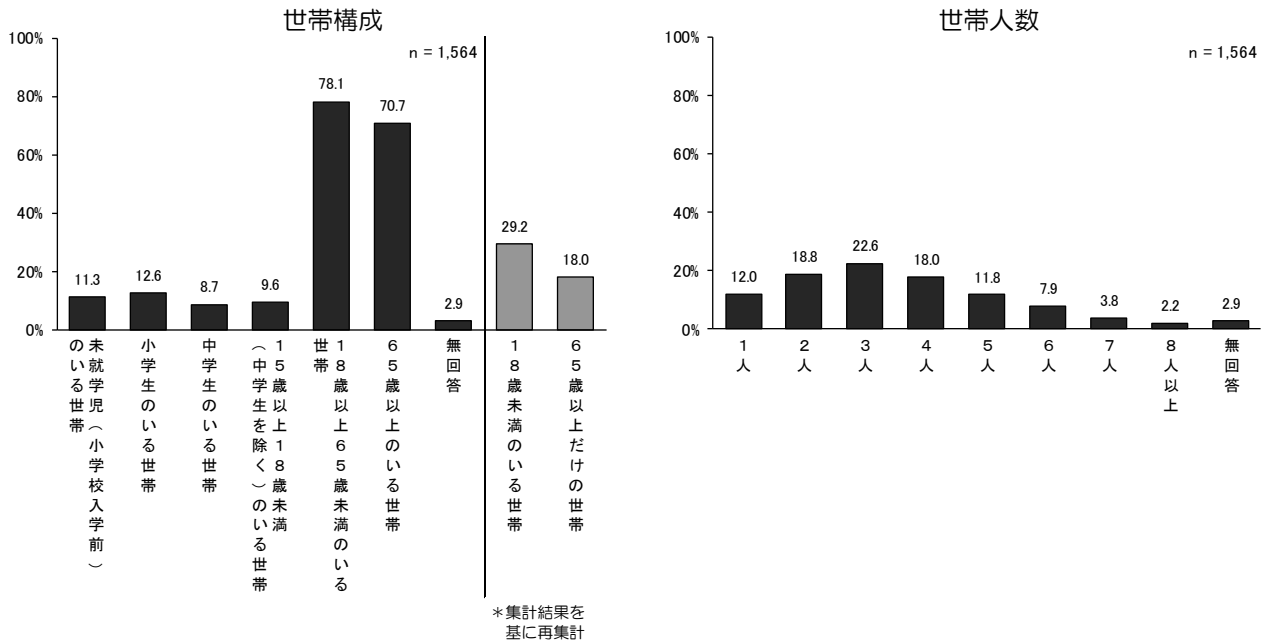


3-2-2 震災発生当時の世帯構成・人数

問6 震災発生当時と現在の世帯構成についてうかがいます。

- (1) 「震災発生当時」に、あなたを含めて一緒に住んでいた方の人数を教えてください。
あなた自身を含めて、「当時の」年齢・学齢にあてはまる人数でご回答ください。(人数で回答)

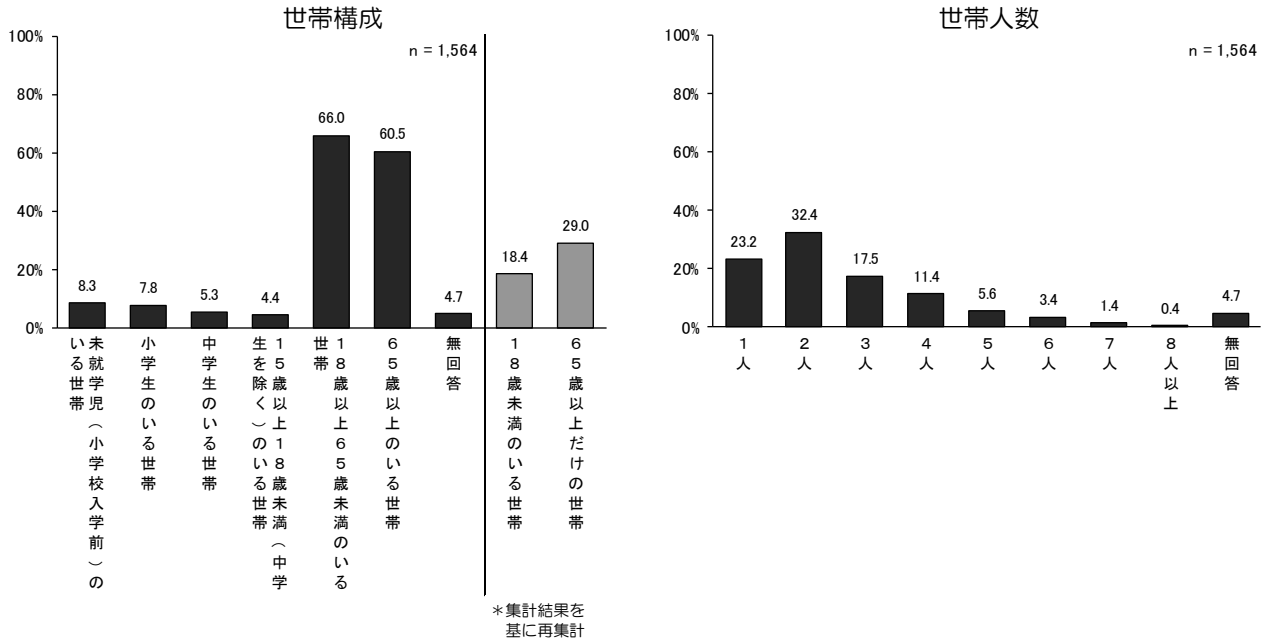
<図表3-2-2 震災発生当時の世帯構成・人数>



3-2-3 現在の世帯構成・人数

問6 震災発生当時と現在の世帯構成についてうかがいます。
 (2) 「現在」、あなたを含めて一緒に住んでいる方の人数を教えてください。
 あなた自身を含めて、「現在の」年齢・学齢にあてはまる人数でご回答ください。(人数で回答)

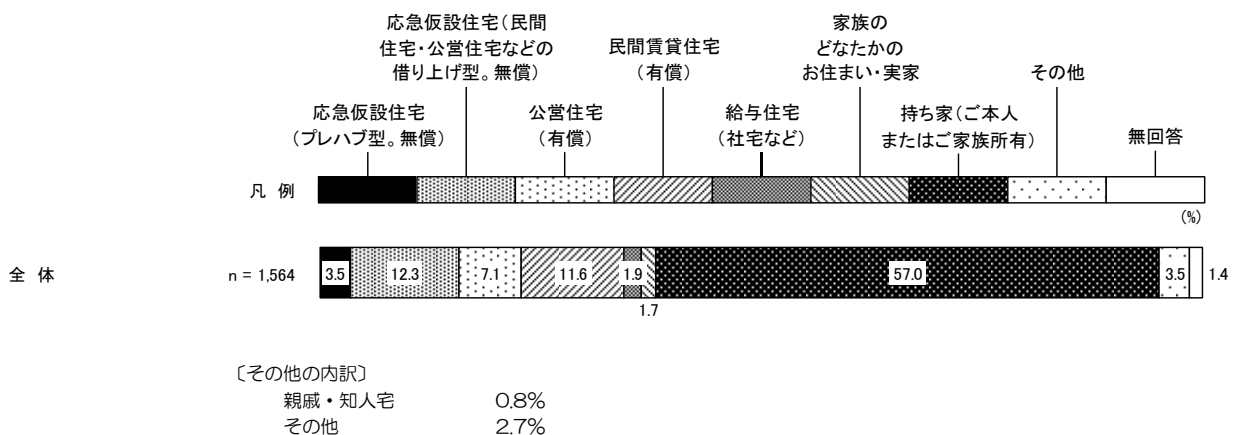
<図表3-2-3 現在の世帯構成・人数>



3-2-4 現在の住居形態

問7 現在お住まいになっている住宅はどのような住居形態ですか。(○は1つ)

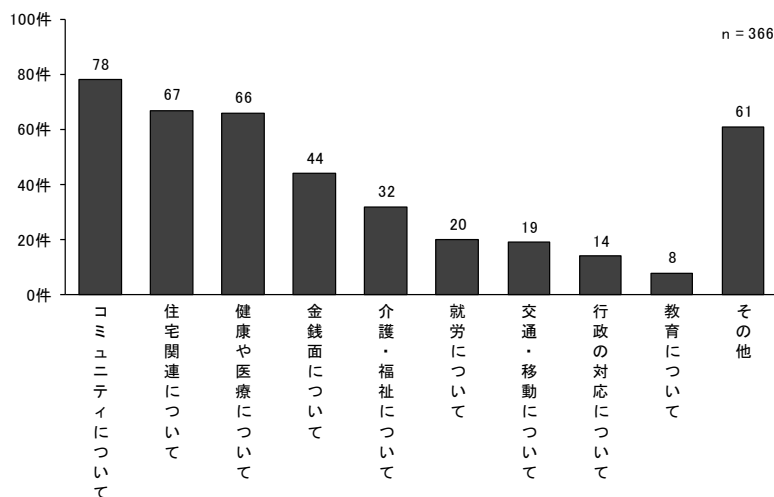
<図表3-2-4 現在の住居形態>



3-2-5 避難期間中の生活において困っていることや改善を求めること

問8 避難期間中の住宅や、生活において困っていること、改善を求めること等があれば、お書きください
(医療、教育、介護・福祉、就労、コミュニティなど)。

＜図表3-2-5 避難期間中の生活において困っていることや改善を求めること＞



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

【コミュニティについて】

- ・元町民とのコミュニケーションがとりづらくなった。(10~20代)
- ・周りに知り合いがないので、情報やコミュニティが取れないのが寂しいです。(30代)
- ・友達がいない。双葉のイベントに参加しても、同年代がいない。(30代)
- ・30代~50代のコミュニティがほとんどない。復興に対して私も含めて消極的な為、会う機会さえない。(50代)
- ・コミュニティが取れない。年寄り(老人)が同居しているが、近所にコミュニティを取る場所を見つけるのは困難である。(50代)
- ・親類が県内外に避難してそこに新たに住居を構えたので、以前(震災前)のように気軽に行き来ができなくなったこと。(60代)
- ・復興公営住宅に住んでいます。集会所はあるのですが自治会はありません。イベントとしては、社協、みんなの支援で月4回10:30~11:30がありますが、その他にも月に何回かお茶会でもあれば、もっと他町の方とも同じ双葉町の方とも、コミュニティが作れると思います。集会所を使う事に対して、個人的に反対の方もいます。車のある方は良く出かけますが、その他の方は部屋に閉じこもるだけです。(70代以上)
- ・娘と一緒に生活しているが、日中は一人になり話し相手がないので、いざという時が不安。避難する場合、急病の場合など非常に不安。自分は高齢なので特に心配である。(70代以上)
- ・現在、住宅団地の中から来て、ぽつりと一戸建を買って住んでいるが、近隣の付き合いもなく、話し相手もなく、妻の介護暮らしに最近では疲れてきた。やはり双葉町の故郷であれば、同じ生活でも人間付き合いもあり、家族もそばにいたので、震災前の余生の生活は最高の楽しい暮らしだった。現在は楽しみも何もなく、精神的に疲れた。(70代以上)

【住宅関連について】

- 借り上げ住宅ではないので、アパート代が負担になっている（東電賠償も不可）。（10～20代）
- 借り上げを利用しているが、いつ打ち切られるのか不安。（10～20代）
- 仕事を探して別の市に移動を考えているのですが、働いていないのでアパートを借りられるのかが不明で不安です（初めに移動してから仕事を探したい）。（30代）
- 同じ団地に双葉の人がいない。双葉の人がいる復興団地へ引っ越しをしたい。（30代）
- 子供が成長し、現在住んでいる部屋ではとても狭く感じている。（40代）
- 双葉町に所有している家の管理と今後の対応（借地に建っている）。（50代）
- 応急仮設住宅（公営住宅・無償）の期限が来年3月までとなっておりますが、まだ次の住まいが決まっていないので、平成31年3月までの延長を強く要望しております。（60代）
- 今住んでいる所は集合住宅ですが、作りが悪いせいか音がうるさく、神経を使い疲れています。防音設備が良くないせいだと思います。今、別の空き家を探しています。（70代以上）
- 借り上げがなくなったらどうしようかと心配です。現在の年金では家賃を出す事が出来ません。よろしくお願ひします。（70代以上）
- 現避難先の住居が狭く、双葉町の自宅から和・洋タンス、サイドテーブル、本箱等の家財を運べなくて困っている。（70代以上）

【健康や医療について】

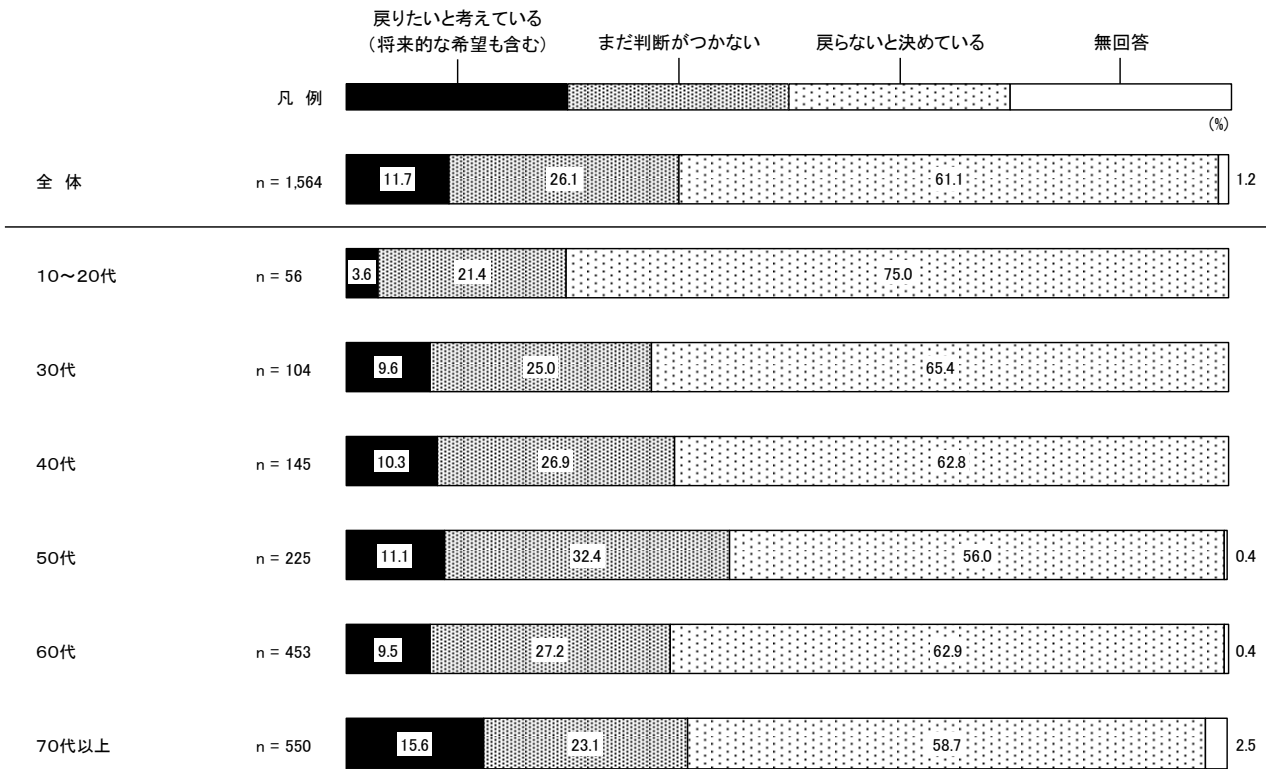
- 産婦人科があまりないので、これから子供産む時に、何かあった時には必要。小児科もなく、車もないのでタクシー代がかかりそう。（10～20代）
- もっと甲状腺検査に行きやすくなると助かります。会社勤めだと、日程を合わせにくかったりします。（10～20代）
- 健康診断を開催する日にちを、来年は増やしてほしい。仕事の都合で休めない場合、その日を逃すとできないので。（30代）
- 医療機関に人が集中するため、思うように診察が受けられない事がある（又、医師の技術不足もあるため）。（40代）
- 1人で現在住んでいるため、病気になった時に困難におちいる。（50代）
- 医療面で、通院のための病院が遠く不便である（電車でも不便な場所）。運転もいつまでできるか不安があるため、タクシー利用の援助があればと思う。（60代）
- 特定健康診査の健診場所が遠くて不便である。大きな医療機関が近場になく、今後に不安がある。（60代）
- 年齢からして、体の衰えと毎日向き合っています。支援を考えてほしいです。親戚宅に、長い間世話になっています。（70代以上）
- 健康診断を受ける病院が限定されており、避難先住所から遠い病院だったり、又毎年違った指定病院になったり、不自由を感じました。（70代以上）

3-3 将来の意向

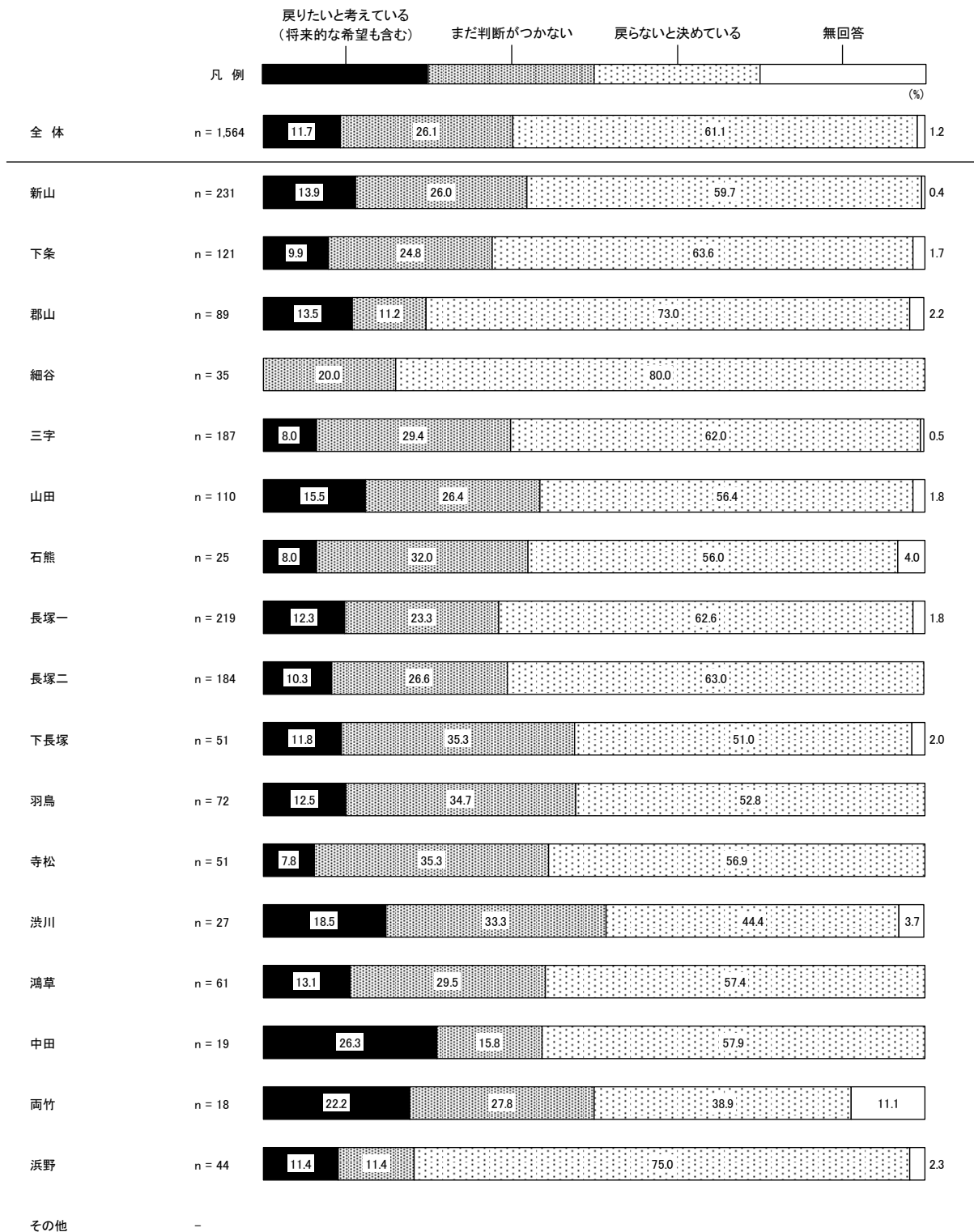
3-3-1 双葉町への帰還意向

問9 今後、避難指示が解除された後の双葉町への帰還について、現時点でどのようにお考えですか。(〇は1つ)

<図表3-3-1-1 双葉町への帰還意向(年齢別)>



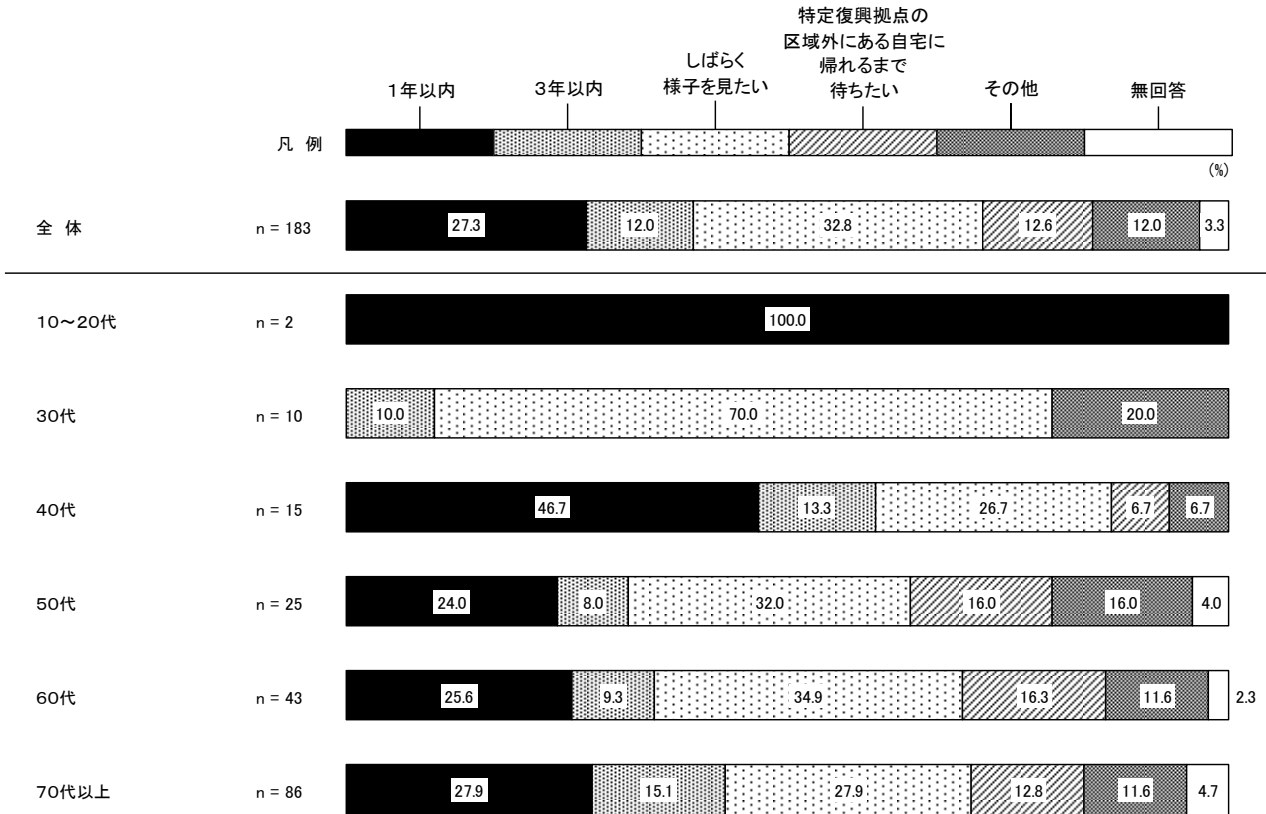
<図表3-3-1-2 双葉町への帰還意向（震災発生当時の住まいの行政区別）>



3-3-2 避難指示解除から帰還するまでの年数

【問9で「1. 戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」と回答した方にうかがいます。
 問10-1-1 避難指示が解除されてから、何年以内に戻りたいと考えていますか。（〇は1つ）

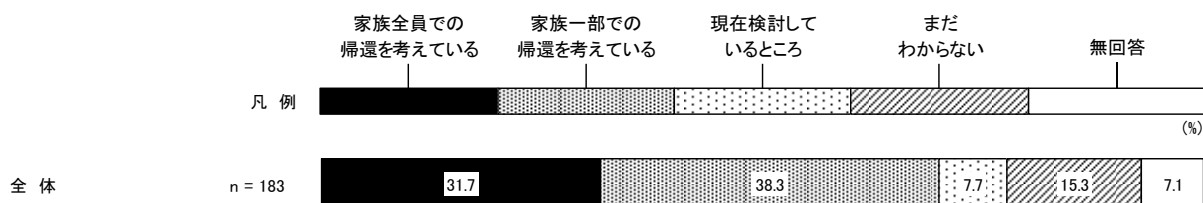
<図表3-3-2 避難指示解除から帰還するまでの年数（年齢別）>



3-3-3 双葉町へ戻る場合の家族

【問9で「1. 戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」と回答した方にうかがいます。
 問10-1-2 戻る場合に家族の全員か一部かについて教えてください。（〇は1つ）

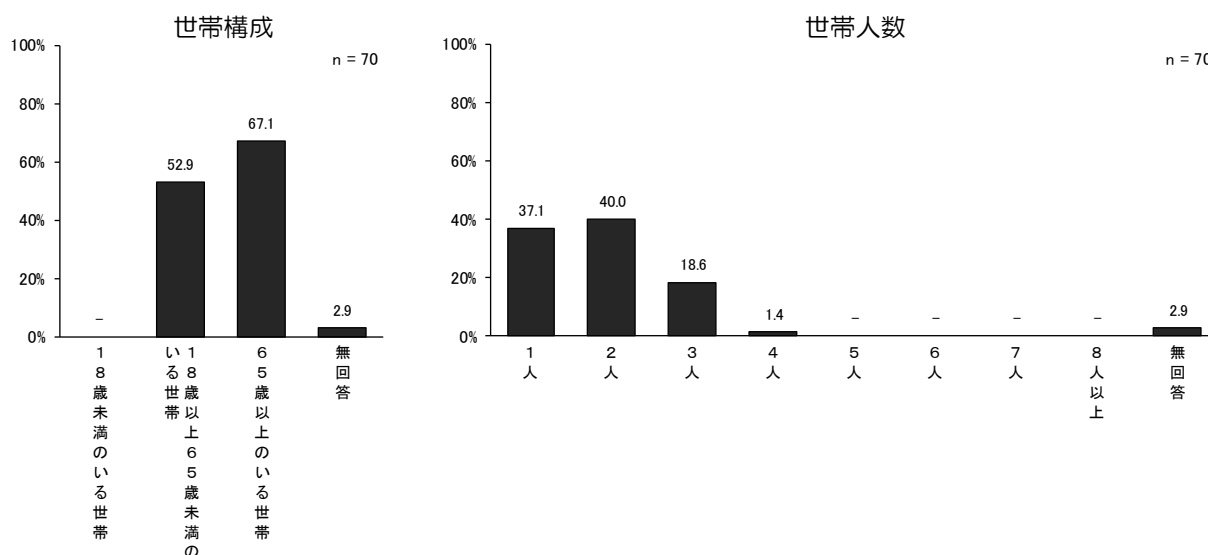
<図表3-3-3 双葉町へ戻る場合の家族>



3-3-4 双葉町へ家族の一部が戻る場合の世帯構成・人数

【問10-1-2で「2. 家族一部での帰還を考えている」と回答した方にうかがいます。
 問10-1-3 帰還した場合にはどのような家族構成になると考えていますか。あなた自身を含めて、「現在の」年齢・学齢にあてはまる人数でご回答ください。（人数で回答）

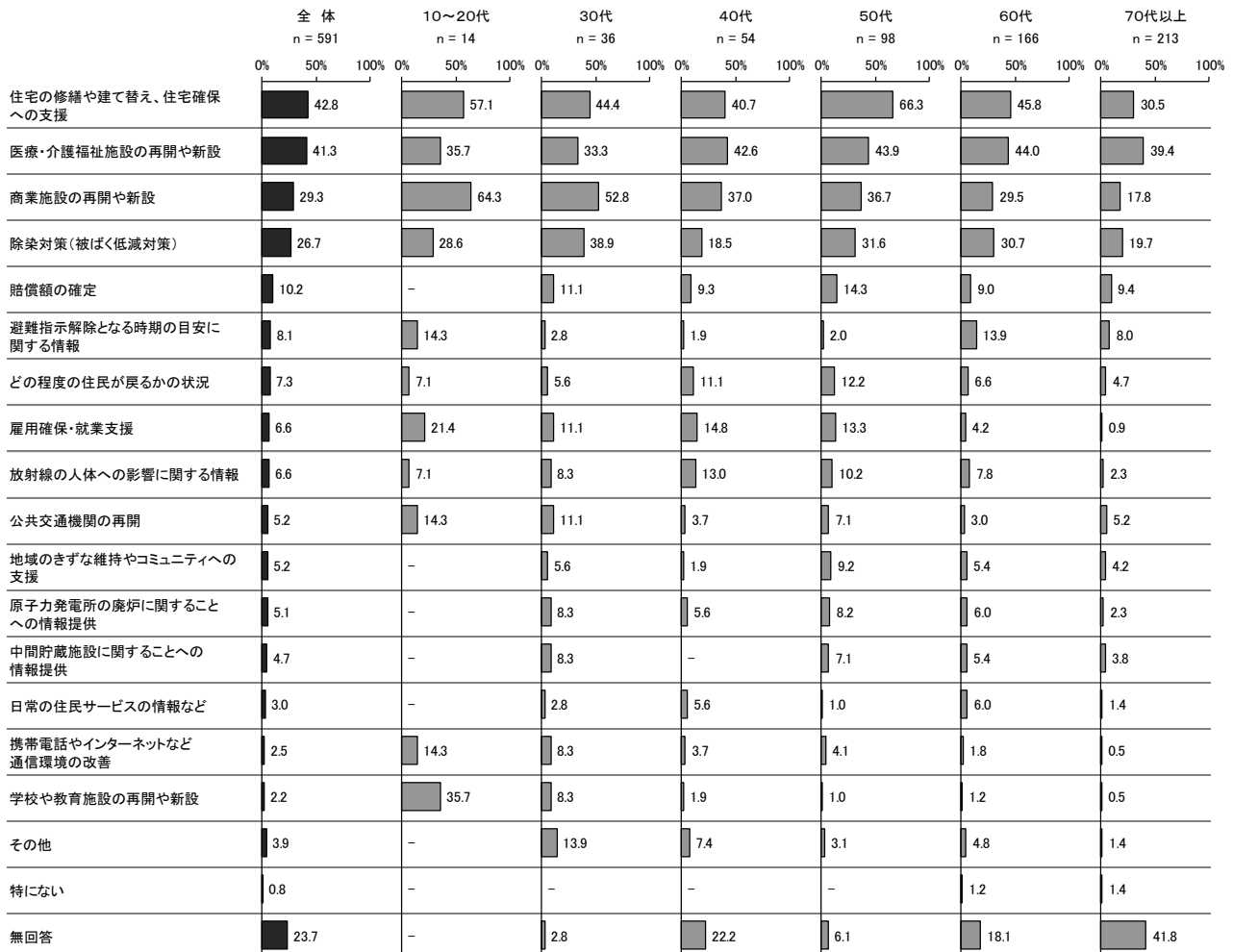
<図表3-3-4 双葉町へ家族の一部が戻る場合の世帯構成・人数>



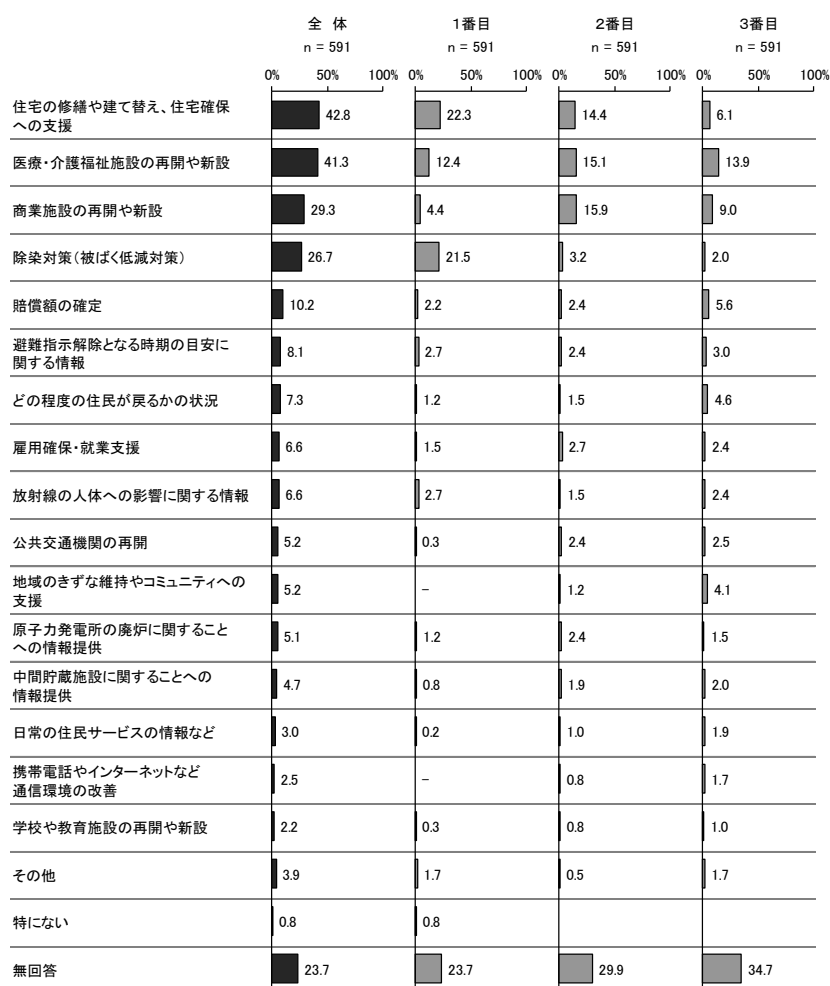
3-3-5 双葉町への帰還を判断するために必要な支援・情報

【問9で「1. 戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」「2. まだ判断がつかない」と回答した方にうかがいます。】
 問10-2 帰還する場合、または双葉町へ戻ることを判断するためにどのような支援や情報が必要と考えますか。重視したいものから順に選択肢番号欄に3つまで選び、具体的な内容欄に支援や情報内容をご記入ください。

<図表3-3-5-1 双葉町への帰還を判断するために必要な支援・情報（年齢別）>



<図表3-3-5-2 双葉町への帰還を判断するために必要な支援・情報（優先順位別）>



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

[住宅の修繕や建て替え、住宅確保への支援について]

- 元の家の場所に住めるのか。(30代)
- 震災から6年が経過し、修繕では住める状況ではない。建て替えをする場合、国・県・町としてどのくらい支援してくれるのか。(40代)
- 上下水道、電気の完全な復旧。(50代)
- 家がイノシシ、雨漏りで住める状態でない。ただちに屋根の補修、リフォームが必要。(60代)

[医療・介護福祉施設の再開や新設について]

- 知的障害者通所施設、入所施設。(50代)
- 町内診療所の設置。介護福祉施設の開設(駅周辺)。(50代)
- 双葉厚生病院等の再開。(60代)
- 特養老人施設と病院。(70代以上)

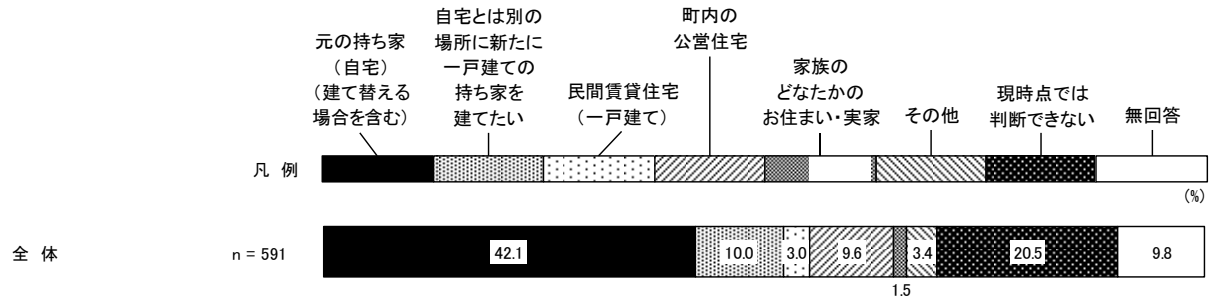
[商業施設の再開や新設について]

- ある程度の日常生活ができるだけの商業施設ができるかどうか。(10~20代)
- 震災前から双葉町には商業施設がない。買い物も別の町に行くぐらいだった。新しい双葉町を造るために、いろいろな商業施設を新設してほしい。(40代)
- 複合型商業施設の設置と買物バス運行。(50代)
- スーパー、コンビニの開業や再開。(70代以上)

3-3-6 双葉町へ帰還する場合の住居形態

【問9で「1. 戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」「2. まだ判断がつかない」と回答した方にうかがいます。
問10-3 帰還した場合のお住まいは、第一希望としてどのような形態を希望されますか。（〇は1つ）

<図表3-3-6 双葉町へ帰還する場合の住居形態>



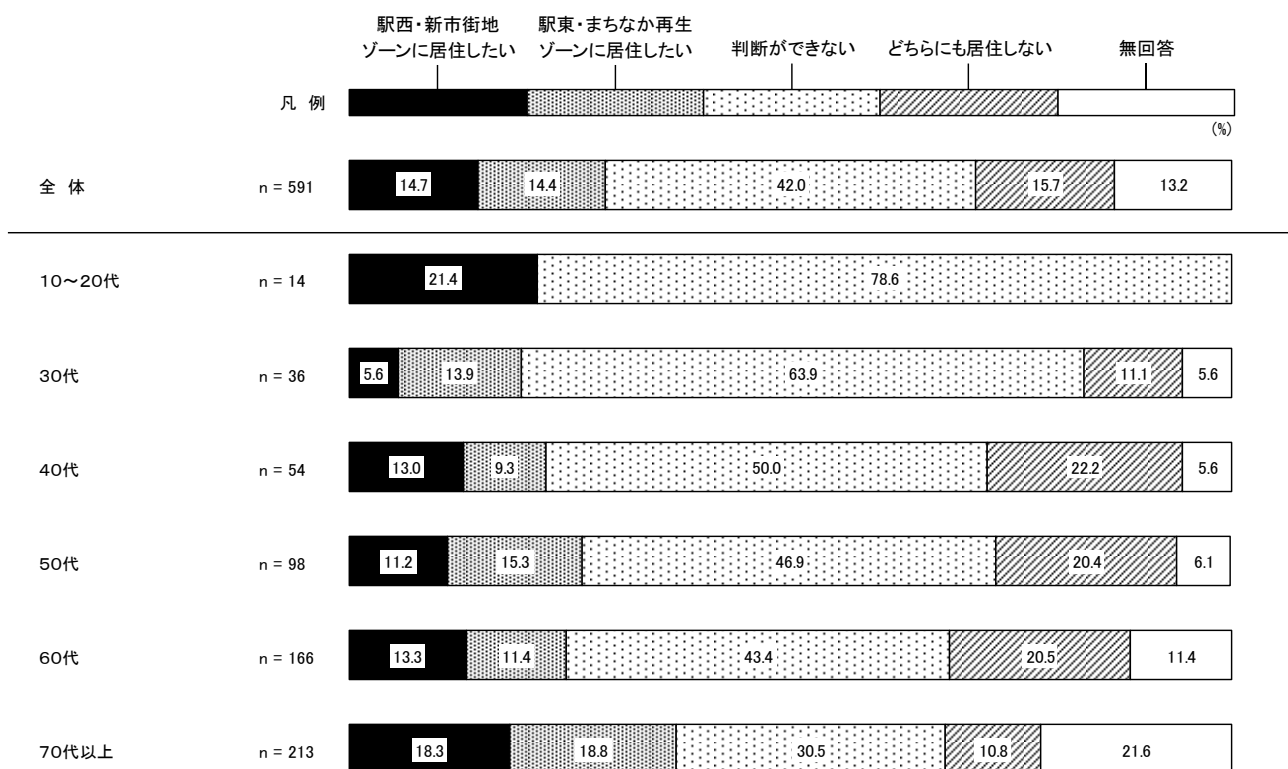
〔その他の内訳〕

自宅とは別の場所に分譲集合住宅を購入したい	0.8%
民間賃貸住宅（集合住宅）	0.7%
給与住宅（社宅など）	0.7%
親戚・知人宅	-
その他	1.2%

3-3-7 「新市街地ゾーン」「まちなか再生ゾーン」への居住意向

【問9で「1. 戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」「2. まだ判断がつかない」と回答した方にうかがいます。】
 問 10-4 町では、JR 双葉駅の西側の区域を「新市街地ゾーン」と位置づけ、町が主導して先行的に住宅地や生活関連施設の整備を進めることとしております。また、JR 双葉駅の東側の区域については、「まちなか再生ゾーン」と位置づけ、既成市街地の再生を目指すこととしております。「駅西・新市街地ゾーン」や「駅東・まちなか再生ゾーン」への居住に関する意向について、もっとも近いものはどれですか。（〇は1つ）
 ※震災発生当時に駅西地区及び駅東地区にお住まいの方もお答えください。

<図表3-3-7 「新市街地ゾーン」「まちなか再生ゾーン」への居住意向（年齢別）>

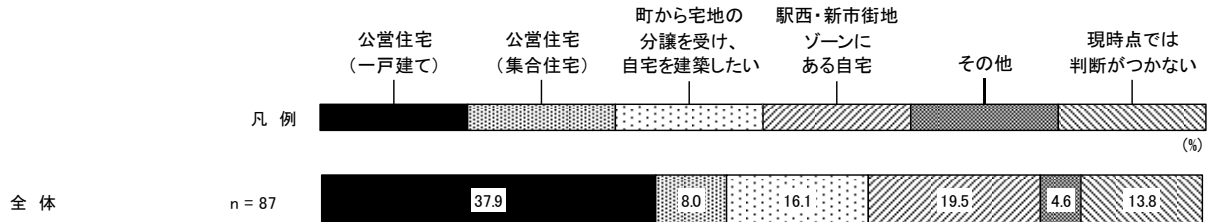


3-3-8 「新市街地ゾーン」に居住する場合の住居形態

【問 10-4 で「1. 駅西・新市街地ゾーンに居住したい」と回答した方にうかがいます。】

問 10-5 町により、JR 双葉駅の西側に住宅地が整備された場合のお住まいは、どのような形態を希望されますか。
(〇は1つ)

<図表3-3-8 「新市街地ゾーン」に居住する場合の住居形態>

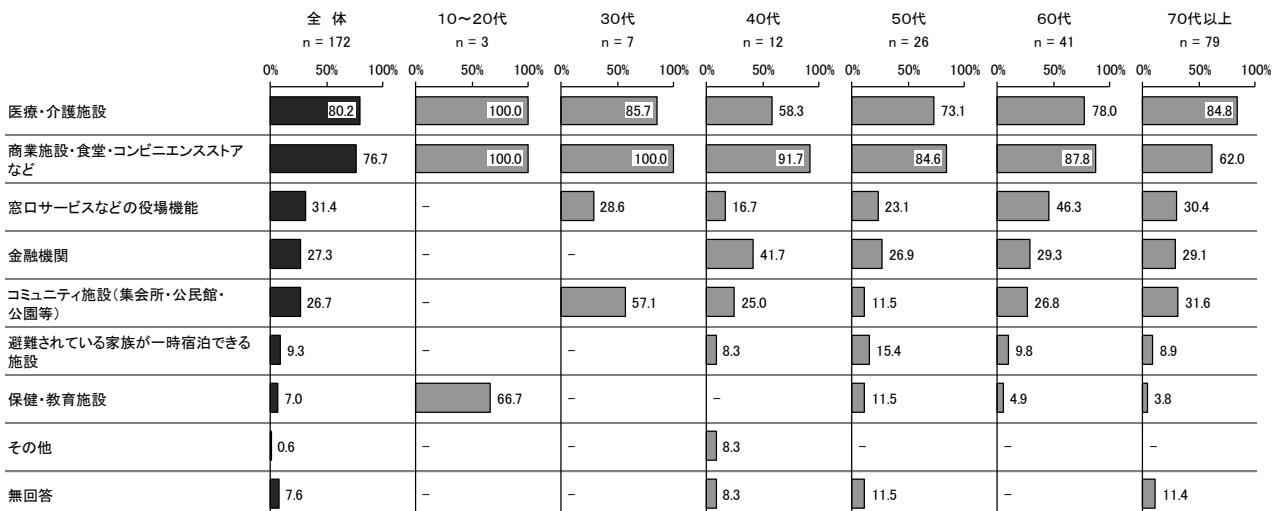


3-3-9 「新市街地ゾーン」「まちなか再生ゾーン」に必要な生活関連施設

【問 10-4 で「1. 駅西・新市街地ゾーンに居住したい」「2. 駅東・まちなか再生ゾーンに居住したい」と回答した方にうかがいます。】

問 10-6-1 「駅西・新市街地ゾーン」及び「駅東・まちなか再生ゾーン」に、特に必要と考える、生活関連施設を教えてください。(〇は3つまで)

<図表3-3-9 「新市街地ゾーン」「まちなか再生ゾーン」に必要な生活関連施設(年齢別)>

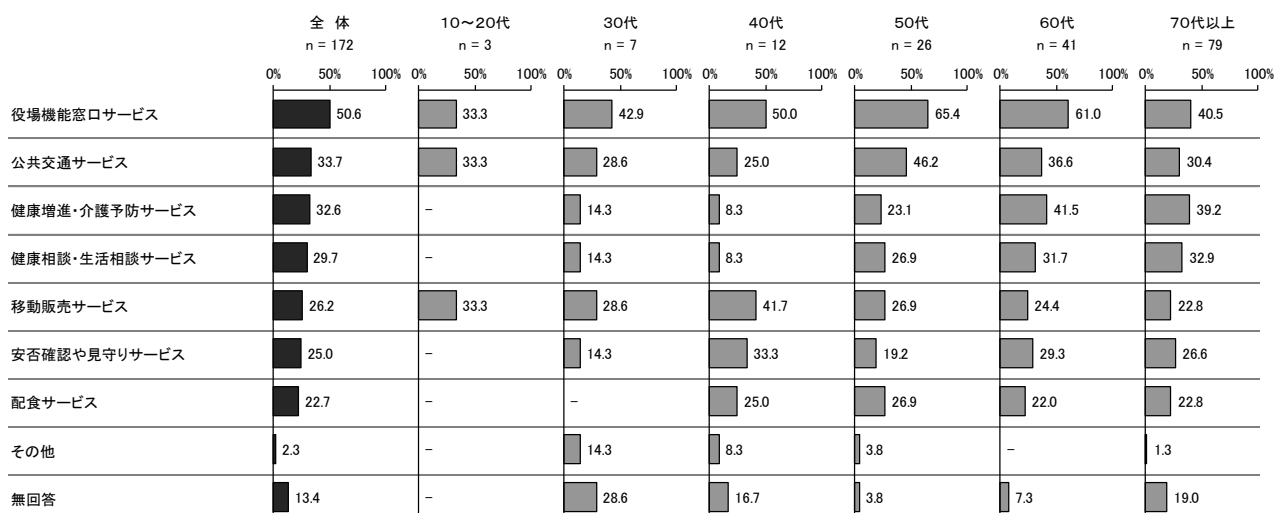


3-3-10 「新市街地ゾーン」「まちなか再生ゾーン」に必要な生活関連サービス

【問 10-4 で「1. 駅西・新市街地ゾーンに居住したい」「2. 駅東・まちなか再生ゾーンに居住したい」と回答した方にうかがいます。】

問 10-6-2 「駅西・新市街地ゾーン」及び「駅東・まちなか再生ゾーン」に、特に必要と考える、生活関連サービスを教えてください。(〇は3つまで)

＜図表3-3-10 「新市街地ゾーン」「まちなか再生ゾーン」に必要な生活関連サービス（年齢別）＞

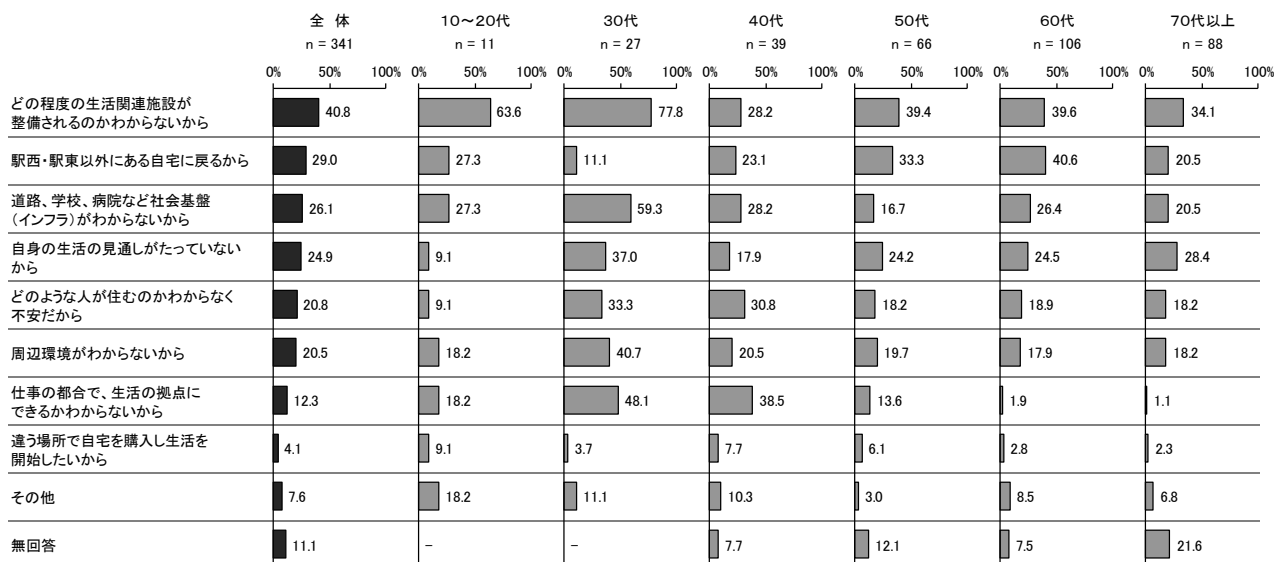


3-3-11 「新市街地ゾーン」「まちなか再生ゾーン」に居住しない理由

【問 10-4 で「3. 判断ができない」「4. どちらにも居住しない」と回答した方にうかがいます。】

問 10-7 「駅西・新市街地ゾーン」及び「駅東・まちなか再生ゾーン」への居住について、現時点で判断ができない、居住しない理由はどのようなことですか。(〇はいくつでも)

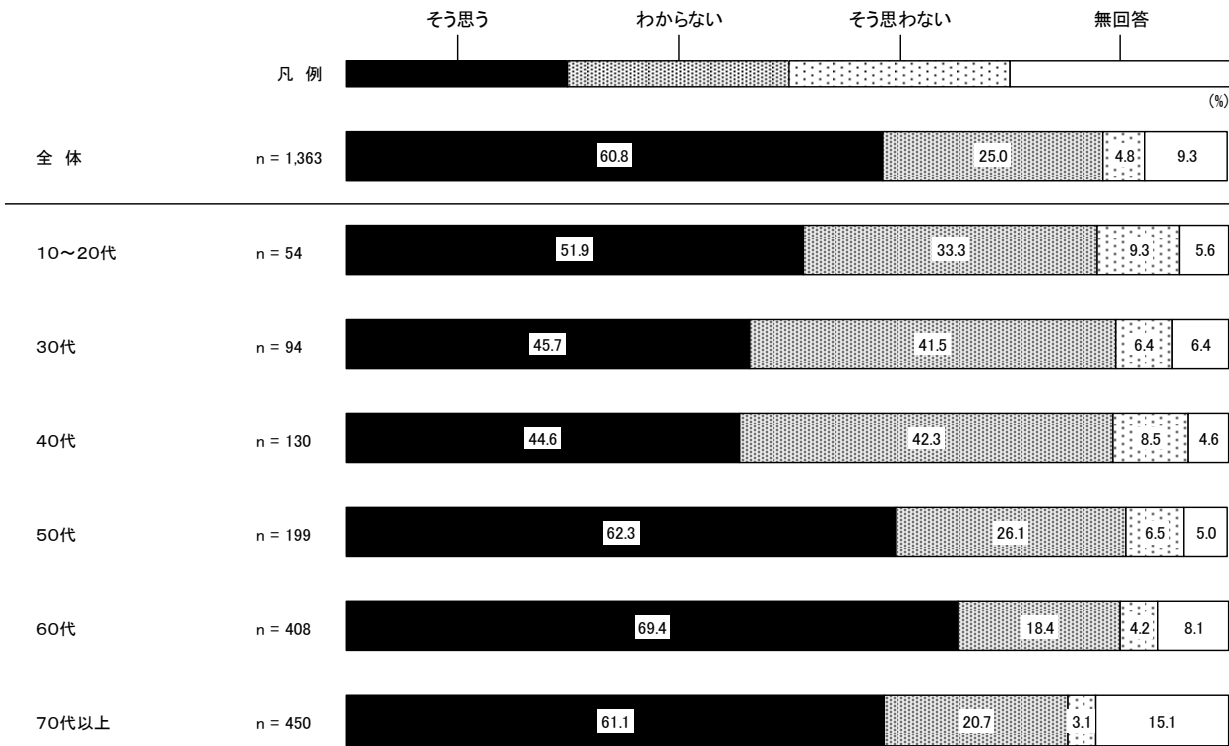
＜図表3-3-11 「新市街地ゾーン」「まちなか再生ゾーン」に居住しない理由（年齢別）＞



3-3-12 双葉町との「つながり」を保ちたいか

【問9で「2. まだ判断がつかない」「3. 戻らないと決めている」と回答した方にかがいます。】
 問11-1 双葉町との「つながり」を保ちたいと思いますか。(〇は1つ)

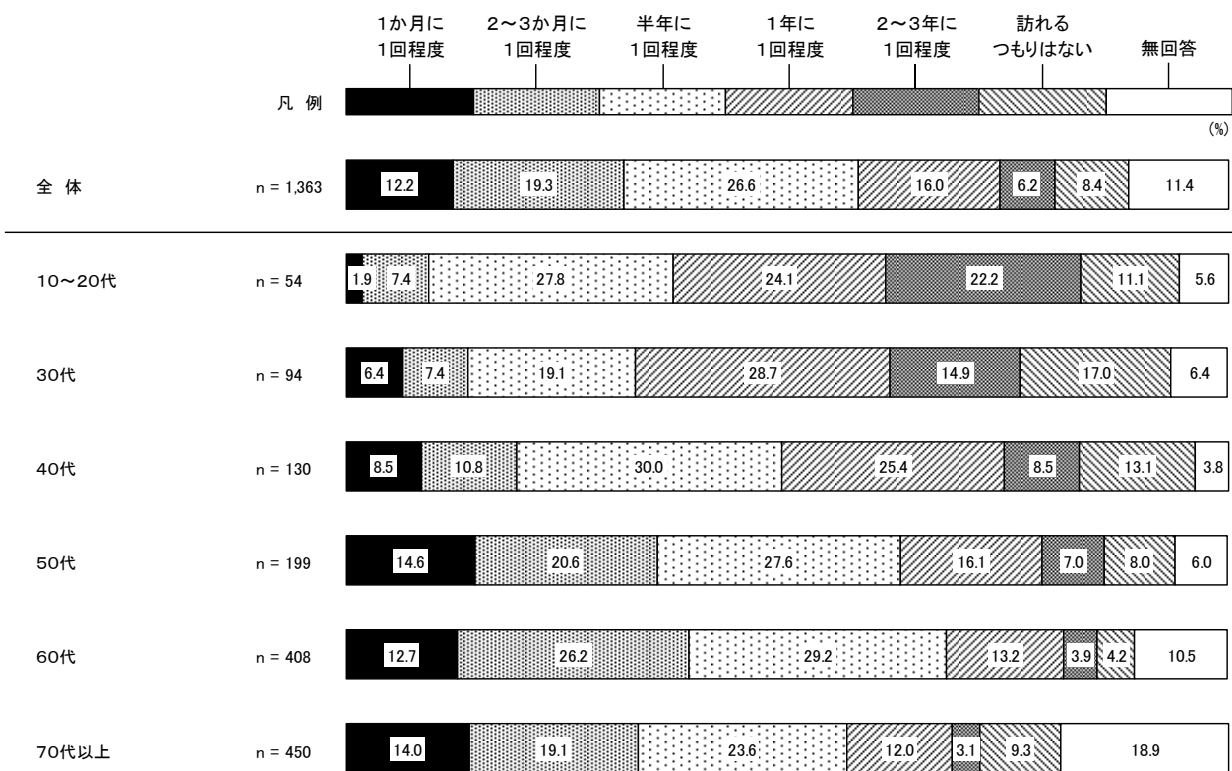
<図表3-3-12 双葉町との「つながり」を保ちたいか(年齢別)>



3-3-13 双葉町を訪れたい頻度

【問9で「2. まだ判断がつかない」「3. 戻らないと決めている」と回答した方にかがいます。】
 問11-2 双葉町をどのくらいの頻度で訪れたいと思いますか。(〇は1つ)

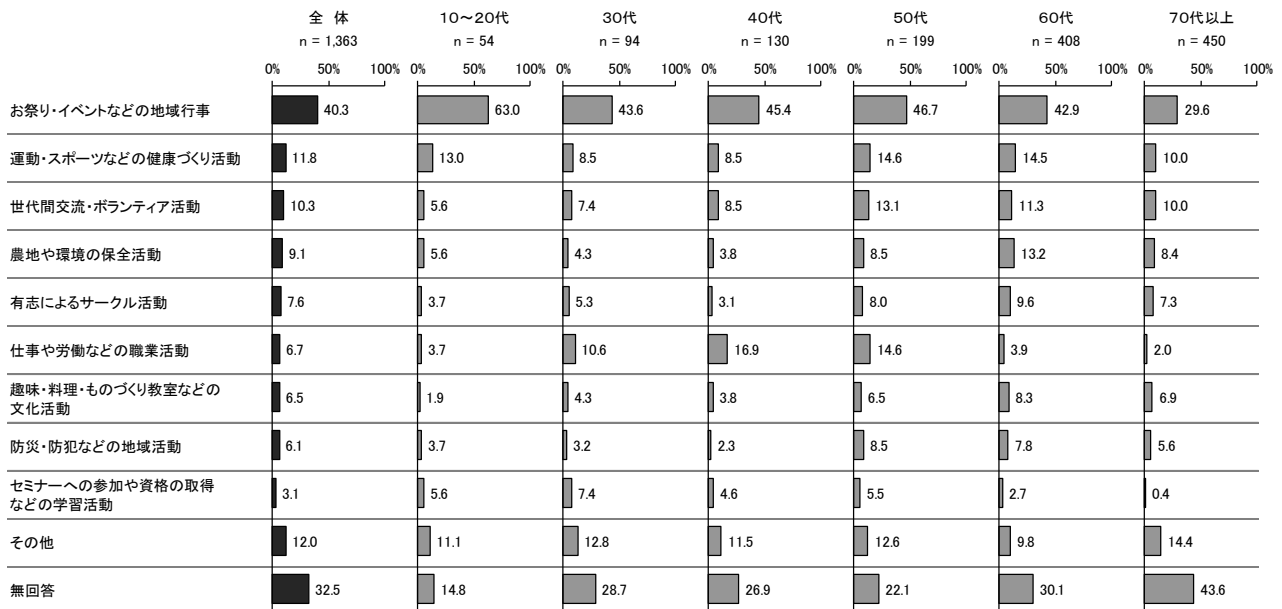
<図表3-3-13 双葉町を訪れたい頻度(年齢別)>



3-3-14 双葉町を訪れてみたいと思う取り組み・行事・イベント

【問9で「2. まだ判断がつかない」「3. 戻らないと決めている」と回答した方にかがいます。】
 問11-3 どのような取り組みや行事、イベントなどがあれば、双葉町を訪れたいと思いますか。(〇はいくつでも)

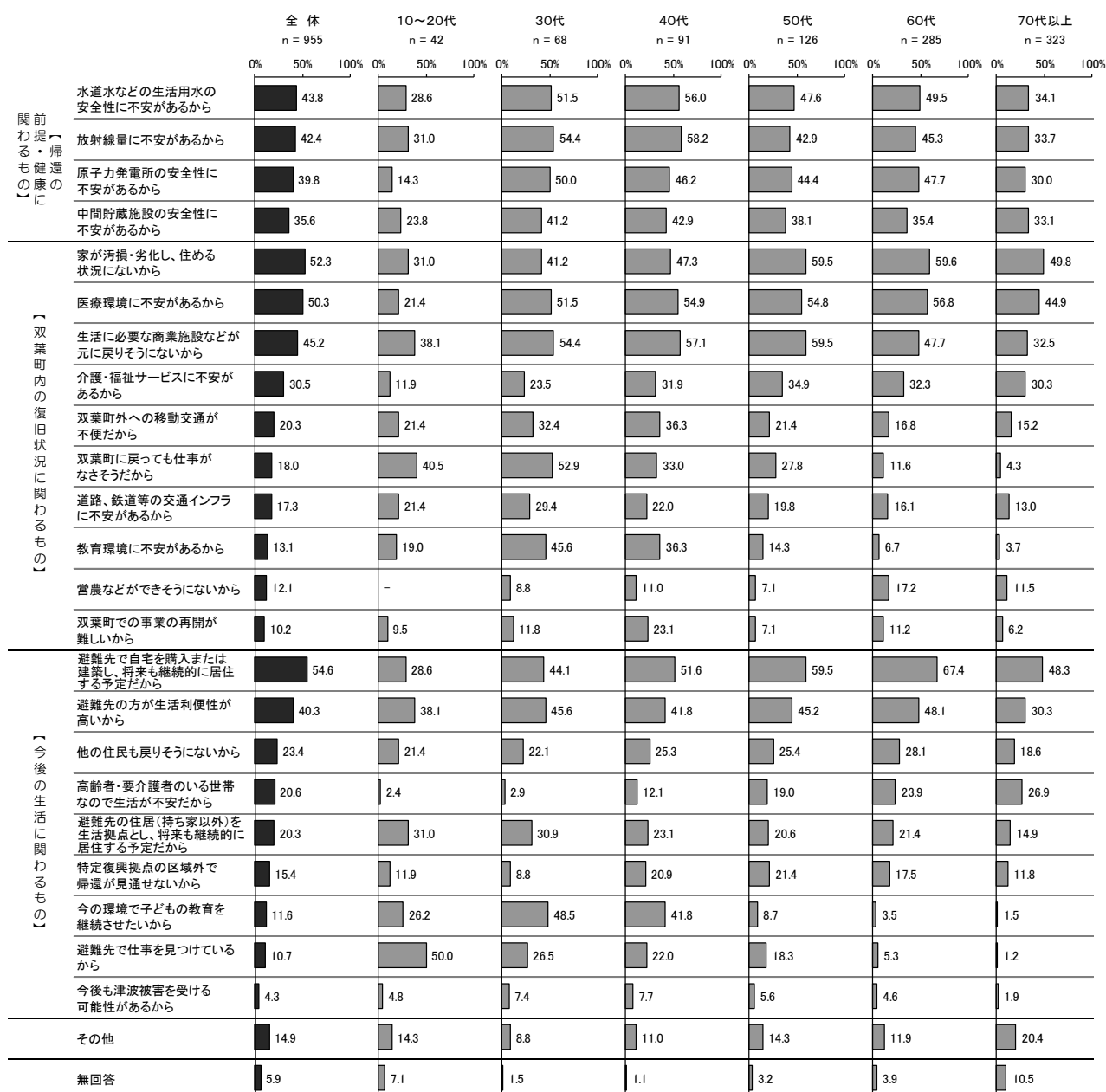
<図表3-3-14 双葉町を訪れてみたいと思う取り組み・行事・イベント(年齢別)>



3-3-15 現時点で戻らないと決めている理由

【問9で「3. 戻らないと決めている」と回答した方にうかがいます。】
 問12-1 現時点で戻らないと決めている理由はどのようなことですか。(〇はいくつでも)

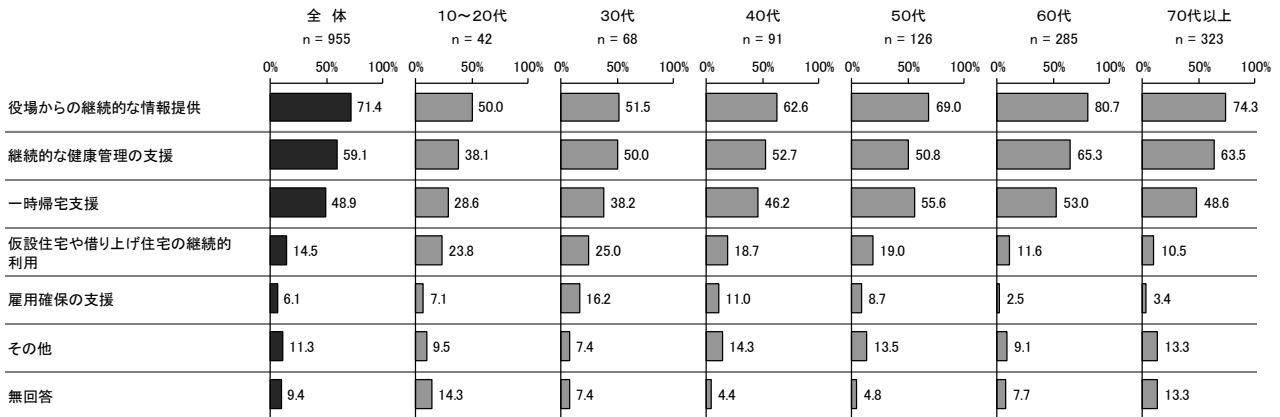
<図表3-3-15 現時点で戻らないと決めている理由(年齢別)>



3-3-16 帰還しない場合に今後の生活において必要な支援

【問9で「3. 戻らないと決めている」と回答した方にうかがいます。】
 問12-2 帰還しない場合に、今後の生活においてどのような支援を求めますか。(〇はいくつでも)

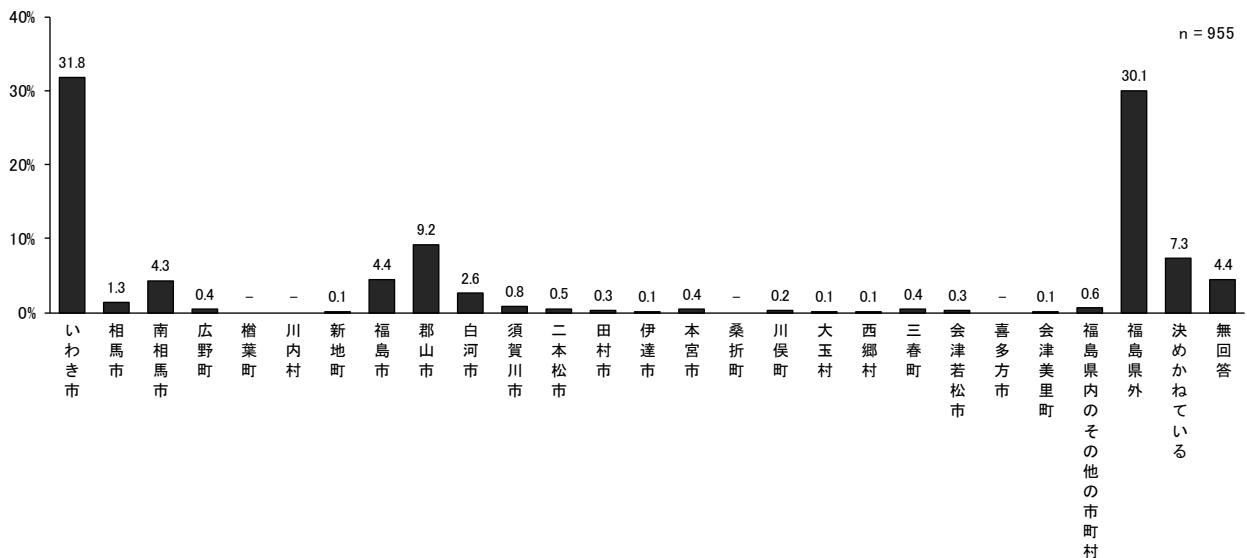
<図表3-3-16 帰還しない場合に今後の生活において必要な支援(年齢別)>



3-3-17 帰還しない場合に居住を希望する自治体

【問9で「3. 戻らないと決めている」と回答した方にうかがいます。】
 問12-3 帰還しない場合に、今後、居住を希望する(既に居住している場合を含む)自治体はどちらですか。その自治体を教えてください。(〇は1つ)

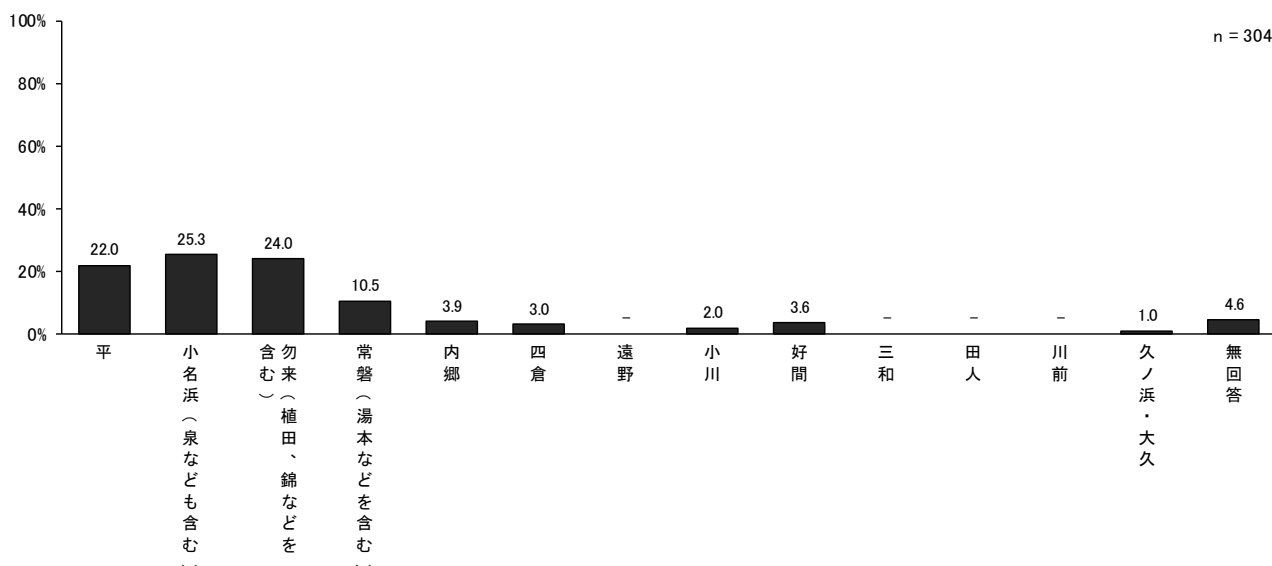
<図表3-3-17 帰還しない場合に居住を希望する自治体>



3-3-18 帰還しない場合に居住を希望するいわき市の地区名

【問9で「3. 戻らないと決めている」と回答した方にうかがいます。】
 問12-3 帰還しない場合に、今後、居住を希望する（既に居住している場合を含む）自治体はどちらですか。その自治体を教えてください。（〇は1つ）
 ※いわき市については地区名を教えてください。（〇は1つ）

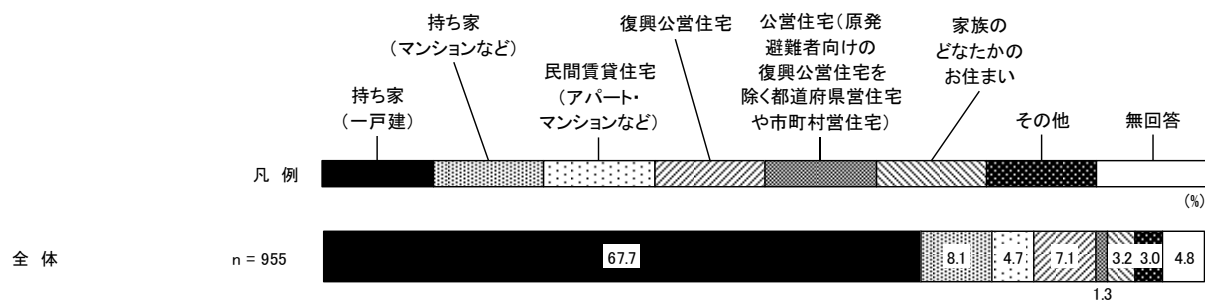
<図表3-3-18 帰還しない場合に居住を希望するいわき市の地区名>



3-3-19 帰還しない場合に今後の住まいとして希望する住居形態

【問9で「3. 戻らないと決めている」と回答した方にうかがいます。】
 問12-4 帰還しない場合に、今後の住まいとして希望する（既に居住している場合を含む）住宅は、どのような形態ですか。（〇は1つ）

<図表3-3-19 帰還しない場合に今後の住まいとして希望する住居形態>



〔その他の内訳〕

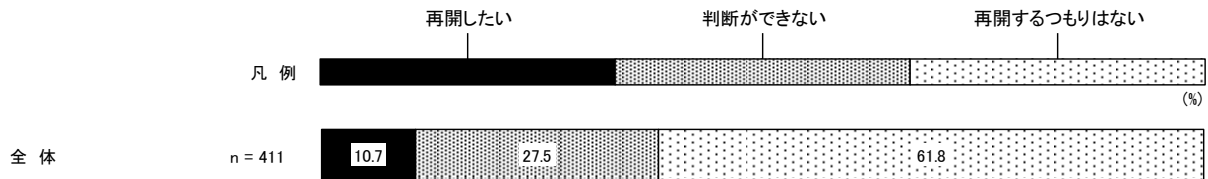
民間賃貸住宅 (一戸建)	0.4%
給与住宅 (社宅など)	0.4%
親戚・知人宅	0.5%
その他	1.7%

3-4 事業の再開

3-4-1 帰還後の双葉町での事業の再開意向

【震災前に双葉町で自営業（農業・林業・漁業・畜産業・商業・工業など）を営んでいた方にうかがいます。】
 問 13 避難指示が解除となり帰還した場合、町内（特定復興拠点及び中野地区復興産業拠点）で事業を再開したいと思いませんか。（〇は1つ）

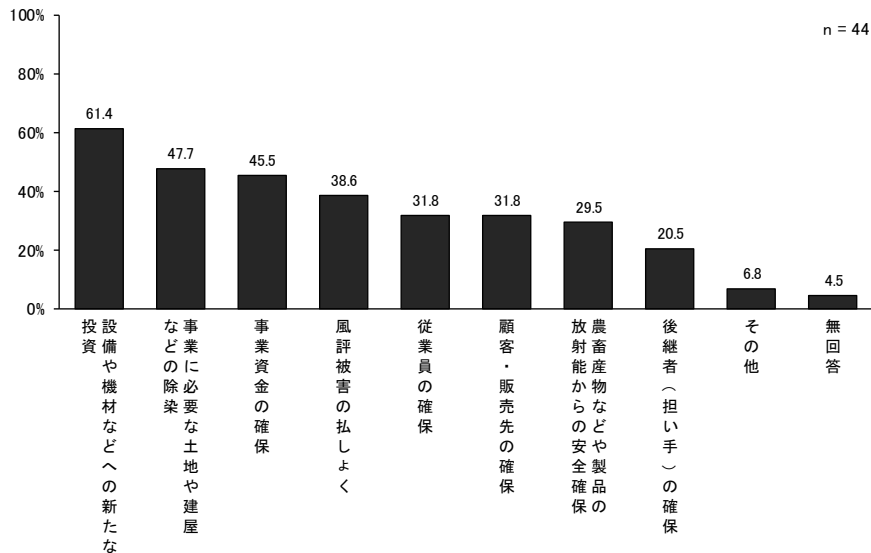
＜図表3-4-1 帰還後の双葉町での事業の再開意向＞



3-4-2 事業再開時の課題

【問 13 で「1. 再開したい」と回答した方にうかがいます。】
 問 14 町内で事業を再開する際の課題があれば教えてください。（〇はいくつでも）

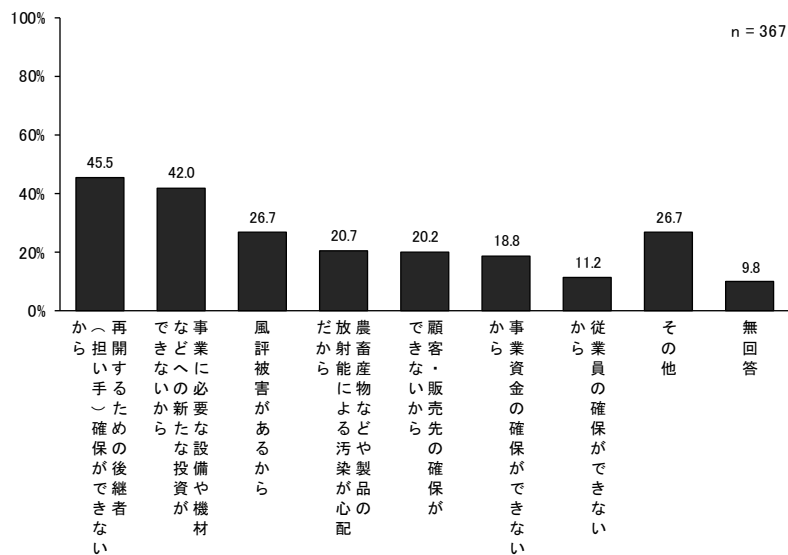
＜図表3-4-2 事業再開時の課題＞



3-4-3 事業を再開しない理由

【問 13 で「2. 判断ができない」「3. 再開するつもりはない」と回答した方にかがいます。】
 問 15 事業を再開しない理由、判断ができない理由を教えてください。(〇はいくつでも)

<図表 3-4-3 事業を再開しない理由>

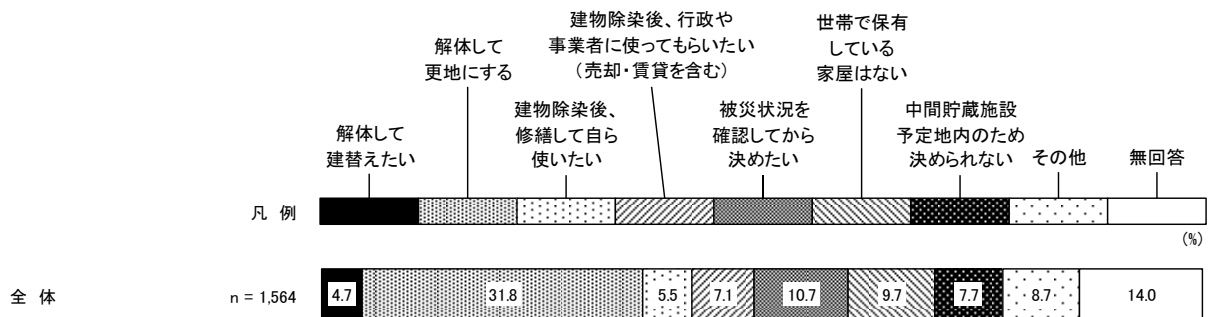


3-5 不動産の取り扱い意向

3-5-1 双葉町内に保有している家屋の利用意向

問 16 町内に保有している家屋の利用意向についてうかがいます。
 現時点でのご意向に関して、もっとも近いものはどれですか。(〇は1つ)
 ※特定復興拠点及び両竹・浜野地区の避難指示解除準備区域においては、既定の書類を揃えてお申し込みいただければ環境省が家屋の解体を順次実施します。
 解体をご希望の方は、環境省が設置している「被災家屋等の解体申請受付窓口(双葉町役場いわき事務所内)」へご相談ください。

<図表3-5-1 双葉町内に保有している家屋の利用意向>

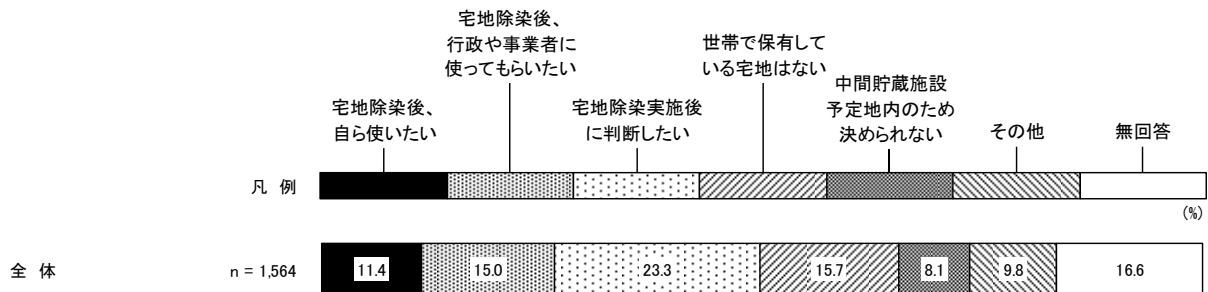


〔その他の内訳〕
 建物除染後、親戚・親族・友人に使ってほしい 0.2%
 その他 8.5%

3-5-2 双葉町内に保有している宅地の利用意向

問 17-1 町内に保有している宅地の利用意向についてうかがいます。
 現時点でのご意向に関して、もっとも近いものはどれですか。(〇は1つ)

<図表3-5-2 双葉町内に保有している宅地の利用意向>

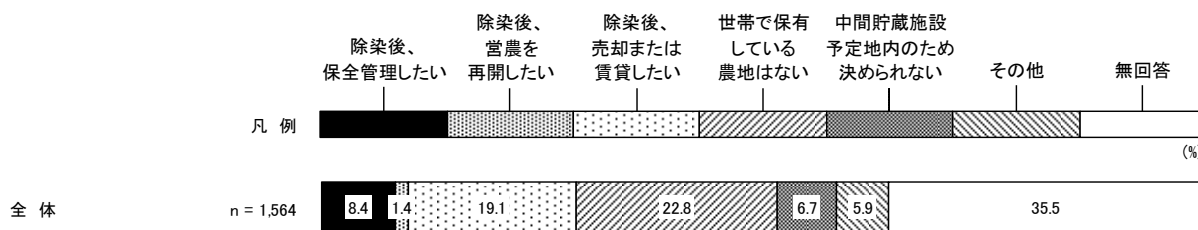


〔その他の内訳〕
 宅地除染後、親戚・親族・友人に使ってほしい 0.9%
 その他 8.9%

3-5-3 双葉町内に保有している農地の利用意向

問 17-2 町内に保有している農地（田・畑）の利用意向についてうかがいます。
現時点で、もっとも近いものはどれですか。（〇は1つ）

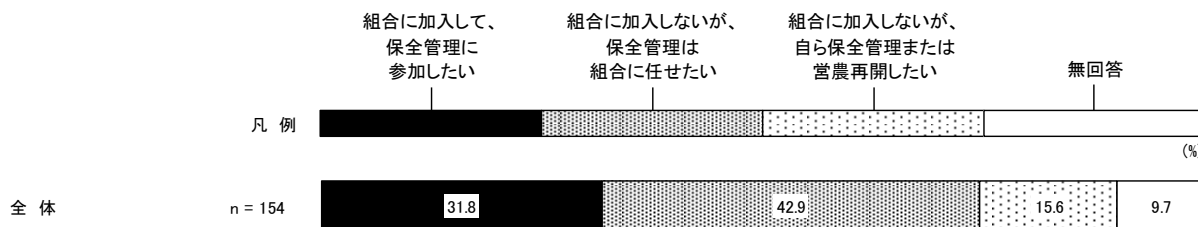
<図表3-5-3 双葉町内に保有している農地の利用意向>



3-5-4 農地の保全を目的とする組合設立への考え

【問 17-2 で「1. 除染後、保安全管理したい」「2. 除染後、営農を再開したい」と回答した方にうかがいます。】
問 17-3 町では、農地の保全を目的とする組合の設立を検討しています。
現時点でのお考えをお聞かせください。（〇は1つ）

<図表3-5-4 農地の保全を目的とする組合設立への考え>

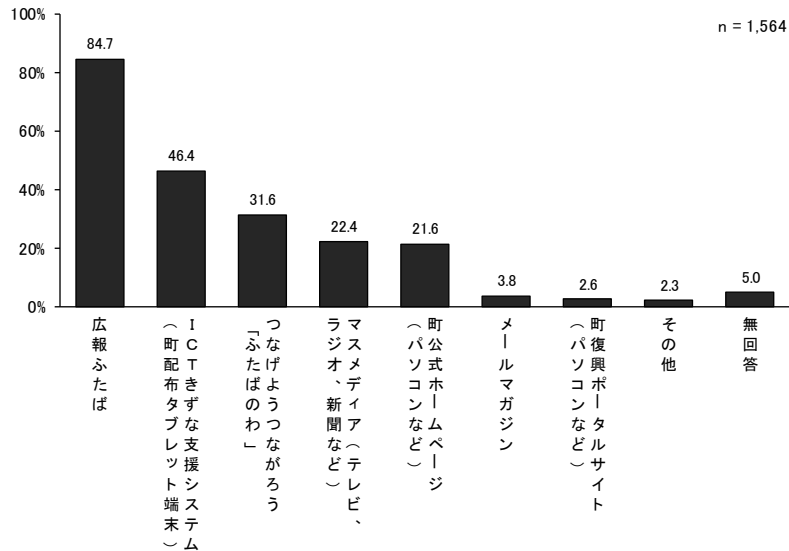


3-6 情報入手・コミュニケーション

3-6-1 双葉町からの情報の入手経路

問 18 あなたは町からの情報を主にどのような方法で入手していますか。(〇は3つまで)

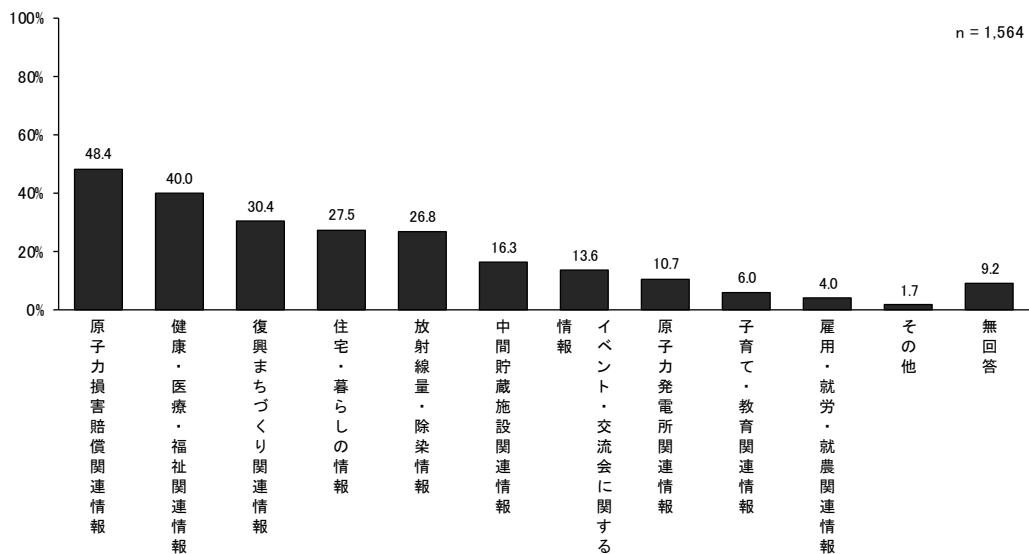
<図表3-6-1 双葉町からの情報の入手経路>



3-6-2 知りたい・関心がある情報

問 19 あなたが特に知りたい、関心がある情報は何か。(〇は3つまで)

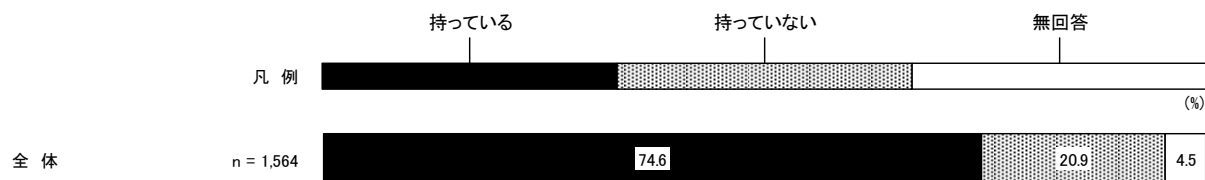
<図表3-6-2 知りたい・関心がある情報>



3-6-3 「ICTきずな支援システム」の保有

問 20-1 町が無料配布している「ICTきずな支援システム（タブレット端末）」は持っていますか。（〇は1つ）

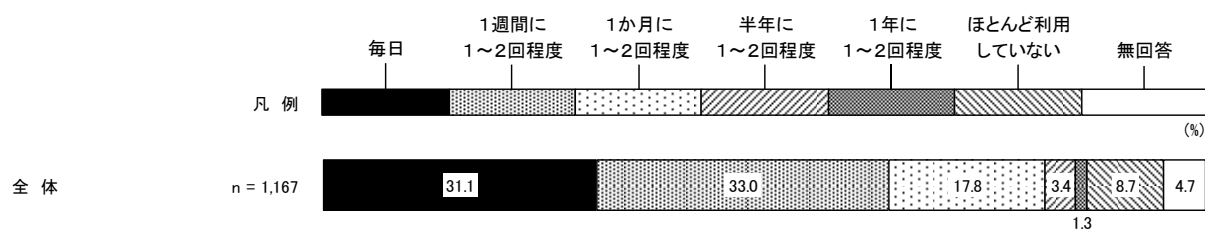
<図表3-6-3 「ICTきずな支援システム」の保有>



3-6-4 「ICTきずな支援システム」の利用頻度

【問 20-1 で「1. 持っている」と回答した方にうかがいます。】
 問 20-2 「ICTきずな支援システム（タブレット端末）」は、どれくらいの頻度で利用していますか。（〇は1つ）

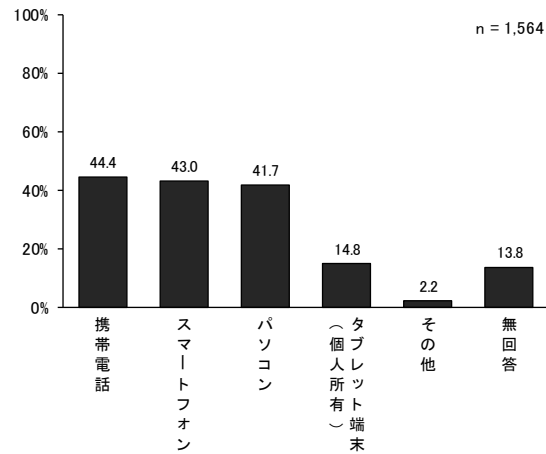
<図表3-6-4 「ICTきずな支援システム」の利用頻度>



3-6-5 「ICTきずな支援システム」以外の情報端末機器の所有

問 21 町が配布している「ICTきずな支援システム（タブレット端末）」のほかに、どのような情報端末機器をお持ちですか。（〇はいくつでも）

<図表3-6-5 「ICTきずな支援システム」以外の情報端末機器の所有>

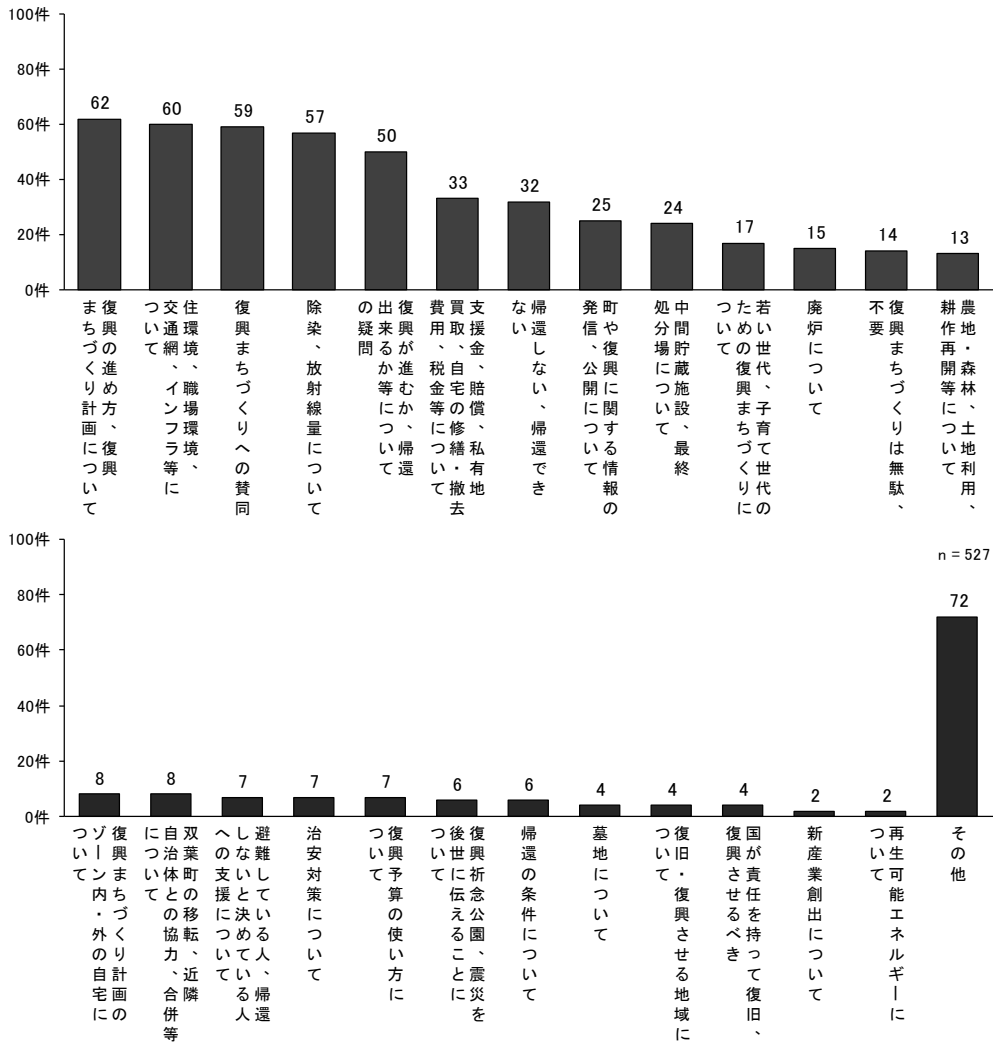


3-7 意見・要望

3-7-1 双葉町の復興を進めていくにあたっての意見・要望

問 22 今後、町が町内の復興を進めていくにあたり、あなたのご意見・ご感想など、ご自由にお書きください。

＜図表3-7-1 双葉町の復興を進めていくにあたっての意見・要望＞



III 調査結果

上位項目についての主な意見は以下のとおり。

〔復興の進め方、復興まちづくり計画について〕

- 自分は仕事の関係で双葉町に住んでいた。生まれ育った双葉町を、大切に思っている方々の気持ち・意見を大切にしてほしい。(10～20代)
- 復興事業計画の具体的な工程、構想、意見交換、各分野での技術指導。(30代)
- 町に戻らない町民を置き去りにした議論ばかりではついていけない。他の町に戻るのとは関係なく、現実に入った双葉町の残し方を考えてほしい。(40代)
- これまでの双葉町は忘れて、新生双葉町を造っていかねばならず、過去にとらわれない町づくりをしていかないと、先に続かない気がします。(40代)
- まずは必要最小限で、様子を見ながら進めてもらいたい！必要な事は必ずあると思います。(50代)
- 町民が双葉町に帰還したくなる様な、又は帰還しやすい様な環境を作っていただきたい。帰りたくても、帰れない人が出ない様な支援サポートを望みます。(50代)
- 町では復興拠点区域を今後5ケ年で整備していくこととしているが、併せて、元住民だけでなく新住民をいかに誘導していくかを考えていくべき。さらに、この5～10年の間に合併を含む、新たな行政形態のあり方を議論していくべきと考える。(50代)
- 土地や建物中心の復興ではなく、人中心の復興を進めて欲しい。戻る人も戻らない人も、双葉町のつながりを一生に渡って進めて欲しい。(60代)
- 実現可能な復興計画であって欲しい。戻りたい人達がどれだけいるのか分からないが、かなり少ないと思われる。避難している人達の生活再建状況からみて、町単独での復興はかなり難しいと思われる。従って復興計画は国民経済的にみて、広域的にやるべきかと思う。(70代以上)
- 中間貯蔵施設を目の前にして、戻る人がいるのか、住む人がいるのか、状況判断を的確に行い、公共施設の整備等を行っていただきたい。(70代以上)

〔住環境、職場環境、交通網、インフラ等について〕

- 医療・教育・お店・仕事、それから人が戻らなければ帰還は難しいです。(10～20代)
- 除染をしっかりとやることと、インフラや医療、生活支援をしっかりとしていけばいいと思います。地域の賑わいなどもですね。(10～20代)
- 病院、スーパー、学校を先に進めないで戻るに戻れないのでは。(40代)
- 神社の修復を急いでほしい。山田地区の神社などは屋根が傾いていて、今にも倒壊しそうな感じです。心の拠り所がなくなってしまう。道路網の再整備。(40代)
- 商業施設や病院、コンビニ等の整備が必要。その後、教育施設の整備も重要。(50代)
- 一日でも早く戻るように、除染、交通網の整備を早く進めてほしい。(50代)
- 60年過ごした双葉町(故郷)を忘れることはありません。戻らないと今は思っていますが、お墓、宅地・田の管理の今後のことを考えます。一日も早い復興をお願いします。解除後、一時帰宅の時、宿泊できる施設があればと思います。(60代)
- 特定復興再生拠点への役場機能及び医療機関の再開を早期に検討すべきである。除染及び家屋の解体を早期に進め、町内の環境を整理すべきである。(70代以上)
- 早く双葉駅が利用出来ることを願っております。自由に一時帰宅が出来ますとお墓参りも都合よいので。(70代以上)
- 中間貯蔵施設予定地内なのですが、町の復興に関心があるので、町内に滞在できる施設があれば良い。せんだん温泉の復活を希望します。花の街を目指して下さい(町民参加型)。(70代以上)

【復興まちづくりへの賛同】

- 双葉町の復興プランは良く出来ています。予定時期を早めて、できるだけ早く実行してほしい（前倒してやってほしい）。（40代）
- 町内の復興というと、元の町並み、欲を言うと元通りを想像します。どのように復興するのが楽しみです。誰もが安心して双葉町に行ける事を、楽しみにしていると思います。（50代）
- 町の復興計画等に期待している。町に人が帰ってくるには、何十年かかるのか分からないので不安がある。少しずつ帰還して町との交流があれば、双葉町の復興になると思っています。（50代）
- 今回、町の努力により、帰還困難区域内の一部ではあるが、除染・解体・インフラ復旧が進められ、避難指示解除の目標時期が示された。帰還への希望の光が少しではあるが、見えてきたと思う。国・県には遠慮なく町から意見・要望を出してほしい。必ず双葉町を復興させるという強い決意で取り組んでほしい。（50代）
- 将来の姿が形になってきている事は、大変良い事に思います。少し時間がかかり過ぎているように思います。震災後特に感じるのは、自分が年を重ね、年老いていく姿です。（60代）
- 復興まちづくり計画を順調に推進して行ってほしい。また、復興再生拠点区域内の家屋解体についても、情報提供してほしい。（60代）
- 今後も他の町より復興が遅れない様に、前に進めて下さい。（60代）
- 震災から7年になろうとしています。母も90才になり自分の思いどおりにならないと思いますが、私(娘)は双葉町が少しずつ復興していくのを楽しみにしています。高齢者の住みやすい場所が必要だと考えています。今まで苦労して田畑を守ってきたのですから。（70代以上）
- 町づくり計画（第二次）を早期に実現させたい。（70代以上）
- 昔のままの行政区は無いでしょうから、新しい町は、私達の子、孫の代に生まれ変わると思います。どうか平和な良い町を作ってもらいたいと考えます。（70代以上）

3-7-2 国・福島県・双葉町への意見・要望

問 23 国や福島県、双葉町への要望などをご自由にお書きください。

国や福島県、双葉町への意見・要望などについて、558 世帯から回答があった。ここでは、記入された回答を下記項目に分類し、代表的なものを抜粋して掲載する。

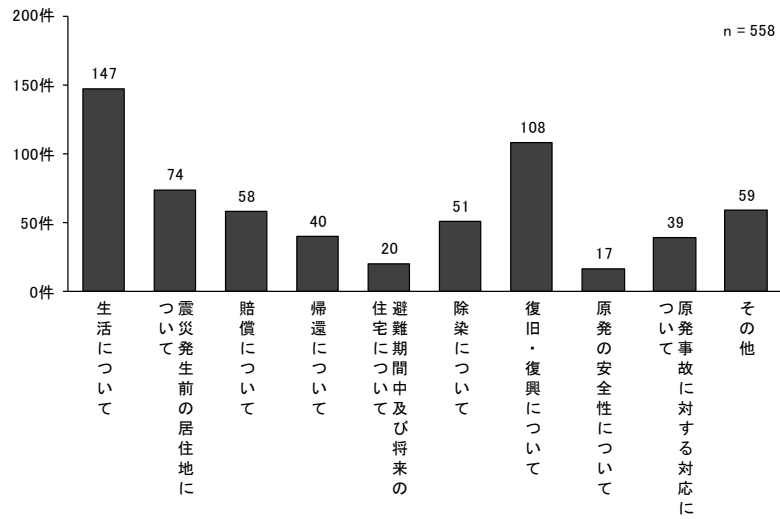
<p>●生活について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難生活の長期化への不安 ・元の生活が取り戻せるかどうかの不安 ・元の生活、安定した生活の回復 ・元の生活に戻ることにについてのあきらめ ・現在の生活について ・現在の生活の人間関係・コミュニティについて ・現在の生活の経済的な不安について ・現在の生活の健康に関する不安について ・現在の生活の仕事・学業に関する不安について ・現在の生活全般の不安について ・将来の生活に関する考えについて ・将来の生活の経済的な不安について ・将来の生活の健康に関する不安について ・将来の生活の仕事・学業に関する不安について ・将来の生活全般の不安について ・生活（再建）支援について ・その他 	<p>●除染について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・除染作業の意義について ・除染作業にかかる費用の他への活用について ・除染作業の効果などについて ・除染作業の実施箇所などについて ・除染作業の早期・迅速・的確な実施について ・除染作業スケジュールの明確化について ・除染廃棄物の処理について ・その他
<p>●震災発生前の居住地について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・帰還困難区域への立入りについて ・帰還困難区域等の設定について ・所有する住まい・土地の買取りについて ・自宅の現状（被害状況）について ・自宅の再建・改築・解体について ・元の住居や土地などの管理・処分について ・元の住居や土地に対する税について ・所有する墓地の維持・管理・移転について ・その他 	<p>●復旧・復興について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・復旧・復興の遅れ、長期化について ・復旧・復興のスケジュールについて ・復旧・復興の進め方（地域の開発、再編、その他）について ・町村合併について ・ライフライン・インフラの整備について ・社会福祉施設の整備について ・医療施設の復興・充実について ・学校の復興・充実について ・商業の復興・充実について ・住民の参加・自助努力について ・早期の原状回復・復興実現について ・その他
<p>●賠償について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・賠償内容・方法について ・賠償の取り組みの迅速化、方針やスケジュールの明確化について ・所有する住まい・土地に対する賠償全般について ・その他 	<p>●原発の安全性について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・廃炉作業の迅速な実施について ・廃炉作業全般について ・その他
<p>●帰還について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・帰還への不安 ・帰還可能時期の明確化について ・帰還したい ・帰還しない ・現時点では帰還の判断ができない ・帰還に関する施策について ・帰還を望まない人への対応について ・その他 	<p>●原発事故に対する対応について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政や東電の対応について ・対応の長期化、遅れについて ・情報の開示・発信について ・中長期的スケジュールについて ・その他
<p>●避難期間中及び将来の住宅について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・復興公営住宅の早期・迅速な建設について ・復興公営住宅の建設地・形態等について ・復興公営住宅に係る経済的負担について ・復興公営住宅への入居について ・居住場所の確保について ・借上げ住宅について ・住宅の購入について ・その他 	<p>●その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後のエネルギー政策について ・行政に対する謝意、励まし ・その他

※掲載する文章は原文を基本とするが、固有名詞が含まれている場合や長文の場合などは、一部省略している。

※一世帯の回答の内容が、複数のテーマにわたる場合は、それぞれの項目へ分類している。

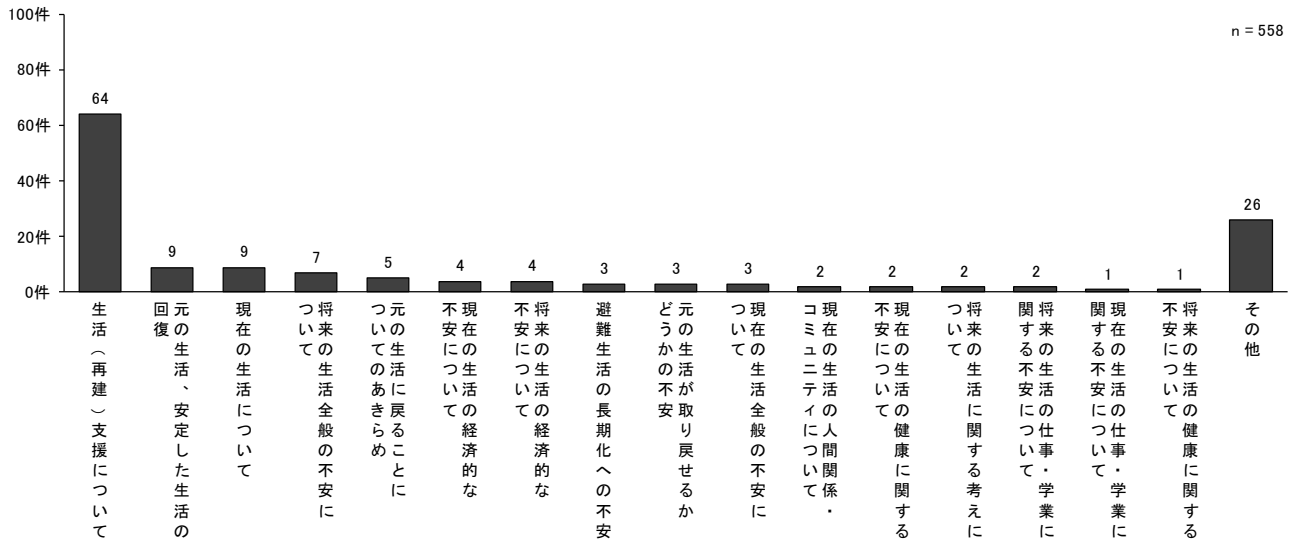
(1) 意見に係る記入内容の分類結果

<図表3-7-2-1 意見に係る記入内容の分類結果>



(2) 生活について

<図表3-7-2-2 生活についての意見>



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

[生活(再建)支援について]

- 住民票の異動後も、継続的に情報、子育て支援をしていただけると幸いです。(40代)
- 除染や復興が進んでも、双葉町が“普通に生活する場所”になるのは難しく、私たち住民は「帰りたくても帰れない」状態が続くと思う。「帰還してもよい」状況になってもなお、長期的な支援(住宅・医療・高速料金免除)をお願いしたい。(50代)
- 帰還困難区域の指定の解除後も、自由に自宅に立ち入りができるまで高速料金無料化の継続を要望します。医療費一部負担の免除も継続を要望します。10年間となっている生活サポート補助金も、30年後最終処分場へ移動すると言われている中間貯蔵施設がある限り、ずっと続けるべき最低の補償だと考えます。(60代)

[元の生活、安定した生活の回復]

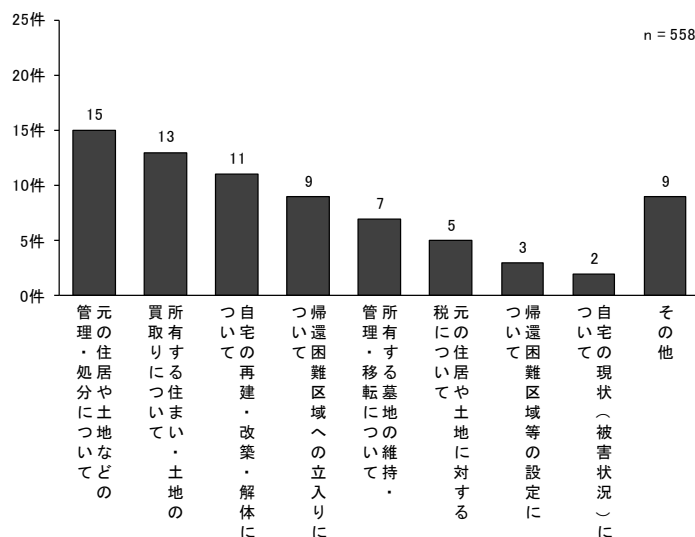
- 国はきちんと1人1人までを見てほしい。県にも。双葉町は、もう以前のようにはない(人、施設、自然)。何年、何十年もかかると思うけど、自分達が生きているうちに、以前の普通の普通の町に戻るよう願っています。(30代)
- 子どもから全ての方々が、安心して住める双葉町にしたいです。(30代)
- 老人でも、日常生活において不自由のない生活ができる様な町づくりを要望します。(70代以上)

[現在の生活について]

- お疲れ様です。町の復興関連に関われない歯がゆさもありますが、微力ですが何か貢献が出来る事があればと思いますが、中々機会がありませんが、その中で少しでもこの震災の事を、後世そして、我が子にも貴重な体験をした事や、色々な事柄が風化しないよう伝えていきます。(50代)
- 避難地では、いまだ「避難民」(時々虚しくなります)として扱われているのではと感じます。避難地の市民でもあり双葉町民でもあるような意識をもてるような方法(手だて)があるといいですね。(60代)
- 町政懇談、町の行事、婦人学級と全部出席したいのですが、電車を乗り継ぎ、バスを乗り継ぎ、行ったことのない会場に行くのは大変なことです。せめて福島県内にいたらと思うと大変残念です。当時孫が1才10ヶ月だったので、ただただ放射能から離れることに精一杯でした。この地にもだいぶ慣れてきましたが、誰一人知らない、縁もゆかりもない土地はまだ違和感があります。双葉が恋しいです。(70代以上)

(3) 震災発生前の居住地について

<図表3-7-2-3 震災発生前の居住地についての意見>



[元の住居や土地などの管理・処分について]

- 双葉町での所有している構築物、土地に対する今後の方針（税金、解体等の処置）を、早期に明確にしてほしい。双葉町には帰る事を諦めたが、その後の財産の処分についての方針を決めかねている。（60代）
- 帰還しない選択をしていますので、双葉町に残した土地・建物を行政や事業者へ売却か賃貸したい。また、復興を進めるため、中間貯蔵施設及び最終処分場に指定して活用して頂きたい。（60代）
- 双葉町に戻らないと判断した。「家屋・宅地・庭木等」の除染・解体・売却・処分については、国（事業者）の方で実施して頂きたいと思います。6年半も過ぎて無人化の家屋は野生動物が侵入し、入口の戸の破壊、家具等の転倒・散乱、尿糞の飛散・染み込みなど、とても住める状況ではありません。一時帰宅で電気はなし、水道もだめの中、片付けはしてもその後また動物の侵入で乱れる状況です。家屋の「り災」とは別に考えて頂きたいと思います（地震による）。（70代以上）

[所有する住まい・土地の買取りについて]

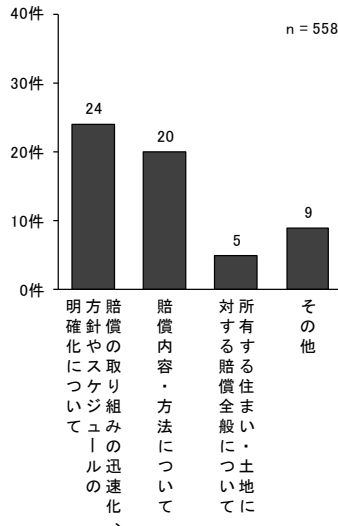
- 土地、建物の買取りをしてください。中間貯蔵施設に住まいがあった人との格差が大きい。（50代）
- 土地や家など公的機関で買取ってほしい。線量が高く、家の中の片付けができないでいる。除染後に片付けをしたいと考えている。除染後でも解体を希望する者には、公的機関で解体してほしい。（60代）
- 宅地、建物（保有している）について、帰還の予定がなく所有している意味もない物件について、町づくりに支障があるので、国や町に買取ってほしい。個人が持っていても長期的（年齢的）には利用もしないし、価値もないものである。（70代以上）

[自宅の再建・改築・解体について]

- 現在、双葉の家は猪が入りこみ、中が荒らされてしまい、片付けの意欲もそがれてしまっています。町民によって、それぞれ被災状況は違うと思いますが、家屋の解体や修繕に関して、その場合に応じた流れ、手続き等をわかりやすく手引きしていただければと思います。（50代）
- 特定復興拠点以外の住宅も、希望すれば解体出来るようにしてほしい。（60代）
- 被災家屋の解体を申請した方の家屋は、国が責任をもって解体を実施してほしい。調査結果（一部損壊、半壊、全壊）に係わらず。（70代以上）

(4) 賠償について

<図表3-7-2-4 賠償についての意見>



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

【賠償の取り組みの迅速化、方針やスケジュールの明確化について】

- 原発の精神的苦痛や慰謝料をしっかり払うこと。特に国と東電は。何年もお金が支払われていないので、町と県はそこをはっきりと言うことです。住民はみんな困っているので、そこを強く要望したいです。県と町は、これからも支援の継続をお願いします。(10~20代)
- 賠償の話はめっきり何もありません。7年も経ち、私達は忘れ去られていくのでしょうか。悪いのは誰のですか。もっと避難の人の事を考えてほしいです。そして早くには家には住めないで、きちんと考えてください。(60代)
- 今後の賠償がどうなっていくのか(戻れない状態が、今後も数年続くと思われる中で)。平成30年3月で一つの区切りとなっているが、まだ避難生活が続く中で、精神的負担、経済的負担があり、賠償が必要である(家族がバラバラの状況である)。(60代)

【賠償内容・方法について】

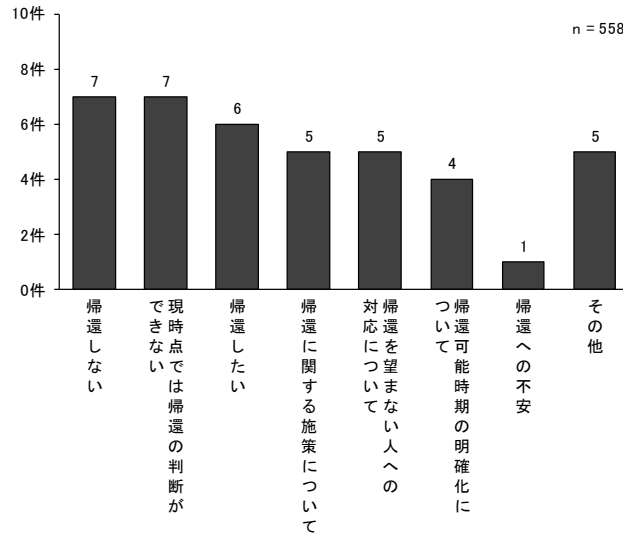
- 避難指示が解除するまで、賠償(精神的苦痛等)をしてほしい。(50代)
- 収入があったものについて、東電は次から次へと賠償を打ち切っている。国、県、町は、もっと東電に対して賠償を継続させるよう要望すべき。(60代)
- 町全体が避難を解除するまで、医療費と高速道路の無料化を。長期による生活の不安、町民コミュニティの不安による苦痛から、損害賠償を上げるべきである。中間貯蔵施設指定地区外の町民の不安による賠償を考えてほしい。(70代以上)

[所有する住まい・土地に対する賠償全般について]

- 戻らない場合の、国、県と町の支援をはっきりと判断してもらいたい。アンケートの中にもあるが、土地、建物を個人に有利に進めていくことを希望する。具体的に連絡してもらいたい。(50代)
- 帰還できるまで借り上げ住宅の継続。帰還できるまでの精神的な賠償を東電へ要求。帰還できるまでの会社の営業損害の賠償を東電に要求。(60代)
- 中間貯蔵施設は協力したいと考えているが、パークヒルズを作る時に町が中に入り、田は1反300万円、畑は1反200万円、山は1反90万円+立木で110万~120万円でした。その価格で協力し、代替地として買ったものが、環境省の提示した価格では納得出来ない。町でいくらか助成はするというが、前の価格とは差があると思う。双葉から遠くに避難しているので、福島での葬儀等に行くのに高速道路の無料は助かっています。続けて頂きたいです。(70代以上)

(5) 帰還について

<図表3-7-2-5 帰還についての意見>



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

【帰還しない】

- 国や県で決定してしまったことに、今さら何もいうことがないです。現実的に、町民が帰って元の生活をするには時が経ち過ぎました。そして、子供達や若人を生活させる勇気はないです。(50代)
- 終の住み家となる場所に移住し、新たな人生を歩み始めました。今後、双葉に戻る考えは全くありません。双葉の家、土地をどうするかが問題です。できれば行政や事業者に使ってもらいたい。売却も考えている。ここに辿り着くまで、心身共に疲れしました。穏やかな生活がしたい。もうこれ以上苦しんだり、嫌な思い、悲しい思いはしたくない。(60代)
- 私は双葉へは戻る考えはありません。自分の持ち物を売却したいと望んでいます。(70代以上)

【現時点では帰還の判断ができない】

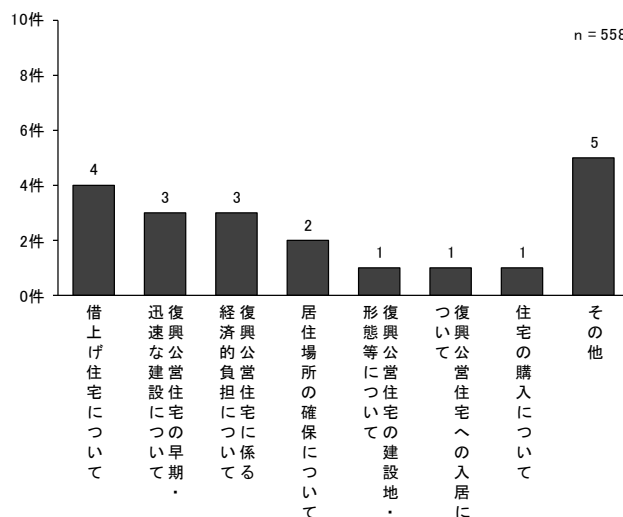
- ふるさとに愛着はあるが、避難指示が解除になっても、その後双葉町で日常生活が継続できる環境になるのかどうか分からず、年齢や健康面を考えると帰還は諦めざるを得ない。(60代)
- 5年後を目処に住民が再び住める計画とのことですが、今の私は将来の町のイメージが出来ません。また帰りたい方は、ご高齢(90才)でありながら生きるための目標であると楽しみにしているようです。どうかスピード感のある、復興ライフラインを目指して進めてほしいものです。(60代)
- 町が動き出した時に、税金はどうなるのでしょうか？特に固定資産税の動向は何も示されておりません。税を納めるのは当然ではありますが、まさに特殊事情であり、何かを示してもらいたいものです。問9にもありましたが、戻りたくても戻れない、これが本心です。(70代以上)

【帰還したい】

- 父は自分が生まれた双葉町に帰ること、帰れる事を望んでいます。町内の復興って、何年位まで待てばいいのですか。(70代以上)
- ふるさととの双葉町へ帰れるのか。仮住まいで終わってしまうことが不安です。(70代以上)
- 双葉に戻って元の生活を送りたいだけ。(70代以上)

(6) 避難期間中及び将来の住宅について

<図表3-7-2-6 避難期間中及び将来の住宅についての意見>



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

【借上げ住宅について】

- 避難してから継続で住んでいる団地は、借り上げ住宅の供与期間が延長になるが、東電に家賃請求している人は、平成30年3月までになる。東電に確認しても、4月以降に関しては賠償できるか分からないとの回答だった。同じ町民で供与期間に差が生じては、問題になるのではないか。(40代)
- 借り上げ住宅や仮設住宅など、今後とも、国に避難している間は無償で借りられる事が出来れば幸いと感じます。何とも7年も同じ所にいますと、居心地が良くなり友達も増えました。他の所へは行くつもりはありません。引っ越しは本当に大変です。友達にそのあたりの話は聞きました。(60代)
- 借り上げアパートに住んでいますが、私としては借り上げを5～6年は継続してもらいたいと思います。(70代以上)

【復興公営住宅の早期・迅速な建設について】

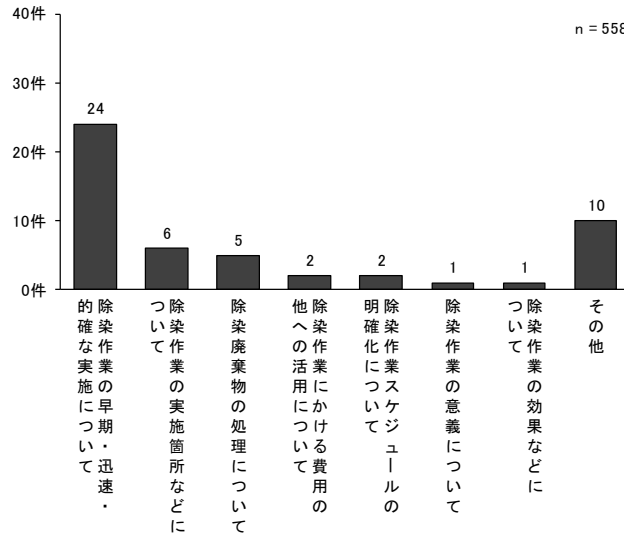
- 町内の復興より先に、現在の住居の方を進めてほしい。復興公営住宅の抽選会の当選のお知らせは、28年7月15日付で届いておりますが、既に1年4ヶ月過ぎております。(60代)
- 復興大臣が福島県出身です。もっともっと国に働きかけをして、復興のための要望を出して欲しい。震災から7年にもなるのに、復興公営住宅が一向に進んでいないのは納得できない。(70代以上)
- 国や県の復興住宅の完成が遅い事は、何が問題になっているのでしょうか。仮設で家を購入できない方々が首を長くして待っている。そこに入れば何か希望ができる？皆顔見知りなので寂しくない等々、待っています。きっと双葉町にいた頃の生活があると信じて。国からの予算は多額なのに目に見えない？どこに使っているのか。復興より、今の町民の生活環境を作る事を最優先にしてほしい！(70代以上)

【復興公営住宅に係る経済的負担について】

- 復興住宅(県)の入居費用について、まだ理解出来ない。避難解除されるまでは無料とすべきではないか。(30代)
- 復興公営住宅に住みたいと思いますが、賃料が高すぎるのもう少し安くしてほしい。(50代)
- 双葉町では不動産もなく、家賃の安い町営住宅で生活していましたが、復興住宅も補償がなくなり、家賃が段階的に値上げされた時は、年金のみの生活は不安になります。今回の補償では不動産のある人、無い人の格差が大きく開いて辛いところもあります。(70代以上)

(7) 除染について

<図表3-7-2-7 除染についての意見>



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

【除染作業の早期・迅速・的確な実施について】

- 宅地・土壌の除染で線量が下がったからといって、帰還解除をしてほしくない。安易な考えで町の除染をしてほしくない。他の町とは放射性物質の量が違うので、全てを更地にして一から町づくりを考えてほしい。その費用は、国・県が出すべき。(40代)
- 除染をもっとスピーディーに実施してもらいたい。双葉町は他の町村に比べて遅れていると思う。(50代)
- 特定復興再生拠点を除染して復興が進められ、平成34年春を目標に避難指示解除し居住を開始したいとのことですが、楡葉町の放射線量と比べ双葉町の線量ははるかに上回っています(福島民友29年10月1日)。楡葉町並みに線量を下げて、一人でも多く町民が戻れるようにと願っています。特に、特定復興再生拠点の周りが帰還困難区域です。除染は中・長期的な取組としていることから、町民の帰還は難しく、容易でないと思います。まずは、双葉町全域の除染を並行して実施していかなければならないと思います。除染が長引くにつれ、町民は帰還を諦め離れて行くのではないのでしょうか。全域除染は急がなければならないと思います。除染には多額の費用がかかると思いますが、双葉町を放射線で汚した相手に責任を自覚して頂き、何回でも確り除染をして頂きたいと思うところです。町当局にあっては、早急な全域除染を関係当局に強く要望して頂きたいと思います。町民の帰還減少は双葉町の存続の問題でもあると思います。(70代以上)

【除染作業の実施箇所などについて】

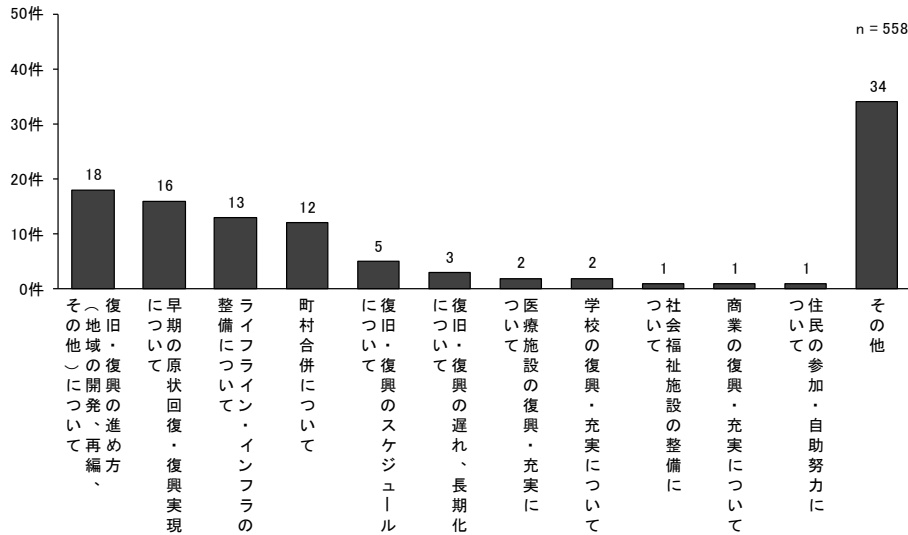
- いくら除染をしても周りが山に囲まれているので、山の方までやらないと難しいと思う。また、田畑が森林のようになっており、対策が必要だと思う。(50代)
- 特に山田地区は放射線が高いので、一時帰宅も年3回程度になっています。毎回お願いしていますが、人が立ち入る場所の数値を公表していただきたい。(70代以上)
- 帰宅困難区域の除染は可能になるのでしょうか。危険だとますます不安を感じるのではないのでしょうか。国の指針はいつもどのように考えているのか判断出来ません。(70代以上)

〔除染廃棄物の処理について〕

- 高レベル放射性廃棄物の最終処分地の選定に国も苦慮しているようですが、双葉・大熊両町にある原発の廃炉処理もその完了時期が見通せない今、国の管理のもとにこの原発を含んだエリアを定め、最終処分地としたら良いのではないかと思います。全町民が避難し、解除後も多くの帰還者が望めないことを考えると、好機であり適地と思う。更に全国原発及び再処理で発生した廃棄物の埋設が可能となる。(70代以上)
- 中間貯蔵施設の最終処理をする場所を、今我々が生きている間に選定をしておかないと。誰が最終責任を取るのか。町長さん、県知事さん、総理大臣。何回選挙あるかわからないが、30年～40年保管するのに、選挙に負ければその話は終わりです。現職の町長、知事さん方は頑張って、国に早急に選定をお願いして下さい。(70代以上)
- 土に含まれた放射能を取り除く方法はあると思われるので、土の放射能を取り除けば、その土はどこにでも建設資材として使用することができると思います。土の除染をしてどこにでも使える様になれば、中間貯蔵施設はいらないと思います。お金はかかる事と思いますが、是非ともやっていただきたいをお願い致します。先ずは、安心して安全な地にしてもらうことが第一で、元の住家に戻れることを願っております。年月はかかるかと思いますが、国や福島県、双葉町が全力で行って下さい。戻れるまでの生活支援もよろしくお願い致します。戻れるまで安心して暮らせるようお願い致します。(70代以上)

(8) 復旧・復興について

<図表3-7-2-8 復旧・復興についての意見>



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

【復旧・復興の進め方(地域の開発、再編、その他)について】

- 最終処分場や森林の除染等が決まらない限り、双葉町の復興は始まらないと思う。交通網や一部分だけの拠点を構えても意味がないと思う。(50代)
- 国、県がリーダーシップを取り、双葉町の復興のみならず、双葉地方全体が連携した、広域行政の展開に向けた施策の実践に向け、あらゆる面で助言、指導すべきと考える。各町の復興、再生に向けては、地域の実情が大きく違い、復興スピードには大きな差異が生じている。このような中継ぎ世代が困る事のないよう(負の資産継承)、早期な段階での指標説明等、あらゆる判断に対応し得るような材料(指標)を出してほしい(親→子→孫)。(60代)
- 東日本大震災の様な事象の場合には、住民の意向が絶対といったような通常の対処の仕方ではまとまらないと思う。国主導でやるべきで、県、町はその補完の役割に徹すべきかと思う。(70代以上)

【早期の原状回復・復興実現について】

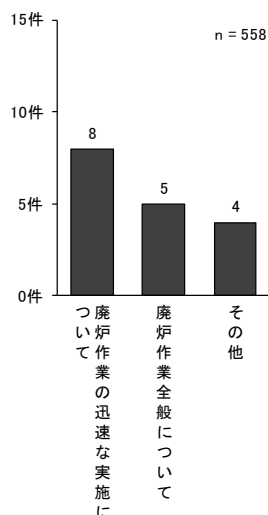
- 早く住み良い双葉町にして下さい。学校、病院、大型スーパーマーケット、役場が早く双葉町に戻って下さい。(60代)
- 早期復興を進めるには、国、県が本腰を入れて遅れを取り戻さないと帰還する人がいなくなる。(70代以上)
- 今後の事業その他の計画の全てを、2年以内位の実行、終了を願う。(70代以上)

【ライフライン・インフラの整備について】

- 双葉町は福島県の浜通りの南北をつなぐ場所のため、安全で安心して北⇄南へ行き来が出来る交通機関・道路の復旧をお願いしたい。(30代)
- 国道6号や高速道路の拡張、整備に力を入れて欲しい。(50代)
- 震災等被害の片付けを早くしたいので、電気・ガス・水道を利用できるようにしてほしい。また、一日も早く区域制限の解除をしてほしい。(60代)

(9) 原発の安全性について

<図表3-7-2-9 原発の安全性についての意見>



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

[廃炉作業の迅速な実施について]

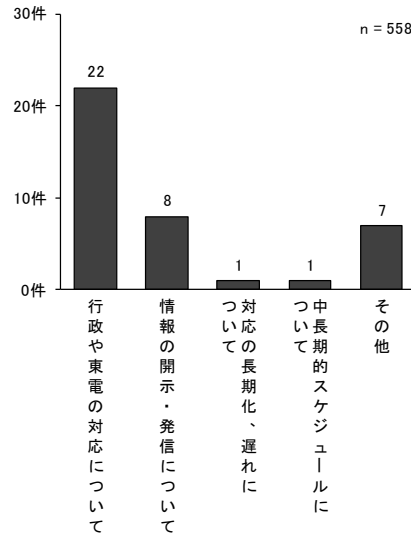
- 原発の安全かつ完全で迅速な廃炉の実施が何よりも大切です。国が総力をあげて、世界に冠たる先進国日本として世界に誇れる廃炉と復興を成し遂げたいものです。(50代)
- 今般の事故の原因者である原子力発電所及び事業者、そしてそれを推進して来た国の責任の所在を明確に示して欲しい。その意味からいえば、原発再稼動という選択肢はあり得ない。福島県、双葉町は、ここを先途として主張すべきだ。(60代)
- 原子力発電所をきれいに片づけ、汚染物もどこか大きな島に移動していただき、双葉町を40年前に戻して下さい。平面だけではダメです。全国民に伝えて、国会で良い方向になるように進めていただきたいと思っています。(70代以上)

[廃炉作業全般について]

- いわゆる「中間貯蔵施設」について、もっと現実的な議論をしていただきたいと思います。現実問題として、原発事故が発生した双葉町、大熊町以外のどこの自治体が、放射性物質の最終処分場を引き受けてくれるのでしょうか。現実には他地域が受けることはありえないと思います。この現実を目をつぶって進められているのが「中間貯蔵施設」計画ですが、その実態は最終処分場になる可能性が高いものです。「双葉町は、最終処分場とその関連施設を受け入れる。また双葉町は、町民が移住して、安心して暮らせるようサポートする」という考えに、なぜならないのでしょうか。元の町の市街地再生を目指すというのは非現実的すぎます。大量の税金を投入して、再生が結局できなかった場合の責任の所在は、明確にしてください。(50代)
- 国、東京電力は、廃炉状況を詳しく発信してもらいたい(ICTきずな支援システムにお願いしたい)。(60代)
- 安全性を第一に廃炉作業を進めてほしい。(60代)

(10) 原発事故に対する対応について

<図表3-7-2-10 原発事故に対する対応についての意見>



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

【行政や東電の対応について】

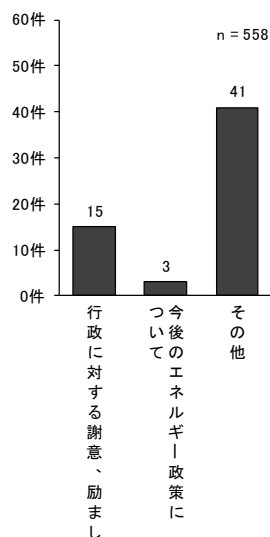
- ・復興庁が双葉町の帰還前に終了するのはいかなものか。双葉町が復興を果たすまで、別な形式でもいいから残すべきだと思う。(40代)
- ・「福島（双葉町を含む）の復興なくして日本の再生なし」の言葉はどこへ。オリンピック、パラリンピックも悪くはないが、騒ぐほど置き去り感が増してくる。この事故を、あの時を忘れてはいまいか。国政に携わる者は再考を。(60代)
- ・東京に住んでいて、福島県浜通り地区への都民の関心がどんどん少なくなっている危機感がある。本来はオリンピックどころでないはず。マスコミにも責任がある。もちろん政府にも。(70代以上)

【情報の開示・発信について】

- ・もっと双葉町の情報を教えてほしい。(30代)
- ・情報公開の徹底。記録の保存（長期間後の検証が可能ないように)。(50代)
- ・戻るための準備として、町の復興状況を分かりやすく、早めの情報があれば幸いです。大変難しい要望かな？(70代以上)

(11) その他

<図表3-7-2-11 その他の意見>



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

【行政に対する謝意、励まし】

- いつもお世話になり、家族共々心より感謝しています。今後も何かとお世話になるとは思いますが、どうぞよろしく願いいたします。(40代)
- 皆様の御苦勞に感謝しています。ありがとうございます。国の対応が、もう少し私達に寄り添ったものになってくれれば、より一層心安らげるようになるのではないかと考えています。都会の生活や考え方は、地方とはかなりかけ離れた部分があって、まるで理解していないのではないかと感じる事があります。かなり時間が経ったのに、この想いは強くなるばかりです。私達が信用できる国であってほしいと思います。(60代)
- 早い解決を願ってやみません。双葉町役場の方々には、お世話になりありがたいと思っております。生きている間の復興を願っております。(70代以上)

【今後のエネルギー政策について】

- 原子力に頼らない、再生エネルギーの中心拠点として、町や県が世界に知られるようになってほしいです。(50代)
- 第二原発の再稼働。(60代)

IV 參考資料

4-1 使用調査票 平成 29 年度

双葉町住民意向調査

記入上の注意

● 調査をお願いする方

- ・震災発生時、双葉町に住民登録をしていた世帯（避難後の転出者を含む）が対象です。
- ・ご回答は、**世帯の代表者の方**にお願いします。
現在、世帯が何箇所かに分かれて避難されている方には、それぞれの場所に調査票を送付しておりますので、本調査票の送付されたお住まいの代表者の方にご回答をお願いします。

● ご回答方法

- ・ご回答は、あてはまる番号を選び、その番号に○をつけてください。
- ・「その他」に○をされた場合は、（ ）内に具体的な内容もご記入ください。
- ・の中に具体的な内容の記入をお願いしている間には、具体的な内容（地名、数など）をご記入ください。
- ・調査票は記名式でお願いしております。よろしければ、最初に「氏名」、「連絡先」、「住所」のご記入をお願いします。

● 個人情報について

- ・調査票に記載いただいた個人情報は、双葉町、福島県および復興庁において適切に管理するとともに、各種施策の検討目的以外には使用いたしません。
- ・回答はすべて統計的な処理を行い、個人の特定につながるような内容が公表されることはありません。

● ご提出方法

ご記入済みの調査票は、**11月15日（水）まで**に、同封の返信用封筒に入れ、郵便ポストにご投かんください（切手は不要です）。

【問い合わせ先】

復興庁
「住民意向調査」
問い合わせセンター

調査の趣旨、記入方法について

フリーダイヤル 0120-901-848

[設置期間：10月31日（火）～11月15日（水）10時～17時]

土・日・祝を除く

福島県

〒960-8670 福島県福島市杉妻町2番16号

避難地域復興局 生活拠点課

電話 024-521-8617

双葉町

〒974-8212 福島県いわき市東田町二丁目19番地の4

双葉町役場いわき事務所 復興推進課

電話 0246-84-5203（直通）

最初に、あなたご自身のことについて教えてください。

本調査は、町民の皆さまの今後の生活設計などについての考えを把握し、ご意見やご要望などをお伺いすることを目的に実施する調査となっております。

現在、双葉町外拠点の中心と位置付ける、いわき市勿来酒井地区の復興公営住宅について、来年3月には入居できるよう整備が進められており、仮設住宅などからお移りいただくことにより生活環境が改善されるものと期待しております。

また、町では昨年12月に双葉町の復興まちづくりに関する総合計画として「双葉町復興まちづくり計画（第二次）」を策定しました。さらに、これを踏まえて本年8月には「特定復興再生拠点区域復興再生計画」を策定し、町内の避難指示解除に向けた具体的な目標年次を定めたところです。

本調査で皆さまからいただいた貴重なご意見やご要望は、今後の施策を進めるための基礎資料として活用させていただいております。多くの町民の皆さまの声を反映した「町民一人一人の復興」「町の復興」が進められるよう、本調査へのご協力をお願いいたします。

また、本調査を踏まえ、双葉町から町民の皆さまに有益な情報を提供する場合やあらためてご確認のために連絡させていただく場合などがありますので、氏名、ご連絡先、住所のご記入をお願いします。

F1 あなたの氏名を教えてください。

F2 あなたの連絡先(電話番号)

F3 現在と震災前のあなたの住所を教えてください。
(番地、アパート名・部屋番号までご記入ください)

現在の住所	
震災前の住所	双葉町大字 字

はじめに、ご記入いただくあなたご自身のことについて教えてください。

【すべての方にうかがいます。】

問 1 あなたの性別と年齢を教えてください。

(1) 性別 (○は1つ)

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

(2) 年齢 (○は1つ)

- | | |
|-----------|------------|
| 1. ~19歳 | 8. 50~54歳 |
| 2. 20~24歳 | 9. 55~59歳 |
| 3. 25~29歳 | 10. 60~64歳 |
| 4. 30~34歳 | 11. 65~69歳 |
| 5. 35~39歳 | 12. 70~74歳 |
| 6. 40~44歳 | 13. 75~79歳 |
| 7. 45~49歳 | 14. 80歳以上 |

【すべての方にうかがいます。】

問 2 現在のあなたの職業を教えてください。

仕事に就いている方は、業種も教えてください。なお、2つ以上の職業を持っている場合は、主な収入源になっている職業を教えてください。

(1) 職業(就業形態) (○は1つ)

- | | |
|---------------------------|------------------------------|
| 1. 自営業・会社経営者(継続中もしくは再開済) | 7. パート・アルバイト |
| 2. 自営業・会社経営者(休業中) | 8. 学生 ⇒ <u>問3へ</u> |
| 3. 会社員(勤め人)(事務や内勤を主とする業務) | 9. 無職(職を探していない) ⇒ <u>問3へ</u> |
| 4. 会社員(勤め人)(労務や外勤を主とする業務) | 10. 無職(職を探している) ⇒ <u>問3へ</u> |
| 5. 団体職員 | 11. その他 [具体的に:] |
| 6. 公務員 | |

【仕事に就いている方(問2(1)で「1」から「7」、「11」と回答した方)にうかがいます。】

(2) 業種 (○は1つ)

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 農・林・漁・畜産業 | 7. 金融・保険業 |
| 2. 建設業 | 8. 医療・福祉 |
| 3. 製造業 | 9. 教育 |
| 4. 電気・ガス・水道業 | 10. 公務 |
| 5. 運輸業 | 11. その他 [具体的に:] |
| 6. 卸・小売り・飲食、サービス業 | |

東日本大震災発生時及び震災前の、あなたの状況について教えてください。

【すべての方にうかがいます。】

問 3 震災発生当時にお住まいだった行政区を教えてください。(○は1つ)

- | | | |
|-------|---------|------------------------------|
| 1. 新山 | 8. 長塚一 | 15. 中田 |
| 2. 下条 | 9. 長塚二 | 16. 両竹 |
| 3. 郡山 | 10. 下長塚 | 17. 浜野 |
| 4. 細谷 | 11. 羽鳥 | 18. その他 |
| 5. 三字 | 12. 寺松 | 〔 わからない場合は、住所を
記載してください 〕 |
| 6. 山田 | 13. 渋川 | |
| 7. 石熊 | 14. 鴻草 | |

【すべての方にうかがいます。】

問 4 震災発生当時にお住まいだった住宅は、どのような形態でしたか。(○は1つ)

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1. 持ち家(一戸建) | 7. 家族のどなたかのお住まい・実家 |
| 2. 持ち家(集合住宅) | 8. 親戚・知人宅 |
| 3. 民間賃貸住宅(一戸建) | 9. その他〔 具体的に: 〕 |
| 4. 民間賃貸住宅(集合住宅) | |
| 5. 公営住宅 | |
| 6. 給与住宅(社宅、公務員宿舎など) | |

避難状況について教えてください。

【すべての方にかがいます。】

問5 あなたが現在避難されている自治体を教えてください。(○は1つ)

【 浜 通 り 】

1. いわき市
2. 相馬市
3. 南相馬市
4. 広野町
5. 檜葉町
6. 川内村
7. 新地町

【 中 通 り 】

8. 福島市
9. 郡山市
10. 白河市
11. 須賀川市
12. 二本松市
13. 田村市
14. 伊達市
15. 本宮市
16. 桑折町
17. 川俣町
18. 大玉村
19. 西郷村
20. 三春町

【 会 津 】

21. 会津若松市
22. 喜多方市
23. 会津美里町

【 そ の 他 】

24. 1～23 以外の市町村
→具体的にご記入ください

(市・町・村)

【 福島県外 】

25. 福島県外

→具体的にご記入ください

(都・道・府・県)

(市・町・村・区)

【すべての方にかがいます。】

問6 震災発生当時と現在の世帯構成についてうかがいます。

(1) 「震災発生当時」に、あなたを含めて一緒に住んでいた方の人数を教えてください。

あなた自身を含めて、「当時の」年齢・学齢にあてはまる人数でご回答ください。(人数で回答)

ア) 未就学児(小学校入学前)	人	エ) 15歳以上18歳未満 (中学生を除く)	人
イ) 小学生	人	オ) 18歳以上65歳未満	人
ウ) 中学生	人	カ) 65歳以上の方	人

IV 参考資料

(2) 「現在」、あなたを含めて一緒に住んでいる方の人数を教えてください。

あなた自身を含めて、「現在の」年齢・学齢にあてはまる人数でご回答ください。(人数で回答)

ア)未就学児(小学校入学前)	人	エ)15歳以上18歳未満 (中学生を除く)	人
イ)小学生	人	オ)18歳以上65歳未満	人
ウ)中学生	人	カ)65歳以上の方	人

【すべての方にうかがいます。】

問 7 現在お住まいになっている住宅はどのような住居形態ですか。(○は1つ)

1. 応急仮設住宅(プレハブ型。無償)	6. 家族のどなたかのお住まい・実家
2. 応急仮設住宅(民間住宅・公営住宅などの借り上げ型。無償)	7. 親戚・知人宅
3. 公営住宅(2.は除く。有償)	8. 持ち家(ご本人またはご家族所有)
4. 民間賃貸住宅(有償)	9. その他 [具体的に:]
5. 給与住宅(社宅など)	

※復興公営住宅へ入居している方については、「3.公営住宅(2は除く。有償)」を選択してください。

【すべての方にうかがいます。】

問 8 避難期間中の住宅や、生活において困っていること、改善を求めること等があれば、お書きください(医療、教育、介護・福祉、就労、コミュニティなど)。

将来に関するご意向についてお聞かせください。

町では、本年8月に策定した「特定復興再生拠点区域復興再生計画」において、平成31年度末頃までに両竹・浜野地区の避難指示解除準備区域とJR双葉駅周辺の一部区域、平成34年春頃までに特定復興再生拠点区域（以下「特定復興拠点」）全域について、避難指示解除による居住開始を目指す具体的な目標年次を定めました。

問9から問12-4は、すでに「広報ふたば10月号」に同封しました「双葉町・特定復興再生拠点区域復興再生計画の概要」をご覧くださいからお答えください。

「広報ふたば」が届いていない方は、以下のURL又は右のQRコードから「双葉町復興ポータルサイト」にアクセスして、ご覧ください。

<http://www.futaba-fukkou.jp/archives/1373>



【すべての方にうかがいます。】

問9 今後、避難指示が解除された後の双葉町への帰還について、現時点でどのようにお考えですか。(○は1つ)

1. 戻りたいと考えている(将来的な希望も含む) ⇒ [問10-1-1へ](#)
2. まだ判断がつかない ⇒ [問10-2\(7ページ\)へ](#)
3. 戻らないと決めている ⇒ [問11-1\(9ページ\)へ](#)

問10-1-1からは、問9で「1. 戻りたいと考えている(将来的な希望も含む)」と回答した方にうかがいます。

【問9で「1. 戻りたいと考えている(将来的な希望も含む)」と回答した方にうかがいます。】

問10-1-1 避難指示が解除されてから、何年以内に戻りたいと考えていますか。(○は1つ)

1. 1年以内
2. 3年以内
3. しばらく様子を見たい
4. 特定復興拠点の区域外にある自宅に帰れるまで待ちたい
5. その他 { 具体的に: }

【問9で「1. 戻りたいと考えている(将来的な希望も含む)」と回答した方にうかがいます。】

問10-1-2 戻る場合に家族の全員か一部かについて教えてください。(○は1つ)

1. 家族全員での帰還を考えている ⇒ [問10-2\(7ページ\)へ](#)
2. 家族一部での帰還を考えている ⇒ [問10-1-3へ](#)
3. 現在検討しているところ ⇒ [問10-2\(7ページ\)へ](#)
4. まだわからない ⇒ [問10-2\(7ページ\)へ](#)

【問10-1-2で「2. 家族一部での帰還を考えている」と回答した方にうかがいます。】

問10-1-3 帰還した場合にはどのような家族構成になると考えていますか。あなた自身を含めて、「現在の」年齢・学齢にあてはまる人数でご回答ください。(人数で回答)

ア) 18歳未満	人	ウ) 65歳以上の方	人
イ) 18歳以上65歳未満	人		

問 10-2 からは、問 9 で「1. 戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」
「2. まだ判断がつかない」と回答した方にうかがいます。

【問 9 で「1. 戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」「2. まだ判断がつかない」と回答した方にうかがいます。】

問 10-2 帰還する場合、または双葉町へ戻ることを判断するためにどのような支援や情報が必要と考えますか。重視したいものから順に選択肢番号欄に 3 つまで選び、具体的な内容欄に支援や情報内容をご記入ください。

- | | |
|---|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 除染対策(被ばく低減対策) 2. 住宅の修繕や建て替え、住宅確保への支援 3. 商業施設の再開や新設 4. 医療・介護福祉施設の再開や新設 5. 学校や教育施設の再開や新設 6. 公共交通機関の再開 7. 雇用確保・就業支援 8. 携帯電話やインターネットなど通信環境の改善 9. 地域のきずな維持やコミュニティへの支援 | <ol style="list-style-type: none"> 10. 原子力発電所の廃炉に関することへの情報提供 11. 放射線の人体への影響に関する情報 12. 中間貯蔵施設に関することへの情報提供 13. 避難指示解除となる時期の目安に関する情報 14. 賠償額の確定 15. どの程度の住民が戻るかの状況 16. 日常の住民サービスの情報など 17. その他 18. 特にない |
|---|--|

優先順位	選択肢番号	具 体 的 な 内 容
(例) 1 番目	(例) 4	(例) ○○病院の再開
1 番目		
2 番目		
3 番目		

【問 9 で「1. 戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」「2. まだ判断がつかない」と回答した方にうかがいます。】

問 10-3 帰還した場合のお住まいは、第一希望としてどのような形態を希望されますか。(○は1つ)

1. 元の持ち家(自宅)(建て替える場合を含む)
2. 自宅とは別の場所に新たに一戸建ての持ち家を建てたい
3. 自宅とは別の場所に分譲集合住宅を購入したい
4. 民間賃貸住宅(一戸建て)
5. 民間賃貸住宅(集合住宅)
6. 町内の公営住宅
7. 給与住宅(社宅など)
8. 家族のどなたかのお住まい・実家
9. 親戚・知人宅
10. その他(具体的に: _____)
11. 現時点では判断できない

【問9で「1. 戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」「2. まだ判断がつかない」と回答した方にうかがいます。】

問 10-4 町では、JR 双葉駅の西側の区域を「新市街地ゾーン」と位置づけ、町が主導して先行的に住宅地や生活関連施設の整備を進めることとしております。また、JR 双葉駅の東側の区域については、「まちなか再生ゾーン」と位置づけ、既成市街地の再生を目指すこととしております。「駅西・新市街地ゾーン」や「駅東・まちなか再生ゾーン」への居住に関する意向について、もっとも近いものはどれですか。（○は1つ）

※震災発生当時に駅西地区及び駅東地区にお住まいの方もお答えください。

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| 1. 駅西・新市街地ゾーンに居住したい | ⇒ 問 10-5 へ |
| 2. 駅東・まちなか再生ゾーンに居住したい | ⇒ 問 10-6-1 へ |
| 3. 判断ができない | ⇒ 問 10-7(9 ページ) へ |
| 4. どちらにも居住しない | ⇒ 問 10-7(9 ページ) へ |

【問 10-4 で「1. 駅西・新市街地ゾーンに居住したい」と回答した方にうかがいます。】

問 10-5 町により、JR 双葉駅の西側に住宅地が整備された場合のお住まいは、どのような形態を希望されますか。（○は1つ）

- | | |
|-------------------------|---------------------|
| 1. 公営住宅（一戸建て） | 4. 駅西・新市街地ゾーンにある自宅 |
| 2. 公営住宅（集合住宅） | 5. その他（具体的に： _____） |
| 3. 町から宅地の分譲を受け、自宅を建築したい | 6. 現時点では判断がつかない |

【問 10-4 で「1. 駅西・新市街地ゾーンに居住したい」「2. 駅東・まちなか再生ゾーンに居住したい」と回答した方にうかがいます。】

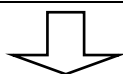
問 10-6-1 「駅西・新市街地ゾーン」及び「駅東・まちなか再生ゾーン」に、特に必要と考える、生活関連施設を教えてください。（○は3つまで）

- | | |
|--------------------------|------------------------|
| 1. コミュニティ施設（集会所・公民館・公園等） | 5. 金融機関 |
| 2. 商業施設・食堂・コンビニエンスストアなど | 6. 窓口サービスなどの役場機能 |
| 3. 医療・介護施設 | 7. 避難されている家族が一時宿泊できる施設 |
| 4. 保健・教育施設 | 8. その他（具体的に： _____） |

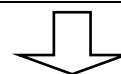
【問 10-4 で「1. 駅西・新市街地ゾーンに居住したい」「2. 駅東・まちなか再生ゾーンに居住したい」と回答した方にうかがいます。】

問 10-6-2 「駅西・新市街地ゾーン」及び「駅東・まちなか再生ゾーン」に、特に必要と考える、生活関連サービスを教えてください。（○は3つまで）

- | | |
|------------------|---------------------|
| 1. 安否確認や見守りサービス | 5. 移動販売サービス |
| 2. 健康相談・生活相談サービス | 6. 公共交通サービス |
| 3. 健康増進・介護予防サービス | 7. 役場機能窓口サービス |
| 4. 配食サービス | 8. その他（具体的に： _____） |



問 9 で「1. 戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」を選んだ方は問 13(12 ページ) へ



問 9 で「2. まだ判断がつかない」を選んだ方は問 11-1(9 ページ) へ

【問 10-4 で「3. 判断ができない」「4. どちらにも居住しない」と回答した方にうかがいます。】

問 10-7 「駅西・新市街地ゾーン」及び「駅東・まちなか再生ゾーン」への居住について、現時点で判断ができない、居住しない理由はどのようなことですか。(○はいくつでも)

- | | |
|---------------------------------|-----------------------------|
| 1. 駅西・駅東以外にある自宅に戻るから | 6. 仕事の都合で、生活の拠点にできるかわからないから |
| 2. 違う場所で自宅を購入し生活を開始したいから | 7. どのような人が住むのかわからなく不安だから |
| 3. 周辺環境がわからないから | 8. 自身の生活の見通しがたっていないから |
| 4. 道路、学校、病院など社会基盤(インフラ)がわからないから | 9. その他 { 具体的に: |
| 5. どの程度の生活関連施設が整備されるのかわからないから | } |



問 9 で「1. 戻りたいと考えている(将来的な希望も含む)」を選んだ方は問 13(12 ページ)へ



問 9 で「2. まだ判断がつかない」を選んだ方は問 11-1(9 ページ)へ

問 11-1 からは、問 9 で「2. まだ判断がつかない」「3. 戻らないと決めている」と回答した方にうかがいます。

【問 9 で「2. まだ判断がつかない」「3. 戻らないと決めている」と回答した方にうかがいます。】

問 11-1 双葉町との“つながり”を保ちたいと思いますか。(○は 1 つ)

- | | | |
|---------|----------|-----------|
| 1. そう思う | 2. わからない | 3. そう思わない |
|---------|----------|-----------|

【問 9 で「2. まだ判断がつかない」「3. 戻らないと決めている」と回答した方にうかがいます。】

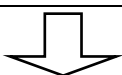
問 11-2 双葉町をどのくらいの頻度で訪れたいと思いますか。(○は 1 つ)

- | | | |
|---------------|------------|--------------|
| 1. 1か月に1回程度 | 3. 半年に1回程度 | 5. 2～3年に1回程度 |
| 2. 2～3か月に1回程度 | 4. 1年に1回程度 | 6. 訪れるつもりはない |

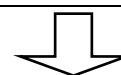
【問 9 で「2. まだ判断がつかない」「3. 戻らないと決めている」と回答した方にうかがいます。】

問 11-3 どのような取り組みや行事、イベントなどがあれば、双葉町に訪れたいと思いますか。(○はいくつでも)

- | | |
|-------------------------|--------------------------|
| 1. 有志によるサークル活動 | 7. セミナーへの参加や資格の取得などの学習活動 |
| 2. 趣味・料理・ものづくり教室などの文化活動 | 8. 仕事や労働などの職業活動 |
| 3. 運動・スポーツなどの健康づくり活動 | 9. 農地や環境の保全活動 |
| 4. お祭り・イベントなどの地域行事 | 10. その他 { 具体的に: |
| 5. 世代間交流・ボランティア活動 | } |
| 6. 防災・防犯などの地域活動 | |



問 9 で「2. まだ判断がつかない」を選んだ方は問 13(12 ページ)へ



問 9 で「3. 戻らないと決めている」を選んだ方は問 12-1(10 ページ)へ

問 12-1 からは、問 9 で「3. 戻らないと決めている」と回答した方にうかがいます。

【問 9 で「3. 戻らないと決めている」と回答した方にうかがいます。】

問 12-1 現時点で戻らないと決めている理由はどのようなことですか。(○はいくつでも)

【帰還の前提・健康に関わるもの】

1. 放射線量に不安があるから
2. 原子力発電所の安全性に不安があるから
3. 中間貯蔵施設の安全性に不安があるから
4. 水道水などの生活用水の安全性に不安があるから

【双葉町内の復旧状況に関わるもの】

5. 双葉町に戻っても仕事がなさそうだから
6. 双葉町での事業の再開が難しいから
7. 営農などができそうにないから
8. 家が汚損・劣化し、住める状況にないから
9. 双葉町外への移動交通が不便だから
10. 道路、鉄道等の交通インフラに不安があるから
11. 医療環境に不安があるから
12. 介護・福祉サービスに不安があるから
13. 教育環境に不安があるから
14. 生活に必要な商業施設などが元に戻りそうにないから

【今後の生活に関わるもの】

15. 避難先で自宅を購入または建築し、将来も継続的に居住する予定だから
16. 避難先の住居(持ち家以外)を生活拠点とし、将来も継続的に居住する予定だから
17. 高齢者・要介護者のいる世帯なので生活が不安だから
18. 他の住民も戻りそうにないから
19. 今後も津波被害を受ける可能性があるから
20. 特定復興拠点の区域外で帰還が見通せないから
21. 避難先で仕事を見つけているから
22. 今の環境で子どもの教育を継続させたいから
23. 避難先の方が生活利便性が高いから
24. その他

（具体的に：

【問 9 で「3. 戻らないと決めている」と回答した方にうかがいます。】

問 12-2 帰還しない場合に、今後の生活においてどのような支援を求めますか。(○はいくつでも)

1. 継続的な健康管理の支援
2. 雇用確保の支援
3. 仮設住宅や借り上げ住宅の継続的利用
4. 役場からの継続的な情報提供

5. 一時帰宅支援

6. その他

（具体的に：

【問9で「3. 戻らないと決めている」と回答した方にうかがいます。】

問 12-3 帰還しない場合に、今後、居住を希望する(既に居住している場合を含む)自治体はどちらですか。その自治体を教えてください。(○は1つ)

【福島県内】

【浜通り】

1. いわき市 → ※ いわき市については地区名を教えてください。(○は1つ)
2. 相馬市 a. 平 b. 小名浜(泉なども含む)
3. 南相馬市 c. 勿来(植田、錦などを含む) d. 常磐(湯本などを含む)
4. 広野町 e. 内郷 f. 四倉 g. 遠野
5. 檜葉町 h. 小川 i. 好間 j. 三和
6. 川内村 k. 田人 l. 川前 m. 久ノ浜・大久
7. 新地町

【中通り】

8. 福島市
9. 郡山市
10. 白河市
11. 須賀川市
12. 二本松市
13. 田村市
14. 伊達市
15. 本宮市
16. 桑折町
17. 川俣町
18. 大玉村
19. 西郷村
20. 三春町

【会津】

21. 会津若松市
22. 喜多方市
23. 会津美里町

【その他】

24. 上記1～23以外の福島県内の市町村
→具体的にご記入ください

(市・町・村)

【福島県外】

25. 福島県外
→具体的にご記入ください

(都・道・府・県)

(市・町・村・区)

【未定】

26. 決めかねている

【問9で「3. 戻らないと決めている」と回答した方にうかがいます。】

問 12-4 帰還しない場合に、今後のお住まいとして希望する(既に居住している場合を含む)住宅は、どのような形態ですか。(○は1つ)

- | | |
|--|-----------------|
| 1. 持ち家(一戸建) | 7. 給与住宅(社宅など) |
| 2. 持ち家(マンションなど) | 8. 家族のどなたかのお住まい |
| 3. 民間賃貸住宅(一戸建) | 9. 親戚・知人宅 |
| 4. 民間賃貸住宅(アパート・マンションなど) | 10. その他 |
| 5. 復興公営住宅 | 〔 具体的に
〕 |
| 6. 公営住宅(原発避難者向けの復興公営住宅を
除く都道府県営住宅や市町村営住宅) | |

自営業の町内での事業の再開のご意向についてお聞かせください。

問 13～問 15 は、震災前に双葉町で自営業
(農業・林業・漁業・畜産業・商業・工業など) を営んでいた方にうかがいます。
※震災前の職業が、「自営業以外」の方は、問 16 (13 ページ) へお進みください

【震災前に双葉町で自営業 (農業・林業・漁業・畜産業・商業・工業など) を営んでいた方にうかがいます。】


問 13 避難指示が解除となり帰還した場合、町内(特定復興拠点及び中野地区復興産業拠点)で事業を再開したいと思いますか。(○は1つ)

1. 再開したい ⇒ [問 14 へ](#)
2. 判断ができない ⇒ [問 15 へ](#)
3. 再開するつもりはない ⇒ [問 15 へ](#)

【問 13 で「1. 再開したい」と回答した方にうかがいます。】

問 14 町内で事業を再開する際の課題があれば教えてください。(○はいくつでも)


1. 設備や機材などへの新たな投資
2. 事業に必要な土地や建屋などの除染
3. 農畜産物などや製品の放射能からの安全確保
4. 風評被害の払しょく
5. 後継者(担い手)の確保
6. 従業員の確保
7. 顧客・販売先の確保
8. 事業資金の確保
9. その他(具体的に: _____)

 [問 16\(13 ページ\)へ](#)

【問 13 で「2. 判断ができない」「3. 再開するつもりはない」と回答した方にうかがいます。】

問 15 事業を再開しない理由、判断ができない理由を教えてください。(○はいくつでも)

1. 事業に必要な設備や機材などへの新たな投資ができないから
2. 農畜産物などや製品の放射能による汚染が心配だから
3. 風評被害があるから
4. 再開するための後継者(担い手)確保ができないから
5. 従業員の確保ができないから
6. 顧客・販売先の確保ができないから
7. 事業資金の確保ができないから
8. その他(具体的に: _____)

 [問 16\(13 ページ\)へ](#)

不動産（土地・家屋）の取り扱い意向についてお聞かせください。

問 16 からはすべての方に向かっています。

【すべての方に向かっています。】

問 16 町内に保有している家屋の利用意向についてうかがいます。
現時点でのご意向に関して、もっとも近いものはどれですか。（○は1つ）

※特定復興拠点及び両竹・浜野地区の避難指示解除準備区域においては、既定の書類を揃えてお申し込みいただければ環境省が家屋の解体を順次実施します。
解体をご希望の方は、環境省が設置している「被災家屋等の解体申請受付窓口（双葉町役場いわき事務所内）」へご相談ください。

- | | |
|------------------------------------|------------------------|
| 1. 解体して建替えたい | 6. 被災状況を確認してから決めたい |
| 2. 解体して更地にする | 7. 世帯で保有している家屋はない |
| 3. 建物除染後、修繕して自ら使いたい | 8. 中間貯蔵施設予定地内のため決められない |
| 4. 建物除染後、親戚・親族・友人に使ってもらいたい | 9. その他（具体的に： |
| 5. 建物除染後、行政や事業者に使ってもらいたい（売却・賃貸を含む） | ） |

【すべての方に向かっています。】

問 17-1 町内に保有している宅地の利用意向についてうかがいます。
現時点でのご意向に関して、もっとも近いものはどれですか。（○は1つ）

- | | |
|----------------------------|------------------------|
| 1. 宅地除染後、自ら使いたい | 5. 世帯で保有している宅地はない |
| 2. 宅地除染後、親戚・親族・友人に使ってもらいたい | 6. 中間貯蔵施設予定地内のため決められない |
| 3. 宅地除染後、行政や事業者に使ってもらいたい | 7. その他（具体的に： |
| 4. 宅地除染実施後に判断したい | ） |

問 17-2 町内に保有している農地（田・畑）の利用意向についてうかがいます。
現時点で、もっとも近いものはどれですか。（○は1つ）

- | | |
|-------------------|------------------------|
| 1. 除染後、保全管理したい | 5. 中間貯蔵施設予定地内のため決められない |
| 2. 除染後、営農を再開したい | 6. その他（具体的に： |
| 3. 除染後、売却または賃貸したい | ） |
| 4. 世帯で保有している農地はない | |

【問 17-2 で「1. 除染後、保全管理したい」「2. 除染後、営農を再開したい」と回答した方向にかかっています。】

問 17-3 町では、農地の保全を目的とする組合の設立を検討しています。
現時点でのお考えをお聞かせください。（○は1つ）

1. 組合に加入して、保全管理に参加したい
2. 組合に加入しないが、保全管理は組合に任せたい
3. 組合に加入しないが、自ら保全管理または営農再開したい

町からの情報入手と周囲とのコミュニケーションに関する状況についてお聞かせください。

【すべての方にうかがいます。】

問 18 あなたは町からの情報を主にどのような方法で入手していますか。(○は3つまで)

- | | |
|----------------------------------|-------------------------|
| 1. 広報ふたば | 5. 町復興ポータルサイト(パソコンなど) |
| 2. つなげようつながろう「ふたばのわ」 | 6. メールマガジン |
| 3. ICT きずな支援システム
(町配布タブレット端末) | 7. マスメディア(テレビ、ラジオ、新聞など) |
| 4. 町公式ホームページ(パソコンなど) | 8. その他 [具体的に:] |

【すべての方にうかがいます。】

問 19 あなたが特に知りたい、関心がある情報は何ですか。(○は3つまで)

- | | |
|-----------------|--------------------|
| 1. 住宅・暮らしの情報 | 7. 原子力損害賠償関連情報 |
| 2. 健康・医療・福祉関連情報 | 8. 原子力発電所関連情報 |
| 3. 子育て・教育関連情報 | 9. 中間貯蔵施設関連情報 |
| 4. 雇用・就労・就農関連情報 | 10. イベント・交流会に関する情報 |
| 5. 復興まちづくり関連情報 | 11. その他 [具体的に:] |
| 6. 放射線量・除染情報 | |

【すべての方にうかがいます。】

問 20-1 町が無料配布している「ICT きずな支援システム(タブレット端末)」は持っていますか。
(○は1つ)

- | |
|----------------------------|
| 1. 持っている ⇒ 問 20-2 へ |
| 2. 持っていない(理由を具体的に:) |

【問 20-1 で「1. 持っている」と回答した方にうかがいます。】

問 20-2 「ICT きずな支援システム(タブレット端末)」は、どれくらいの頻度で利用していますか。
(○は1つ)

- | | | |
|---------------|---------------|----------------|
| 1. 毎日 | 3. 1か月に1~2回程度 | 5. 1年に1~2回程度 |
| 2. 1週間に1~2回程度 | 4. 半年に1~2回程度 | 6. ほとんど利用していない |

【すべての方にうかがいます。】

問 21 町が配布している「ICT きずな支援システム(タブレット端末)」のほかに、どのような情報端末機器をお持ちですか。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. パソコン | 4. 携帯電話 |
| 2. スマートフォン | 5. その他 [具体的に:] |
| 3. タブレット端末(個人所有) | |

国や福島県、双葉町へのご意見などについてお聞かせください。

【すべての方にうかがいます。】

問 22 今後、町が町内の復興を進めていくにあたり、あなたのご意見・ご感想など、ご自由にお書きください。

【すべての方にうかがいます。】

問 23 国や福島県、双葉町への要望などをご自由にお書きください。

以上でご回答いただく内容は終わりです。
ご協力いただきまして、誠にありがとうございました。

同封の返信用封筒にご記入済み調査票を入れて、
11月15日（水）までに郵便ポストに投函してください（切手は不要です）。

**双葉町 住民意向調査
報告書**

平成 30 年3月

復興庁 福島県 双葉町

調査機関:株式会社サーベイリサーチセンター

